

令和２年度　安乗岬園地休憩舎改修工事設計図

図 面 リ ス ト

図面番号	図面名称	縮 尺	図面番号	図面名称	縮 尺			
A-00	表紙、図面リスト	——	A-13	断 面 図	1/30	E-01	電気設備 特記仕様書 NO. 1	——
T-01	改修工事 特記仕様書 NO. 1	——	A-14	改修前展開図 1	1/50	E-02	電気設備 特記仕様書 NO. 2	——
T-02	改修工事 特記仕様書 NO. 2	——	A-15	改修前展開図 2	1/50	E-03	動力設備平面図	1/100
T-03	改修工事 特記仕様書 NO. 3	——	A-16	改修後展開図 1	1/50	E-04	改修前 電気設備図 1	1/60
T-04	改修工事 特記仕様書 NO. 4	——	A-17	改修後展開図 2	1/50	E-05	改修前 電気設備図 2	1/60
T-05	改修工事 特記仕様書 NO. 5	——	A-18	天井伏図	1/100	E-06	改修後 電気設備図 1	1/60
T-06	改修工事 特記仕様書 NO. 6	——	A-19	建具指示図	1/100	E-07	改修後 電気設備図 2	1/60
T-07	改修工事 特記仕様書 NO. 7	——	A-20	建具表 1（改修後）	1/50	E-08	照明器具姿図	——
			A-21	建具表 2（改修前）	1/50			
A-01	附近見取図、配置図	1/300	A-22	外構図	1/100	M-01	機械設備 特記仕様書 NO. 1	——
A-02	仕上表	——	A-23	人工木材デッキ平面詳細図	1/50・1/30	M-02	機械設備 特記仕様書 NO. 2	——
A-03	面積表 1	1/200	A-24	人工木材デッキ土間伏図	1/50	M-03	空調設備平面図	1/100
A-04	面積表 2・排煙面積	1/200・1/50				M-04	改修前機械設備図	1/60
A-05	改修前平面図	1/100				M-05	改修後機械設備図	1/60
A-06	改修後平面図	1/100						
A-07	改修前屋根平面図	1/100				K-01	仮設計画図 1（参考図面）	1/300
A-08	改修後屋根平面図	1/100				K-02	仮設計画図 2（参考図面）	1/100・1/50
A-09	改修前立面図	1/100						
A-10	改修後立面図	1/100						
A-11	平面詳細図 1	1/50						
A-12	平面詳細図 2	1/50						

A2縮小印刷　×71%

外壁改修工事

塗り仕上げ外壁改修

④-4

所要量の確認

既存塗膜等の除去及び地下処理

下地調整塗材

仕上り塗材仕上り

特記事項

[4.6.2] [表4.6.1]
工程ごとの所要量の確認
改修標準仕様書表4.6.1による

[4.6.3]
・サンダー工法
軒天全面
(既存塗膜の除去範囲は処理面積の30%とする)

・高圧水洗工法
加圧力
・30MPa程度以上

・塗膜はく離剤工法
・図示

・水洗い工法
・図示 外壁・軒天

[4.6.4]
・下地調整塗材
・ポリマーセメントモルタル
・防水形仕上り塗材主材

[4.6.5]
建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
規制対象外
新規仕上り塗材の種類

種別 ・ A種 ・ B種

[4.6.6]

⑤

改修工法

建具改修工事

[5.1.3]
・アルミニウム製建具
・樹脂製建具
・鋼製建具
外部
内部
鋼製軽量建具
ステンレス製建具

新設に建具を設ける場合
壁部分の開け方
図示
新規建具周囲の補修工法及び範囲
図示

[5.1.4]
・適用する 適用箇所（・建具表による）
・適用しない

[5.1.5]
建具見本の製作
行う（建具符号：）
行わない
建具見本の程度
工事に使用したものとして、あらかじめ製作する
納まり等がわかる程度のもの
特殊な建具の仮組
行う（建具符号：）
行わない

[5.1.7]
・適用する（） 適用箇所（・建具表による）
・適用しない

⑥

アルミニウム製建具

性能等級

[5.2.2、4、5] [表5.2.2]
外部に面する建具
A種（建具符号：・建具表による）
B種（建具符号：・建具表による）
C種（建具符号：・建具表による）
防音ドアセット、防音サッシ
適用する 遮音性の等級（
（建具符号：・建具表による）
適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシ
適用する 断熱性の等級（
（建具符号：・建具表による）
適用しない
耐震ドアセット
適用する 面内変形追随性の等級（
（建具符号：・建具表による）
適用しない
枠の見込み寸法
・建具表による
表面処理
外部に面する建具
B-1種
B-2種
皮膜等の種類（・改修標準仕様書表5.2.2による）
着色（・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー）
C-1種
C-2種
屋内の建具
皮膜等の種類（・改修標準仕様書表5.2.2による）
着色（・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー）
結露水の処理方法
・図示
水切り板、ぜん板
・図示

[5.2.3]
網戸等
種類 材質 線径 網目
防虫網 合成樹脂製 0.25mm以上 16～18メッシュ
ガラス繊維入り合成樹脂製
ステンレス（SUS316）製
防鳥網 ステンレス（SUS304）線材 1.5mm 網目寸法15mm

[5.3.2～5]
性能等級
外部に面する建具
A種（建具符号：・建具表による）
B種（建具符号：・建具表による）
C種（建具符号：・建具表による）
防音ドアセット、防音サッシ
適用する 遮音性の等級（・T-1・T-2）
（建具符号：・建具表による）
適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシ
適用する 断熱性の等級
（・H-4・H-5
（建具符号：・建具表による）
適用しない
枠の見込み寸法
・建具表による
表面色
標準色
特注色
水切り板、ぜん板
・図示
ガラス
複層ガラス

[5.2.2] [5.4.2～4] [表5.4.2]
性能等級
簡易気密型
適用する
（建具符号：・建具表による）
適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
S-4（建具符号：・建具表による）
S-5（建具符号：・建具表による）
S-6（建具符号：・建具表による）
防音ドアセット、防音サッシ
適用する 遮音性の等級（
（建具符号：・建具表による）
適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシ
適用する 断熱性の等級（
（建具符号：・建具表による）
適用しない
耐震ドアセット
適用する 面内変形追随性の等級（
（建具符号：・建具表による）
適用しない

鋼板
材 料 めっき付着量 厚 さ
JIS G 3302 Z12又はF12 標準仕様書表5.4.2による
（溶融亜鉛めっき鋼板）
JIS G 3317（溶融亜鉛-5％アルミニウム合金めっき鋼板） Y08

[5.2.2] [5.5.2～4]
性能等級
簡易気密型
適用する
（建具符号：・建具表による）
適用しない
防音ドアセット、防音サッシ
適用する 遮音性の等級（
（建具符号：・建具表による）
適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシ
適用する 断熱性の等級（
（建具符号：・建具表による）
適用しない
耐震ドアセット
適用する 面内変形追随性の等級（
（建具符号：・建具表による）
適用しない

鋼板
亜鉛めっき鋼板
ビニル被膜鋼板
カラー鋼板
鋼板の厚さ
改修標準仕様書表5.5.1による
召合せ、縦小口包み板の材質
鋼板

⑦

鋼製建具

性能等級

[5.3.2～5]
外部に面する建具
A種（建具符号：・建具表による）
B種（建具符号：・建具表による）
C種（建具符号：・建具表による）
防音ドアセット、防音サッシ
適用する 遮音性の等級（・T-1・T-2）
（建具符号：・建具表による）
適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシ
適用する 断熱性の等級
（・H-4・H-5
（建具符号：・建具表による）
適用しない
枠の見込み寸法
・建具表による
表面色
標準色
特注色
水切り板、ぜん板
・図示
ガラス
複層ガラス

[5.2.2] [5.4.2～4] [表5.4.2]
性能等級
簡易気密型
適用する
（建具符号：・建具表による）
適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
S-4（建具符号：・建具表による）
S-5（建具符号：・建具表による）
S-6（建具符号：・建具表による）
防音ドアセット、防音サッシ
適用する 遮音性の等級（
（建具符号：・建具表による）
適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシ
適用する 断熱性の等級（
（建具符号：・建具表による）
適用しない
耐震ドアセット
適用する 面内変形追随性の等級（
（建具符号：・建具表による）
適用しない

鋼板
材 料 めっき付着量 厚 さ
JIS G 3302 Z12又はF12 標準仕様書表5.4.2による
（溶融亜鉛めっき鋼板）
JIS G 3317（溶融亜鉛-5％アルミニウム合金めっき鋼板） Y08

[5.2.2] [5.5.2～4]
性能等級
簡易気密型
適用する
（建具符号：・建具表による）
適用しない
防音ドアセット、防音サッシ
適用する 遮音性の等級（
（建具符号：・建具表による）
適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシ
適用する 断熱性の等級（
（建具符号：・建具表による）
適用しない
耐震ドアセット
適用する 面内変形追随性の等級（
（建具符号：・建具表による）
適用しない

鋼板
亜鉛めっき鋼板
ビニル被膜鋼板
カラー鋼板
鋼板の厚さ
改修標準仕様書表5.5.1による
召合せ、縦小口包み板の材質
鋼板

⑧

鋼製軽量建具

性能等級

[5.2.2] [5.5.2～4]
性能等級
簡易気密型
適用する
（建具符号：・建具表による）
適用しない
防音ドアセット、防音サッシ
適用する 遮音性の等級（
（建具符号：・建具表による）
適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシ
適用する 断熱性の等級（
（建具符号：・建具表による）
適用しない
耐震ドアセット
適用する 面内変形追随性の等級（
（建具符号：・建具表による）
適用しない

鋼板
材 料 めっき付着量 厚 さ
JIS G 3302 Z12又はF12 標準仕様書表5.4.2による
（溶融亜鉛めっき鋼板）
JIS G 3317（溶融亜鉛-5％アルミニウム合金めっき鋼板） Y08

[5.2.2] [5.5.2～4]
性能等級
簡易気密型
適用する
（建具符号：・建具表による）
適用しない
防音ドアセット、防音サッシ
適用する 遮音性の等級（
（建具符号：・建具表による）
適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシ
適用する 断熱性の等級（
（建具符号：・建具表による）
適用しない
耐震ドアセット
適用する 面内変形追随性の等級（
（建具符号：・建具表による）
適用しない

鋼板
亜鉛めっき鋼板
ビニル被膜鋼板
カラー鋼板
鋼板の厚さ
改修標準仕様書表5.5.1による
召合せ、縦小口包み板の材質
鋼板

⑨

ステンレス製建具

性能等級

[5.2.2] [5.4.2] [5.6.2～4]
簡易気密型
適用する
（建具符号：・建具表による）
適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
S-4（建具符号：・建具表による）
S-5（建具符号：・建具表による）
S-6（建具符号：・建具表による）
防音ドアセット、防音サッシ
適用する 遮音性の等級（
（建具符号：・建具表による）
適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシ
適用する 断熱性の等級（
（建具符号：・建具表による）
適用しない
耐震ドアセット
適用する 面内変形追随性の等級（
（建具符号：・建具表による）
適用しない
鋼板（屋外） SUS304、SUS430JIL、SUS443J1、
鋼板（屋内） SUS304、SUS430JIL、SUS443J1、SUS430
表面仕上げ
・H L仕上げ
・鏡面仕上げ
ステンレス鋼板の曲げ加工
普通曲げ
角出し曲げ

[5.7.2、3]
金物の種類・見え掛け部の材質等
改修標準仕様書表5.7.1による
樹脂製建具に使用する丁番
改修標準仕様書表5.7.3による
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置
・建具表による
・

錠前類 【シリンダ箱錠及びシリンダ本締り錠】
（品質）
工事建築材料等品質性能表による
（性能）
工事建築材料等品質性能表による
（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による
錠前類 【レバーハンドル】
（性能）
工事建築材料等品質性能表による
（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による
クロウザ類
（品質・性能）
工事建築材料等品質性能表による
（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による

[5.7.4]
マスターキー
製作する
製作しない
既存のマスターキーに合わせる
その他の鍵
各室3本1組
無
有
鍵箱

[5.8.2、3]
自動ドア
性能
防錆 センサーの種類 凍結防止
SSLD-1
SSLD-2
DSLD-1
DSLD-2
SWD-1
SWD-2
図示
改修標準仕様書表5.8.1による
改修標準仕様書表5.8.2による
改修標準仕様書表5.9.1による
改修標準仕様書表5.9.1による
改修標準仕様書表5.9.1による
改修標準仕様書表5

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
	⑥ ① 改修範囲	既存間仕切り壁撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ○壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う・図示 天井内の既存壁撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ○壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う・図示 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ○既存のまま・図示		7 造作用単板積層材 [G]	ホルムアルデヒド放散量・規制対象外・ 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材		⑥ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㏁ ㏂ ㏃ ㏄ ㏅ ㏆ ㏇ ㏈ ㏉ ㏊ ㏋ ㏌ ㏍ ㏎ ㏏ ㏐ ㏑ ㏒ ㏓ ㏔ ㏕ ㏖ ㏗ ㏘ ㏙ ㏚ ㏛ ㏜ ㏝ ㏞ ㏟ ㏠ ㏡ ㏢ ㏣ ㏤ ㏥ ㏦ ㏧ ㏨ ㏩ ㏪ ㏫ ㏬ ㏭ ㏮ ㏯ ㏰ ㏱ ㏲ ㏳ ㏴ ㏵ ㏶ ㏷ ㏸ ㏹ ㏺ ㏻ ㏼ ㏽ ㏾ ㏿ 㐀 㐁 㐂 㐃 㐄 㐅 㐆 㐇 㐈 㐉 㐊 㐋 㐌 㐍 㐎 㐏 㐐 㐑 㐒 㐓 㐔 㐕 㐖 㐗 㐘 㐙 㐚 㐛 㐜 㐝 㐞 㐟 㐠 㐡 㐢 㐣 㐤 㐥 㐦 㐧 㐨 㐩 㐪 㐫 㐬 㐭 㐮 㐯 㐰 㐱 㐲 㐳 㐴 㐵 㐶 㐷 㐸 㐹 㐺 㐻 㐼 㐽 㐾 㐿 㑀 㑁 㑂 㑃 㑄 㑅 㑆 㑇 㑈 㑉 㑊 㑋 㑌 㑍 㑎 㑏 㑐 㑑 㑒 㑓 㑔 㑕 㑖 㑗 㑘 㑙 㑚 㑛 㑜 㑝 㑞 㑟 㑠 㑡 㑢 㑣 㑤 㑥 㑦 㑧 㑨 㑩 㑪 㑫 㑬 㑭 㑮 㑯 㑰 㑱 㑲 㑳 㑴 㑵 㑶 㑷 㑸 㑹 㑺 㑻 㑼 㑽 㑾 㑿 㒀 㒁 㒂 㒃 㒄 㒅 㒆 㒇 㒈 㒉 㒊 㒋 㒌 㒍 㒎 㒏 㒐 㒑 㒒 㒓 㒔 㒕 㒖 㒗 㒘 㒙 㒚 㒛 㒜 㒝 㒞 㒟 㒠 㒡 㒢 㒣 㒤 㒥 㒦 㒧 㒨 㒩 㒪 㒫 㒬 㒭 㒮 㒯 㒰 㒱 㒲 㒳 㒴 㒵 㒶 㒷 㒸 㒹 㒺 㒻 㒼 㒽 㒾 㒿 㓀 㓁 㓂 㓃 㓄 㓅 㓆 㓇 㓈 㓉 㓊 㓋 㓌 㓍 㓎 㓏 㓐 㓑 㓒 㓓 㓔 㓕 㓖 㓗 㓘 㓙 㓚 㓛 㓜 㓝 㓞 㓟 㓠 㓡 㓢 㓣 㓤 㓥 㓦 㓧 㓨 㓩 㓪 㓫 㓬 㓭 㓮 㓯 㓰 㓱 㓲 㓳 㓴 㓵 㓶 㓷 㓸 㓹 㓺 㓻 㓼 㓽 㓾 㓿 㔀 㔁 㔂 㔃 㔄 㔅 㔆 㔇 㔈 㔉 㔊 㔋 㔌 㔍 㔎 㔏 㔐 㔑 㔒 㔓 㔔 㔕 㔖 㔗 㔘 㔙 㔚 㔛 㔜 㔝 㔞 㔟 㔠 㔡 㔢 㔣 㔤 㔥 㔦 㔧 㔨 㔩 㔪 㔫 㔬 㔭 㔮 㔯 㔰 㔱 㔲 㔳 㔴 㔵 㔶 㔷 㔸 㔹 㔺 㔻 㔼 㔽 㔾 㔿 㕀 㕁 㕂 㕃 㕄 㕅 㕆 㕇 㕈 㕉 㕊 㕋 㕌 㕍 㕎 㕏 㕐 㕑 㕒 㕓 㕔 㕕 㕖 㕗 㕘 㕙 㕚 㕛 㕜 㕝 㕞 㕟 㕠 㕡 㕢 㕣 㕤 㕥 㕦 㕧 㕨 㕩 㕪 㕫 㕬 㕭 㕮 㕯 㕰 㕱 㕲 㕳 㕴 㕵 㕶 㕷 㕸 㕹 㕺 㕻 㕼 㕽 㕾 㕿 㖀 㖁 㖂 㖃 㖄 㖅 㖆 㖇 㖈 㖉 㖊 㖋 㖌 㖍 㖎 㖏 㖐 㖑 㖒 㖓 㖔 㖕 㖖 㖗 㖘 㖙 㖚 㖛 㖜 㖝 㖞 㖟 㖠 㖡 㖢 㖣 㖤 㖥 㖦 㖧 㖨 㖩 㖪 㖫 㖬 㖭 㖮 㖯 㖰 㖱 㖲 㖳 㖴 㖵 㖶 㖷 㖸 㖹 㖺 㖻 㖼 㖽 㖾 㖿 㗀 㗁 㗂 㗃 㗄 㗅 㗆 㗇 㗈 㗉 㗊 㗋 㗌 㗍 㗎 㗏 㗐 㗑 㗒 㗓 㗔 㗕 㗖 㗗 㗘 㗙 㗚 㗛 㗜 㗝 㗞 㗟 㗠 㗡 㗢 㗣 㗤 㗥 㗦 㗧 㗨 㗩 㗪 㗫 㗬 㗭 㗮 㗯 㗰 㗱 㗲 㗳 㗴 㗵 㗶 㗷 㗸 㗹 㗺 㗻 㗼 㗽 㗾 㗿 㘀 㘁 㘂 㘃 㘄 㘅 㘆 㘇 㘈 㘉 㘊 㘋 㘌 㘍 㘎 㘏 㘐 㘑 㘒 㘓 㘔 㘕 㘖 㘗 㘘 㘙 㘚 㘛 㘜 㘝 㘞 㘟 㘠 㘡 㘢 㘣 㘤 㘥 㘦 㘧 㘨 㘩 㘪 㘫 㘬 㘭 㘮 㘯 㘰 㘱 㘲 㘳 㘴 㘵 㘶 㘷 㘸 㘹 㘺 㘻 㘼 㘽 㘾 㘿 㙀 㙁 㙂 㙃 㙄 㙅 㙆 㙇 㙈 㙉 㙊 㙋 㙌 㙍 㙎 㙏 㙐 㙑 㙒 㙓 㙔 㙕 㙖 㙗 㙘 㙙 㙚 㙛 㙜 㙝 㙞 㙟 㙠 㙡 㙢 㙣 㙤 㙥 㙦 㙧 㙨 㙩 㙪 㙫 㙬 㙭 㙮 㙯 㙰 㙱 㙲 㙳 㙴 㙵 㙶 㙷 㙸 㙹 㙺 㙻 㙼 㙽 㙾 㙿 㚀 㚁 㚂 㚃 㚄 㚅 㚆 㚇 㚈 㚉 㚊 㚋 㚌 㚍 㚎 㚏 㚐 㚑 㚒 㚓 㚔 㚕 㚖 㚗 㚘 㚙 㚚 㚛 㚜 㚝 㚞 㚟 㚠 㚡 㚢 㚣 㚤 㚥 㚦 㚧 㚨 㚩 㚪 㚫 㚬 㚭 㚮 㚯 㚰 㚱 㚲 㚳 㚴 㚵 㚶 㚷 㚸 㚹 㚺 㚻 㚼 㚽 㚾 㚿 㜀 㜁 㜂 㜃 㜄 㜅 㜆 㜇 㜈 㜉 㜊 㜋 㜌 㜍 㜎 㜏 㜐 㜑 㜒 㜓 㜔 㜕 㜖 㜗 㜘 㜙 㜚 㜛 㜜 㜝 㜞 㜟 㜠 㜡 㜢 㜣 㜤 㜥 㜦 㜧 㜨 㜩 㜪 㜫 㜬 㜭 㜮 㜯 㜰 㜱 㜲 㜳 㜴 㜵 㜶 㜷 㜸 㜹 㜺 㜻 㜼 㜽 㜾 㜿 㝀 㝁 㝂 㝃 㝄 㝅 㝆 㝇 㝈 㝉 㝊 㝋 㝌 㝍 㝎 㝏 㝐 㝑 㝒 㝓 㝔 㝕 㝖 㝗 㝘 㝙 㝚 㝛 㝜 㝝 㝞 㝟 㝠 㝡 㝢 㝣 㝤 㝥 㝦 㝧 㝨 㝩 㝪 㝫 㝬 㝭 㝮 㝯 㝰 㝱 㝲 㝳 㝴 㝵 㝶 㝷 㝸 㝹 㝺 㝻 㝼 㝽 㝾 㝿 㞀 㞁 㞂 㞃 㞄 㞅 㞆 㞇 㞈 㞉 㞊 㞋 㞌 㞍 㞎 㞏 㞐 㞑 㞒 㞓 㞔 㞕 㞖 㞗 㞘 㞙 㞚 㞛 㞜 㞝 㞞 㞟 㞠 㞡 㞢 㞣 㞤 㞥 㞦 㞧 㞨 㞩 㞪 㞫 㞬 㞭 㞮 㞯 㞰 㞱 㞲 㞳 㞴 㞵 㞶 㞷 㞸 㞹 㞺 㞻 㞼 㞽 㞾 㞿 㟀 㟁 㟂 㟃 㟄 㟅 㟆 㟇 㟈 㟉 㟊 㟋 㟌 㟍 㟎 㟏 㟐 㟑 㟒 㟓 㟔 㟕 㟖 㟗 㟘 㟙 㟚 㟛 㟜 㟝 㟞 㟟 㟠 㟡 㟢 㟣 㟤 㟥 㟦 㟧 㟨 㟩 㟪 㟫 㟬 㟭 㟮 㟯 㟰 㟱 㟲 㟳 㟴 㟵 㟶 㟷 㟸 㟹 㟺 㟻 㟼 㟽 㟾 㟿 㠀 㠁 㠂 㠃 㠄 㠅 㠆 㠇 㠈 㠉 㠊 㠋 㠌 㠍 㠎 㠏 㠐 㠑 㠒 㠓 㠔 㠕 㠖 㠗 㠘 㠙 㠚 㠛 㠜 㠝 㠞 㠟 㠠 㠡 㠢 㠣 㠤 㠥 㠦 㠧 㠨 㠩 㠪 㠫 㠬 㠭 㠮 㠯 㠰 㠱 㠲 㠳 㠴 㠵 㠶 㠷 㠸 㠹 㠺 㠻 㠼 㠽 㠾 㠿 㡀 㡁 㡂 㡃 㡄 㡅 㡆 㡇 㡈 㡉 㡊 㡋 㡌 㡍 㡎 㡏 㡐 㡑 㡒 㡓 㡔 㡕 㡖 㡗 㡘 㡙 㡚 㡛 㡜 㡝 㡞 㡟 㡠 㡡 㡢 㡣 㡤 㡥 㡦 㡧 㡨 㡩 㡪 㡫 㡬 㡭 㡮 㡯 㡰 㡱 㡲 㡳 㡴 㡵 㡶 㡷 㡸 㡹 㡺 㡻 㡼 㡽 㡾 㡿 㢀 㢁 㢂 㢃 㢄 㢅 㢆 㢇 㢈 㢉 㢊 㢋 㢌 㢍 㢎 㢏 㢐 㢑 㢒 㢓 㢔 㢕 㢖 㢗 㢘 㢙 㢚 㢛 㢜 㢝 㢞 㢟 㢠 㢡 㢢 㢣 㢤 㢥 㢦 㢧 㢨 㢩 㢪 㢫 㢬 㢭 㢮 㢯 㢰 㢱 㢲 㢳 㢴 㢵 㢶 㢷 㢸 㢹 㢺 㢻 㢼 㢽 㢾 㢿 㣀 㣁 㣂 㣃 㣄 㣅 㣆 㣇 㣈 㣉 㣊 㣋 㣌 㣍 㣎 㣏 㣐 㣑 㣒 㣓 㣔 㣕 㣖 㣗 㣘 㣙 㣚 㣛 㣜 㣝 㣞 㣟 㣠 㣡 㣢 㣣 㣤 㣥 㣦 㣧 㣨 㣩 㣪 㣫 㣬 㣭 㣮 㣯 㣰 㣱 㣲 㣳 㣴 㣵 㣶 㣷 㣸 㣹 㣺 㣻 㣼 㣽 㣾 㣿 㤀 㤁 㤂 㤃 㤄 㤅 㤆 㤇 㤈 㤉 㤊 㤋 㤌 㤍 㤎 㤏 㤐 㤑 㤒 㤓 㤔 㤕 㤖 㤗 㤘 㤙 㤚 㤛 㤜 㤝 㤞 㤟 㤠 㤡 㤢 㤣 㤤 㤥 㤦 㤧 㤨 㤩 㤪 㤫 㤬 㤭 㤮 㤯 㤰 㤱 㤲 㤳 㤴 㤵 㤶 㤷 㤸 㤹 㤺 㤻 㤼 㤽 㤾 㤿 㥀 㥁 㥂 㥃 㥄 㥅 㥆 㥇 㥈 㥉 㥊 㥋 㥌 㥍 㥎 㥏 㥐 㥑 㥒 㥓 㥔 㥕 㥖 㥗 㥘 㥙 㥚 㥛 㥜 㥝 㥞 㥟 㥠 㥡 㥢 㥣 㥤 㥥 㥦 㥧 㥨 㥩 㥪 㥫 㥬 㥭 㥮 㥯 㥰 㥱 㥲 㥳 㥴 㥵 㥶 㥷 㥸 㥹 㥺 㥻 㥼 㥽 㥾 㥿 㦀 㦁 㦂 㦃 㦄 㦅 㦆 㦇 㦈 㦉 㦊 㦋 㦌 㦍 㦎 㦏 㦐 㦑 㦒 㦓 㦔 㦕 㦖 㦗 㦘 㦙 㦚 㦛 㦜 㦝 㦞 㦟 㦠 㦡 㦢 㦣 㦤 㦥 㦦 㦧 㦨 㦩 㦪 㦫 㦬 㦭 㦮 㦯 㦰 㦱 㦲 㦳 㦴 㦵 㦶 㦷 㦸 㦹 㦺 㦻 㦼 㦽 㦾 㦿 㧀 㧁 㧂 㧃 㧄 㧅 㧆 㧇 㧈 㧉 㧊 㧋 㧌 㧍 㧎 㧏 㧐 㧑 㧒 㧓 㧔 㧕 㧖 㧗 㧘 㧙 㧚 㧛 㧜 㧝 㧞 㧟 㧠 㧡 㧢 㧣 㧤 㧥 㧦 㧧 㧨 㧩 㧪 㧫 㧬 㧭 㧮 㧯 㧰 㧱 㧲 㧳 㧴 㧵 㧶 㧷 㧸 㧹 㧺 㧻 㧼 㧽 㧾 㧿 㨀 㨁 㨂 㨃 㨄 㨅 㨆 㨇 㨈 㨉 㨊 㨋 㨌 㨍 㨎 㨏 㨐 㨑 㨒 㨓 㨔 㨕 㨖 㨗 㨘 㨙 㨚 㨛 㨜 㨝 㨞 㨟 㨠 㨡 㨢 㨣 㨤 㨥 㨦 㨧 㨨 㨩 㨪 㨫 㨬 㨭 㨮 㨯 㨰 㨱 㨲 㨳 㨴 㨵 㨶 㨷 㨸 㨹 㨺 㨻 㨼 㨽 㨾 㨿 㩀 㩁 㩂 㩃 㩄 㩅 㩆 㩇 㩈 㩉 㩊 㩋 㩌 㩍 㩎 㩏 㩐 㩑 㩒 㩓 㩔 㩕 㩖 㩗 㩘 㩙 㩚 㩛 㩜 㩝 㩞 㩟 㩠 㩡 㩢 㩣 㩤 㩥 㩦 㩧 㩨 㩩 㩪 㩫 㩬 㩭 㩮 㩯 㩰 㩱 㩲 㩳 㩴 㩵 㩶 㩷 㩸 㩹 㩺 㩻 㩼 㩽 㩾 㩿 㪀 㪁 㪂 㪃 㪄 㪅 㪆 㪇 㪈 㪉 㪊 㪋 㪌 㪍 㪎 㪏 㪐 㪑 㪒 㪓 㪔 㪕 㪖 㪗 㪘 㪙 㪚 㪛 㪜 㪝 㪞 㪟 㪠 㪡 㪢 㪣 㪤 㪥 㪦 㪧 㪨 㪩 㪪 㪫 㪬 㪭 㪮 㪯 㪰 㪱 㪲 㪳 㪴 㪵 㪶 㪷 㪸 㪹 㪺 㪻 㪼 㪽 㪾 㪿 㫀 㫁 㫂 㫃 㫄 㫅 㫆 㫇 㫈 㫉 㫊 㫋 㫌 㫍 㫎 㫏 㫐 㫑 㫒 㫓 㫔 㫕 㫖 㫗 㫘 㫙 㫚 㫛 㫜 㫝 㫞 㫟 㫠 㫡 㫢 㫣 㫤 㫥 㫦 㫧 㫨 㫩 㫪 㫫 㫬 㫭 㫮 㫯 㫰 㫱 㫲 㫳 㫴 㫵 㫶 㫷 㫸 㫹 㫺 㫻 㫼 㫽 㫾 㫿 㬀 㬁 㬂 㬃 㬄 㬅 㬆 㬇 㬈 㬉 㬊 㬋 㬌 㬍 㬎 㬏 㬐 㬑 㬒 㬓 㬔 㬕 㬖 㬗 㬘 㬙 㬚 㬛 㬜 㬝 㬞 㬟 㬠 㬡 㬢 㬣 㬤 㬥 㬦 㬧 㬨 㬩 㬪 㬫 㬬 㬭 㬮 㬯 㬰 㬱 㬲 㬳 㬴 㬵 㬶 㬷 㬸 㬹 㬺 㬻 㬼 㬽 㬾 㬿 㭀 㭁 㭂 㭃 㭄 㭅 㭆 㭇 㭈 㭉 㭊 㭋 㭌 㭍 㭎 㭏 㭐 㭑 㭒 㭓 㭔 㭕 㭖 㭗 㭘 㭙 㭚 㭛 㭜 㭝 㭞 㭟 㭠 㭡 㭢 㭣 㭤 㭥 㭦 㭧 㭨 㭩 㭪 㭫 㭬 㭭 㭮 㭯 㭰 㭱 㭲 㭳 㭴 㭵 㭶 㭷 㭸 㭹 㭺 㭻 㭼 㭽 㭾 㭿 㮀 㮁 㮂 㮃 㮄 㮅 㮆 㮇 㮈 㮉 㮊 㮋 㮌 㮍 㮎 㮏 㮐 㮑 㮒 㮓 㮔 㮕 㮖 㮗 㮘 㮙 㮚 㮛 㮜 㮝 㮞 㮟 㮠 㮡 㮢 㮣 㮤 㮥 㮦 㮧 㮨 㮩 㮪 㮫 㮬 㮭 㮮 㮯 㮰 㮱 㮲 㮳 㮴 㮵 㮶 㮷 㮸 㮹 㮺 㮻 㮼 㮽 㮾 㮿 㯀 㯁 㯂 㯃 㯄 㯅 㯆 㯇 㯈 㯉 㯊 㯋 㯌 㯍 㯎 㯏 㯐 㯑 㯒 㯓 㯔 㯕 㯖 㯗 㯘 㯙 㯚 㯛 㯜 㯝 㯞 㯟 㯠 㯡 㯢 㯣 㯤 㯥 㯦 㯧 㯨 㯩 㯪 㯫 㯬 㯭 㯮 㯯 㯰 㯱 㯲 㯳 㯴 㯵 㯶 㯷 㯸 㯹 㯺 㯻 㯼 㯽 㯾 㯿 㰀 㰁 㰂 㰃 㰄 㰅 㰆 㰇 㰈 㰉 㰊 㰋 㰌 㰍 㰎 㰏 㰐 㰑 㰒 㰓 㰔 㰕 㰖 㰗 㰘 㰙 㰚 㰛 㰜 㰝 㰞 㰟 㰠 㰡 㰢 㰣 㰤 㰥 㰦 㰧 㰨 㰩 㰪 㰫 㰬 㰭 㰮 㰯 㰰 㰱 㰲 㰳 㰴 㰵 㰶 㰷 㰸 㰹 㰺 㰻 㰼 㰽 㰾 㰿 㱀 㱁 㱂 㱃 㱄 㱅 㱆 㱇 㱈 㱉 㱊 㱋 㱌 㱍 㱎 㱏 㱐 㱑 㱒 㱓 㱔 㱕 㱖 㱗 㱘 㱙 㱚 㱛 㱜 㱝 㱞 㱟 㱠 㱡 㱢 㱣 㱤 㱥 㱦 㱧 㱨 㱩 㱪 㱫 㱬 㱭 㱮 㱯 㱰 㱱 㱲 㱳 㱴 㱵 㱶 㱷 㱸 㱹 㱺 㱻 㱼 㱽 㱾 㱿 㲀 㲁 㲂 㲃 㲄 㲅 㲆 㲇 㲈 㲉 㲊 㲋 㲌 㲍 㲎 㲏 㲐 㲑 㲒 㲓 㲔 㲕 㲖 㲗 㲘 㲙 㲚 㲛 㲜 㲝 㲞 㲟 㲠 㲡 㲢 㲣 㲤 㲥 㲦 㲧 㲨 㲩 㲪 㲫 㲬 㲭 㲮 㲯 㲰 㲱 㲲 㲳 㲴 㲵 㲶 㲷 㲸 㲹 㲺 㲻 㲼 㲽 㲾 㲿 㳀 㳁 㳂 㳃 㳄 㳅 㳆 㳇 㳈 㳉 㳊 㳋 㳌 㳍 㳎 㳏 㳐 㳑 㳒 㳓 㳔 㳕 㳖 㳗 㳘 㳙 㳚 㳛 㳜 㳝 㳞 㳟 㳠 㳡 㳢 㳣 㳤 㳥 㳦 㳧 㳨 㳩 㳪 㳫 㳬 㳭 㳮 㳯 㳰 㳱 㳲 㳳 㳴 㳵 㳶 㳷 㳸 㳹 㳺 㳻 㳼 㳽 㳾 㳿 㴀 㴁 㴂 㴃 㴄 㴅 㴆 㴇 㴈 㴉 㴊 㴋 㴌 㴍 㴎 㴏 㴐 㴑 㴒 㴓 㴔 㴕 㴖 㴗 㴘 㴙 㴚 㴛 㴜 㴝 㴞 㴟 㴠 㴡 㴢 㴣 㴤 㴥 㴦 㴧 㴨 㴩 㴪 㴫 㴬 㴭 㴮 㴯 㴰 㴱 㴲 㴳 㴴 㴵 㴶 㴷 㴸 㴹 㴺 㴻 㴼 㴽 㴾 㴿 㵀 㵁 㵂 㵃 㵄 㵅 㵆 㵇 㵈 㵉 㵊 㵋 㵌 㵍 㵎 㵏 㵐 㵑 㵒 㵓 㵔 㵕 㵖 㵗 㵘 㵙 㵚 㵛 㵜 㵝 㵞 㵟 㵠 㵡 㵢 㵣 㵤 㵥 㵦 㵧 㵨 㵩 㵪 㵫 㵬 㵭 㵮 㵯 㵰 㵱 㵲 㵳 㵴 㵵 㵶 㵷 㵸 㵹 㵺 㵻 㵼 㵽 㵾 㵿 㶀 㶁 㶂 㶃 㶄 㶅 㶆 㶇 㶈 㶉 㶊 㶋 㶌 㶍 㶎 㶏 㶐 㶑 㶒 㶓 㶔 㶕 㶖 㶗 㶘 㶙 㶚 㶛 㶜 㶝 㶞 㶟 㶠 㶡 㶢 㶣 㶤 㶥 㶦 㶧 㶨 㶩 㶪 㶫 㶬 㶭 㶮 㶯 㶰 㶱 㶲 㶳 㶴 㶵 㶶 㶷 㶸 㶹 㶺 㶻 㶼 㶽 㶾 㶿 㷀 㷁 㷂 㷃 㷄 㷅 㷆 㷇 㷈 㷉 㷊 㷋 㷌 㷍 㷎 㷏 㷐 㷑 㷒 㷓 㷔 㷕 㷖 㷗 㷘 㷙 㷚 㷛 㷜 㷝 㷞 㷟 㷠 㷡 㷢 㷣 㷤 㷥 㷦 㷧 㷨 㷩 㷪 㷫 㷬 㷭 㷮 㷯 㷰 㷱 㷲 㷳 㷴 㷵 㷶 㷷 㷸 㷹 㷺 㷻 㷼 㷽 㷾 㷿 㸀 㸁 㸂 㸃 㸄 㸅 㸆 㸇 㸈 㸉 㸊 㸋 㸌 㸍 㸎 㸏 㸐 㸑 㸒 㸓 㸔 㸕 㸖 㸗 㸘 㸙 㸚 㸛 㸜 㸝 㸞 㸟 㸠 㸡 㸢 㸣 㸤 㸥 㸦 㸧 㸨 㸩 㸪 㸫 㸬 㸭 㸮 㸯 㸰 㸱 㸲 㸳 㸴 㸵 㸶 㸷 㸸 㸹 㸺 㸻 㸼 㸽 㸾 㸿 㹀 㹁 㹂 㹃 㹄 㹅 㹆 㹇 㹈 㹉 㹊 㹋 㹌 㹍 㹎 㹏 㹐 㹑 㹒 㹓 㹔 㹕 㹖 㹗 㹘 㹙 㹚 㹛 㹜 㹝 㹞 㹟 㹠 㹡 㹢 㹣 㹤 㹥 㹦 㹧 㹨 㹩 㹪 㹫 㹬 㹭 㹮 㹯 㹰 㹱 㹲 㹳 㹴 㹵 㹶 㹷 㹸 㹹 㹺 㹻 㹼 㹽 㹿 㺀 㺁 㺂 㺃 㺄 㺅 㺆 㺇 㺈 㺉 㺊 㺋 㺌 㺍 㺎 㺏 㺐 㺑 㺒 㺓 㺔 㺕 㺖 㺗 㺘 㺙 㺚 㺛 㺜 㺝 㺞 㺟 㺠 㺡 㺢 㺣 㺤 㺥 㺦 㺧 㺨 㺩 㺪 㺫 㺬 㺭 㺮 㺯 㺰 㺱 㺲 㺳 㺴 㺵 㺶 㺷 㺸 㺹 㺺 㺻 㺼 㺽 㺾 㺿 㻀 㻁 㻂 㻃 㻄 㻅 㻆 㻇 㻈 㻉 㻊 㻋 㻌 㻍 㻎 㻏 㻐 㻑 㻒 㻓 㻔 㻕 㻖 㻗 㻘 㻙 㻚 㻛 㻜 㻝 㻞 㻟 㻠 㻡 㻢 㻣 㻤 㻥 㻦 㻧 㻨 㻩 㻪 㻫 㻬 㻭 㻮 㻯 㻰 㻱 㻲 㻳 㻴 㻵 㻶 㻷 㻸 㻹 㻺 㻻 㻼 㻽 㻾 㻿 㼀 㼁 㼂 㼃 㼄 㼅 㼆 㼇 㼈 㼉 㼊 㼋 㼌 㼍 㼎 㼏 㼐 㼑 㼒 㼓 㼔 㼕 㼖 㼗 㼘 㼙 㼚 㼛 㼜 㼝 㼞 㼟 㼠 㼡 㼢 㼣 㼤 㼥 㼦 㼧 㼨 㼩 㼪 㼫 㼬 㼭 㼮 㼯 㼰 㼱 㼲 㼳 㼴 㼵 㼶 㼷 㼸 㼹 㼺 㼻 㼼 㼽 㼾 㼿 㽀 㽁 㽂 㽃 㽄 㽅 㽆 㽇 㽈 㽉 㽊 㽋 㽌 㽍 㽎 㽏 㽐 㽑 㽒 㽓 㽔 㽕 㽖 㽗 㽘 㽙 㽚 㽛 㽜 㽝 㽞 㽟 㽠 㽡 㽢 㽣 㽤 㽥 㽦 㽧 㽨 㽩 㽪 㽫 㽬 㽭 㽮 㽯 㽰 㽱 㽲 㽳 㽴 㽵 㽶 㽷 㽸 㽹 㽺 㽻 㽼 㽽 㽾 㽿 㿀 㿁 㿂 㿃 㿄 㿅 㿆 㿇 㿈 㿉 㿊 㿋 㿌 㿍 㿎 㿏 㿐 㿑 㿒 㿓 㿔 㿕 㿖				

⑥

内装改修工事

⑬

せっこうボード
その他のボード
及び合板張り

特記事項

[6.13.2～3]

種 類	JIS 記号	厚さ（mm）、規格等
・硬質木毛セメント板[G]	HW	・15 ・20 ・25 ・
・中質木毛セメント板[G]	MW	・15 ・20 ・25 ・
・普通木毛セメント板[G]	NW	・15 ・20 ・25 ・
・硬質木片セメント板[G]	HF	・12 ・15 ・18 ・21 ・
・普通木片セメント板[G]	NF	・30 ・
・けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ2（無石棉） ・6 ・8
・ロックウール化粧吸音板	DR	・フラットタイプ （※9（不燃） ・12 ・ ） ・凹凸タイプ （※12（不燃） ・15 ・19 ・ ）
・ロックウール吸音ボード 1号	RW-B	・25 ・
・グラスウール吸音ボード 1号32K	GW-B	・25（ガラス加圧包） ・
・せっこうボード	GB-R	・12.5（不燃） ・15（不燃）
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5（不燃）化粧無（下地張り用） 化粧有（トランパン仕様）
・シージングせっこうボード	GB-S	12.5（不燃）
・強化せっこうボード	GB-F	12.5（不燃） ・15（不燃）
・せっこうラスボード	GB-L	9.5
・化粧せっこうボード （木目）	GB-D	12.5（不燃）幅440mm程度 （W）模様（・柱目 ・板目）専用下地材有り
・化粧せっこうボード （トランパン仕様）	GB-D （T）	9.5（準不燃）
・普通合板 [G]		表面の材質 ・生地、透明塗料塗り ・メッキ程度 ・ ・不透明塗料塗り （ ・しな程度 ・ ） 板面の品質（ ） 厚さ(mm)（ ） ・防虫処理 ・難燃処理
・天然木化粧合板 [G]		樹種名（ ） 厚さ(mm)（ ） ・防虫処理 ・難燃処理
・特殊加工化粧合板 [G]		化粧加工の方法 （ ・オナーレイ ・プリント ・塗装 ） 表面性能（ ）タイプ 厚さ(mm)（ ） ・防虫処理 ・難燃処理
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による（※1.2 ・）
・ポリエステル樹脂化粧板		
・ミディアムデンシティ ファイバーボード [G]	MDF	・3 ・7 ・9 ・12 ・
・単板張り パーティクルボード [G]		・無研磨板 ・研磨板 ・10 ・12 ・15 ・18 ・
・化粧 パーティクルボード [G]		・単板オナーレイ ・プラスチックオナーレイ ・塗装 ・10（難燃） ・12（難燃） ・
・ハードボード（素地） [G]	HB	・無研磨板（ ・スタンダード ・テンノード ） ・研磨板（ ・スタンダード ・テンノード ）
・ハードボード（化粧） [G]		・内装用 ・外装用 ・2.5 ・3.5 ・5 ・7
・インシュレーション ボード [G]	IB	A級（ ・天井仕上 ・内装仕上 ・ ） ・9 ・12 ・15 ・18

せっこうボード等の下地は図示による。

遮音シール材 ・適用する（ ・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド）
・適用しない

合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
・規制対象外 ・ B種 ・A種

合板類の張付け ・ B種 ・A種

せっこうボードの目地工法 ・ 仕上げ表による

壁紙張り

ホルムアルデヒド放散量 ・規制対象外 [6.14.2～3]

施工箇所	壁紙の種類				防火種別	備考
	紙	機織	プラスチック	無機質その他		
休憩所等	○	●	○	●	・不燃 ・準不燃 ・不燃 ・準不燃 ・不燃 ・準不燃 ・不燃 ・準不燃	

モルタル・プラスター面の下地調整 ○RB種 ・
コンクリート・ALC面の下地調整 ・RB種 ・
せっこうボード面の下地調整 ・RB種 ・

モルタル塗り [6.15.3、6]

吸水調整材は、改修工事標準仕様書表4.2.2による。
既製目地材 ・設ける 施工箇所（ ）
形状（ ・図示 ・ ）

床目地 ・設けない
・設ける（工法・押し目地 ・ ）
・設けない

・防水剤
（品質・性能）
工事建築材料等品質性能表による
（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による

⑥

24 タイル貼り

内装改修工事

特記事項

[6.16.2～4]

伸縮調整目地の位置 床タイル（ ・縦、横とも4m以内ごと ・図示 ・ ）
床タイル以外 （ ・図示 ・ ）

・セメントモルタルによる陶磁器質タイル貼り
タイルの形状、寸法等

主な用途 による区分 施工箇所	形状 寸法 (mm)	吸水率に よる区分			うわ ぐすり	役物	色	標 注	再 生 材 の 適 用	耐 凍 害 性	備 考
		I 類	II 類	III 類							
玄関・ホーチ	150角	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験貼り ・行う ・行わない
見本焼き ・行う ・行わない

・既成調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、
細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
（品質・性能）
工事建築材料等品質性能表による
（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による

・既製調合目地材
（品質・性能）
建築材料等品質性能表による
（試験方法）
建築材料等品質性能表による

・接着剤による陶磁器質タイル貼り
タイルの形状、寸法等

主な用途 による区分 施工箇所	形状 寸法 (mm)	吸水率に よる区分			うわ ぐすり	役物	色	標 注	再 生 材 の 適 用	耐 凍 害 性	備 考
		I 類	II 類	III 類							
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験貼り ・行う ・行わない
見本焼き ・行う ・行わない

内装壁タイル接着材張りに関する有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量
・規制対象外 ・

⑧

4 塗装

塗装改修工事

特記事項

塗装の種類	塗装面	工程	
		塗替え	新規
・合成樹脂調合 ペイント塗り （SOP） 塗料の種類 ・1種 ・2種	木部屋外 木部屋内 鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面（鋼製建具） 亜鉛めっき鋼面 （鋼製建具以外）	・B種 ・ ・B種 ・ ・B種 ・ ・B種 ・ ・B種 ・	・A種 ・ ・B種 ・ ・B種 ・A種 ・B種 ・A種 ・B種 ・
・アクリラッカー塗り（CL）		・B種 ・ ・A種	・B種 ・A種
・フタル酸樹脂エナメル塗り（FE） ・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り（NAD）		— ・B種 ・ ・A種	— ・B種 ・A種
・耐候性塗料塗り（DP）	鉄鋼面 上塗り等級（ ）級 亜鉛めっき鋼面 上塗り等級（ ）級 コンクリート面及び押出成形 セメント板面	・A種 ・ ・ ・	・A種 ・A種 ・ ・
・つや有合成樹脂 エマルションペイント （EP-G）	コンクリート面等 屋内の木部 屋内の鉄鋼面 屋内の亜鉛めっき鋼面	・B種 ・ ・B種 ・ ・B種 ・ ・B種 ・	・B種 ・A種 ・A種 ・ ・B種 ・A種 ・B種 ・A種
・合成樹脂エマルションペイント塗り（EP） ・合成樹脂エマルション模様塗料塗り（EP-T） ・ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）		・B種 ・ ・B種 ・ ・B種 ・	・B種 ・ ・B種 ・A種 ・B種 ・A種
・ラッカーエナメル塗り（LE）		・B種 ・A種	・B種 ・A種
・オイルステイン塗り（OS） ・木材保護塗料塗り（WP）		— ・B種 ・A種	— ・B種 ・A種

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（コンクリート面、もみり面、プaster面、
せっこうボード面、その他ボード面）の塗替えの場合のしき止め
※改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする ・
合成樹脂エマルションペイント塗り替えの場合のしき止め
※改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする ・

・高日射反射塗料塗り [G]
下地調整（改修標準仕様書表7.2.2） ・RA種 ・RB種 ・RC種

工程	塗料その他			塗付量 (kg/m²)
	規格番号	規格名称	種類 等級	
塗料塗り	JISK5675	耐候性 屋根用塗料	2種 ・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による

⑧

<共通事項><

章

項目

特記事項

8

21 無筋コンクリート

設計基準強度
・18 (N/mm²)
スラブ
・15cm又は18cm
適用箇所
・標準仕様書6.14.1(e)による箇所
・図示による

22 流動化
コンクリート

適用箇所
・図示による ()

23 ひび割れ誘発目地、
打継目地

目地寸法
・標準仕様書9.7.3による
間隔・位置・形状
・図示による ()

24 コンクリート
の仕上り

部材の位置及び断面寸法の許容差の標準値
・標準仕様書8.1.2による
合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ
種別
適用箇所
・A種
・B種
・C種

25 打増し厚さ
(打直し仕上げ部)

打直し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る)
・20mm
打直し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る)
・10mm
・20mm

26 型枠

せき板の材料及び厚さ
・合板 (※12mm)
断熱材の兼用
・行わない
・行う
MCR工法用シート
・用いる
打増し厚さ
・20mm
打増し範囲
・図示による ()
・用いない
スリーブの材種
※改修標準仕様書8.2.7(f)(2)(i)又は(ii)による

27 型枠の加工
及び部位

セパレータをシアコネクタとして使用
適用箇所
・図示による ()

28 コンクリート
の打込み工法等

部位毎のコンクリート打設工法の指定
補強工法
打設工法
部位
・現場打ちコンクリート壁
の増設工事
・工法指定なし
・全ての増設壁
・図示による ()
・流込み工法
・全ての増設壁
・図示による ()
・圧入工法
・全ての増設壁
・図示による ()
・図示による ()
・鉄筋コンクリート柱の
溶接金網巻き及び
溶接閉鎖フープ巻き
工法
・工法指定なし
・全ての増設壁
・図示による ()
・流込み工法
・全ての増設壁
・図示による ()
・圧入工法
・全ての増設壁
・図示による ()
・図示による ()
・工法指定なし
・全ての増設壁
・図示による ()
・流込み工法
・全ての増設壁
・図示による ()
・圧入工法
・全ての増設壁
・図示による ()
・図示による ()

鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法での型枠等
柱頭柱脚の隙間部間の型枠
・免砲プラスチック保温材等を埋込む
柱頭柱脚の隙間寸法
・図示による ()
既存柱外周部あと打ちコンクリート又はモルタルの厚さ
・図示による ()

章

項目

特記事項

8

32 高力ボルト

ボルトの区分
[8.1.6] [8.2.9] [8.13.2]
・トルシア形高力ボルト
セットの種類
・2種 (S10T)
・JIS形高力ボルト
セットの種類
・2種 (F10T)
高力ボルトの径
・図示による ()
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による ()
すべり係数試験
※行わない
試験方法等
・図示による ()

33 普通ボルト

ボルト及びナットの材料
・標準仕様書 表7.2.3による
座金
・標準仕様書 表7.2.3(d)による
ボルトの径
・図示による ()
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による ()

34 溶融亜鉛めっき
高力ボルト

セットの種類
[8.1.6] [8.2.9] [8.12.7] (7.12.4)
・1種 (F8T相当)
溶融亜鉛めっき高力ボルトの径
・図示による ()
溶融亜鉛めっき高力ボルトのメッキ前の孔径
・審査 (評定又は大臣認定)を受けた内容による
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による ()
摩擦面の処理
・スラスト処理 (表面粗度50μmRz以上)
・ブラスト処理以外の特別な処理方法
・図示による ()
すべり耐力の確認方法
※すべり係数試験
試験方法等
・図示による ()

35 アンカーボルト

適用
(7.2.4) (7.10.3)
・構造用アンカーボルト
セットの種類 (JIS B 1220又はJSS II 13-2004)
・ABR400
・ABR490
形状、寸法
・図示による ()
・建方用アンカーボルト
種類
・SS400
アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度
・標準仕様書 表7.2.3による
形状、寸法
・図示による ()

36 溶接材料

溶接材料
[8.2.10]
・改修標準仕様書8.2.10(a)(b)による
・図示による ()
種類
(7.2.6)
建築用ターンバックル鋼
※割枠式
建築用ターンバックルボルト
※羽子板ボルト
ねじの呼び
・図示による ()

38 デッキプレート

材質、形状及び寸法
(6.8.3) (7.2.7) (7.7.8)
・デッキプレート
単独の構造
・デッキプレートと
コンクリートとの
合成スラブとする
構造
・床型枠用

開口部補強要領 (補強筋の定着長さ等を含む)
・図示による ()
鉄骨部材への溶接方法
・図示による ()
耐火認定
・有り
耐火時間
・図示による ()
・無し

39 スタッド

材質、形状及び寸法
※頭付きスタッド JIS B 1198
種類等
呼び名
呼び長さ (mm)
適用箇所
・16
・19
・22

40 柱底均しモルタル

モルタルの種類
[8.2.11]
・無収縮モルタル
無収縮モルタルの材料及び調合
材料、調合等
・改修標準仕様書8.2.11による

41 工作図

監督職員による原寸検査
・行わない
・行う
既存建築物との取り合う箇所がある場合は現場実測の上作成を行う

章

項目

特記事項

8

42 製作精度

・改修標準仕様書8.12.2による
[8.12.2]
通しダイヤフラムの許容誤差
・ダイヤフラムをH12建告第1464号第二号イ(1)(2)に規定するただし書き
の計算確認有り
補強方法
・「突合わせ溶接の食い違い仕口のずれ検査・補強マニュアル」による
・全てのダイヤフラムはH12建告第1464号第二号イ(1)(2)に規定する仕様
を満足すること

43 鉄骨の仮組

・行わない
仮組を行う範囲
・図示による ()
確認方法、確認項目
・図示による ()

44 溶接技能者の技量
付加試験

試験の要領
・図示による ()

45 溶接接合

開先の形状
[8.14.4] [8.14.7]
・図示による ()
スカラップの形状
・図示による ()
エンドタブの切除する部分
・見え掛り部となる部分
・図示による ()
・見え隠れ部となる部分
・図示による ()
・切除する部分無し
溶接部の余盛り高さ
・JASS6 付則6「鉄骨精度検査基準」 付表3「溶接」による

46 入熱、バス間温度
の溶接条件

鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件
・図示による ()
適用箇所
・図示による ()
・柱、梁、プレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部

47 溶接部の試験

完全溶込み溶接部の超音波探傷試験
・工場溶接の場合
[8.14.11]
・全数
・工事現場溶接の場合
・全数
突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査
「突合せ継手の食い違い仕口のずれ検査・補強マニュアル」による
・抜き取り検査①
・抜き取り検査②

48 錆止め塗装

塗料の種類
[8.16.3]
・鉄鋼面の錆止め塗料
屋外
・改修標準仕様書7.3.2 表7.3.1A種
屋内
・改修標準仕様書7.3.2 表7.3.1 () 種
・亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料
・改修標準仕様書7.3.2 表7.3.2 () 種
鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブ内面 (鉄骨に溶接されたものに限り)
・改修標準仕様書7.3.2 表7.3.1A種
耐火被覆材の接着する面への塗装
・行わない
・行う
適用箇所
・図示による ()
塗料の種類
・改修標準仕様書7.3.2 表7.3.1 () 種
・改修標準仕様書7.3.2 表7.3.2 () 種

49 耐火被覆材

種類
[8.17.2~8.17.7]
種類
種類
材料・工法
適用箇所 (部位・部分)
・耐火材吹付け
・乾式吹付けロックウール
・半乾式吹付けロックウール
・湿式ロックウール
・耐火板張り
・繊維混入けい酸カルシウム板
・耐火材巻付け
・高耐火ロックウール
・2張りもしくは塗り
材料及び工法は、建築基準法に基づき定められたもの又は認定を受けたもの
とする。
性能
性能
適用箇所 (部位・部分)
・30分耐火
・1時間耐火
・2時間耐火
・3時間耐火
・JASS 付則6「鉄骨精度基準」付表「工事現場」による
構造用アンカーフレームの形状及び寸法
・図示による ()
建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法
種別
・A種
・B種
・C種
柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別
・標準仕様書 表7.10.2 (・A種【厚さ50】・B種【厚さ30】)による
接合部 (ボルト接合の場合)
・普通ボルト接合
種別等
(7.12.3)
亜鉛めっき
の種別
材料
適用箇所
(部位・部分)
・A種
最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板
・B種
最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板
・C種
普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類
最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板

章

項目

特記事項

8

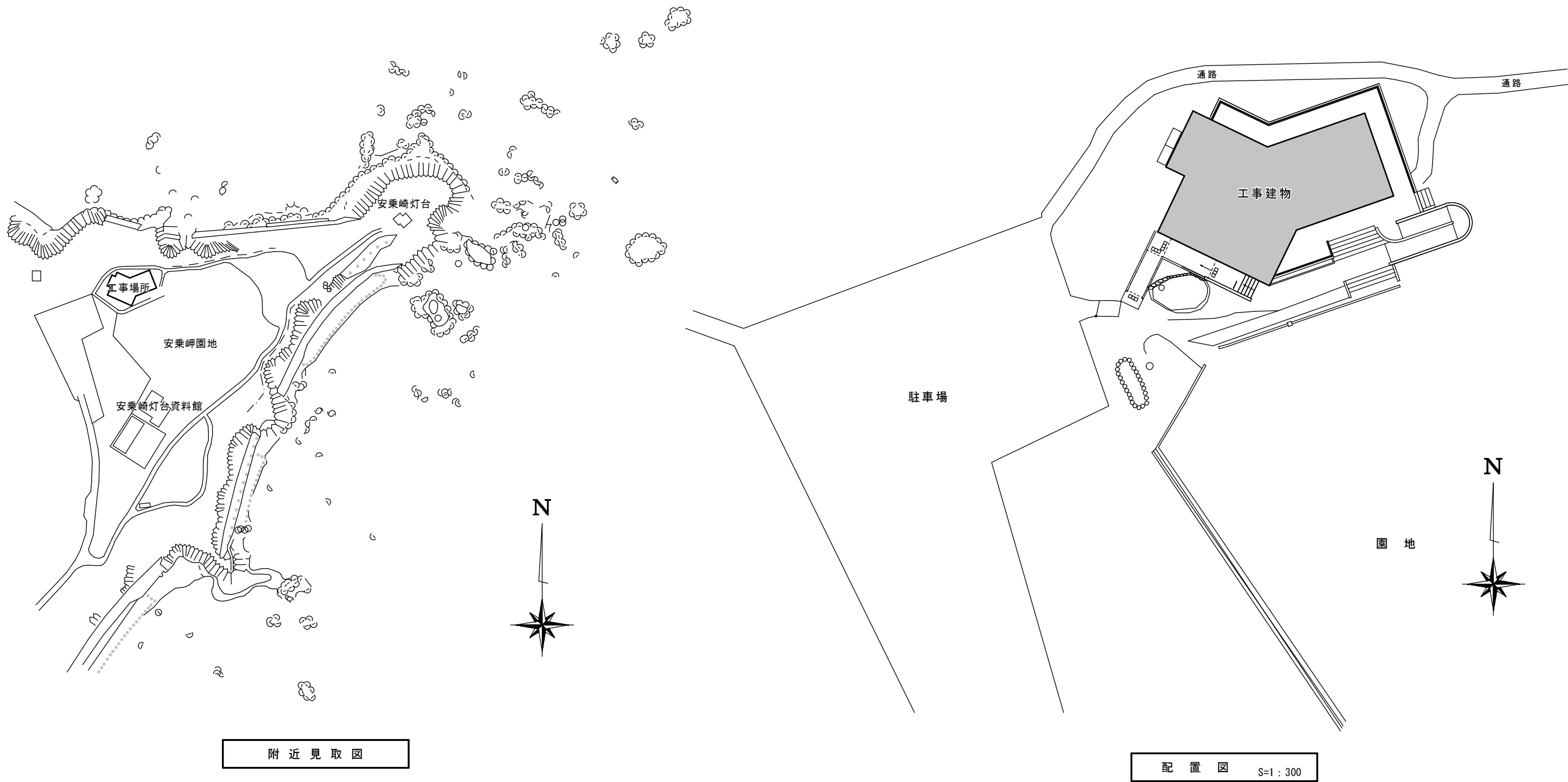
54 鉄骨プレース設置
後の仕上げ

・図示による ()
・

55 あと施工アンカー

材料等
[8.2.4]
・金属系アンカー
・引張耐力 ()
・せん断耐力 ()
セット方式
・本体打込み式改良型
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・性能確認試験
試験方法及び試験数
・図示による ()
・
・接着系アンカー
・引張耐力 ()
・せん断耐力 ()
セット方式 ※カプセル型回転・打撃式
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による ()
・図示による

No.	項目	月	6	7	8	9	10	
	主要行事予定			施工				完成
01	準備			準備工事				検査
02	共通仮設						空気測定 結果報告	
03	直接仮設			足場組立			足場解体	
04	外壁改修工事			外壁調査		クラック補修	改修工事	
05	屋根改修工事			屋根調査 材料調達		屋根葺き替え		
06	内装改修工事			調査・断壁・換気・撤去		内部改修工事		
07	建具改修工事			調査・施工図・除却		建具改修工事		
08	電気設備工事			調査・準備・製品発注 撤去		配線・器具取付工事		
09	機械設備工事			調査・準備・製品発注 撤去		配管工事 器具取付工事		
10	雑工事			製品運びだし 支障水処理		外構工事		
摘要								



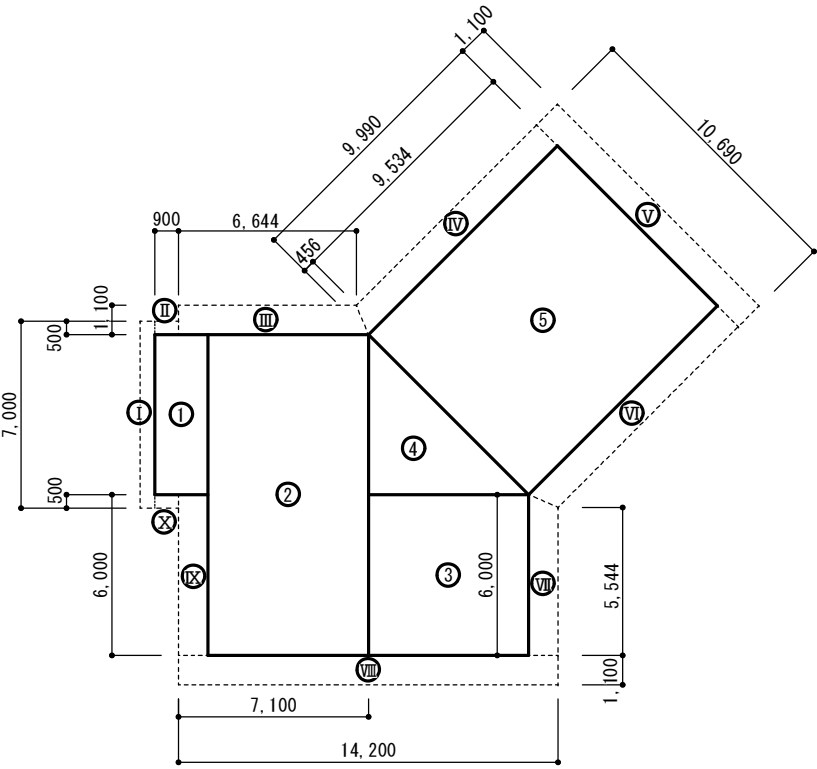
既存 外部仕上表	
屋 根	アスファルトシングル葺
外 壁	吹付タイル（ヘッドカット仕上）（石綿含有なし）
柱	R C素地仕上
軒 裏	リシン吹付
外 部 建 具	アルミサッシ（カラー）
外 部 手 摺	PCコンクリート 撤去
スロープ：床	モルタル仕上
スロープ：壁	吹付タイル

改修後 外部仕上表	
屋 根	t=0.4mm 遮熱性ポリエステル樹脂塗装高耐久ガルバ葺き（カバー工法）
	アンカー@450止め工法
下 葺 材	t=1.0mm ゴムアスファルトルーフィング張り
軒 納 め	t=0.4mm 屋根同材 ガルバリウム鋼板素地
下り軒納め	t=0.4mm 屋根同材 ガルバリウム鋼板素地
外 壁 ・ 柱 既設スロープ壁	仕上塗材：可とう形改修塗材R E ゆず肌状・ローラー塗り・シリコン系・薄付け仕上 下地調整塗材 E
一 部 柱 型	人工木材巻き
軒 天	水性反応硬化形軒天塗料

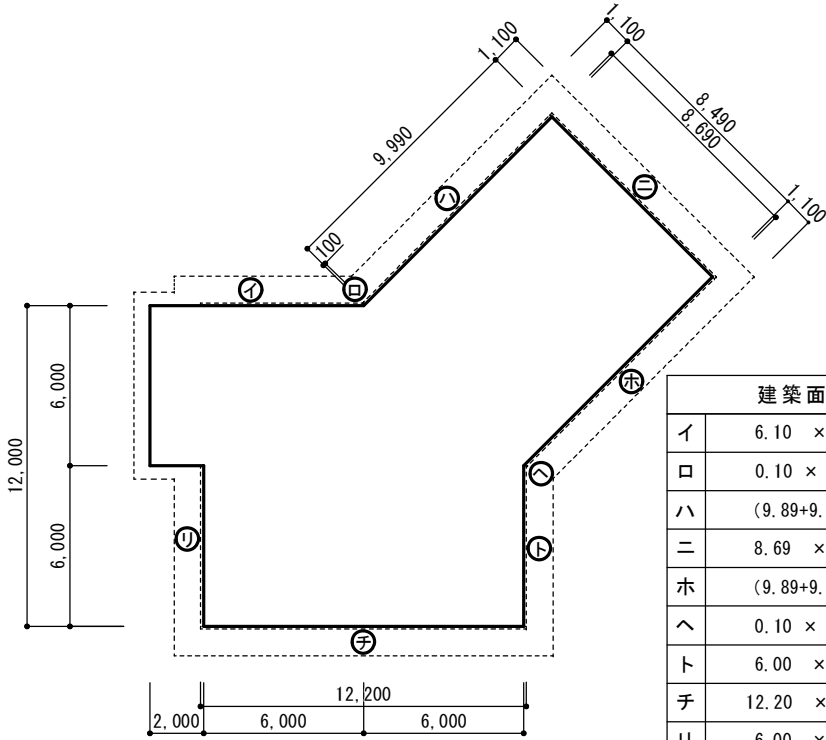
改修後 外部仕上表	
外 部 建 具	アルミサッシ・改修工法（カラー）
	アルミサッシ・カバー工法（カラー）
外 部 手 摺	アルミ歩行補助手摺
人工木材デッキ	人工木材デッキ+アルミ製下地材
ポ ー チ	外部用 t=2.5mm防滑性ビニル床シート張り

既存 内部仕上表					
室 名	床	巾 木	壁	天 井	備 考
休 憩 室	長尺シート貼（撤去）	塩ビ巾木 H=100mm（撤去）	ビニールシート貼（撤去）	化粧石膏ボード ^{（吸音板）} 9×450×900	展示ケース（撤去）
展 示 室	長尺シート貼（撤去）	塩ビ巾木 H=100mm（撤去）	ビニールシート貼（撤去）	化粧石膏ボード ^{（吸音板）} 9×450×900	
倉 庫	モルタル仕上	塩ビ巾木 H=150mm モルタル仕上	モルタル仕上	石綿板 VP	
売 店	長尺シート貼（撤去）	塩ビ巾木 H=100mm（撤去）	ビニールシート貼（撤去）	化粧石膏ボード（撤去） ^{（吸音板）} 9×450×900	カウンター（改修）
厨 房	長尺シート貼（撤去）	塩ビ巾木 H=100mm（撤去）	ビニールシート貼（撤去）	化粧石膏ボード ^{（吸音板）} 9×450×900	流シ、ガス台、吊戸棚（改修）
文楽人形ケース	縁甲板張	塩ビ巾木 H=100mm	ビニールシート貼	アルミ格子 ルーバー 石綿板 VP	

改修後 内部仕上表					
室 名	床	巾 木	壁	天 井	
休 憩 室	t=3mm 複層ビニル床タイル FT （木目タイプ）	木製巾木 CL H=100mm（改修）	t=12.5mm PB・GL工法（改修） クロス貼り（改修）	t=10mm バイন化粧羽目板（工場塗装 オスモ同材） 下地板：t=9mm ラワン合板（T-1）	カーテンボックス：CL塗り 化粧柱：CL
展 示 室	t=3mm 複層ビニル床タイル FT （木目タイプ）	木製巾木 CL H=100mm（改修）	t=12.5mm PB・GL工法（改修） クロス貼り・掲示クロス貼り（改修）	t=9.5mm PB クロス貼り	カーテンボックス：SOP塗り
倉 庫	モルタル仕上（既設）	既設	既設	既設	
売 店	t=2.5mm防滑性ビニル床シート張り	塩ビ巾木 H=100mm（改修）	t=12.5mm PB・GL工法、直張り（改修） クロス貼り（改修）	化粧石膏ボード ^{（吸音板）} 9×450×900	
厨 房	t=3mm 塗り床・防滑性	一部塩ビ巾木 H=100mm（改修）	t=12.5mm PB・GL工法、直張り（改修） クロス貼り（改修）	t=6mm ケイカル板 EP	厨房機器（改修）、ステンレス換気フード（新設）
廊 下	一部 t=2.5mm防滑性ビニル床シート張り	一部塩ビ巾木 H=100mm（改修）	クロス貼り（改修）	化粧石膏ボード ^{（吸音板）} 9×450×900	



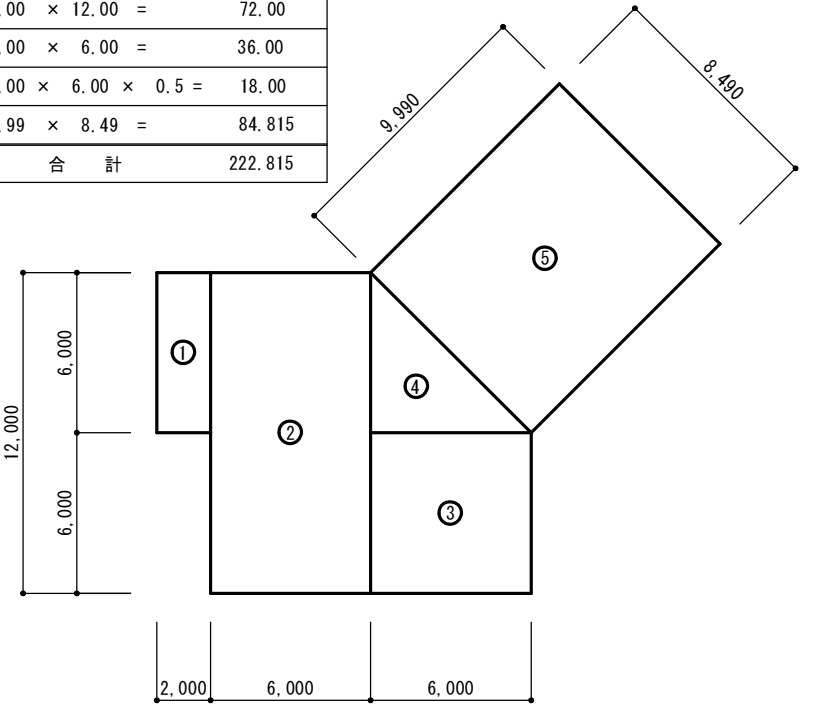
床面積算定 1/200



建築面積算定 1/200

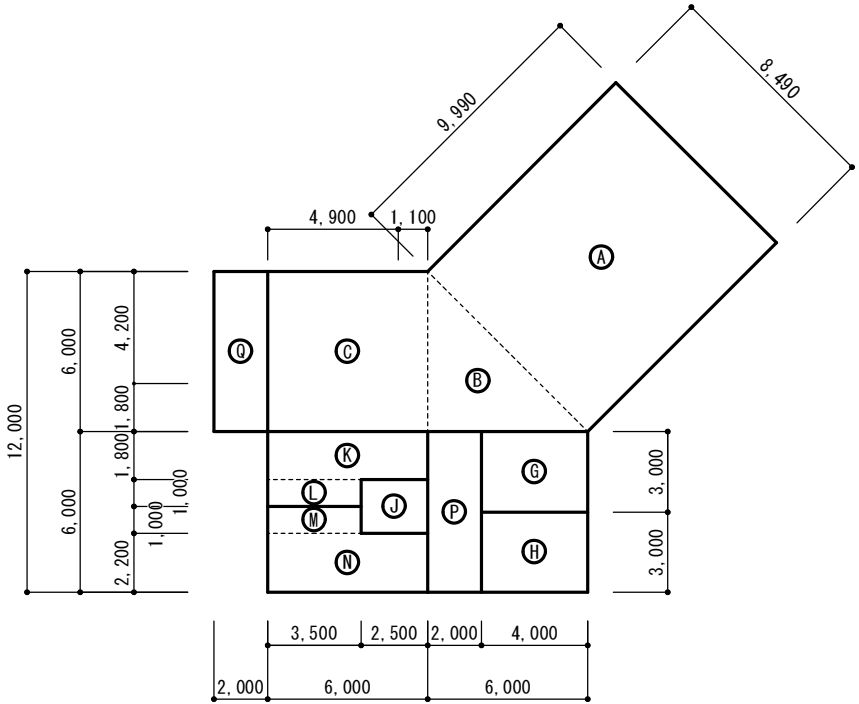
建築面積		228.70 m ²
イ	6.10 × 0.10 =	0.61
ロ	0.10 × 0.10 × 0.5 =	0.005
ハ	(9.89+9.99) × 0.10 × 0.50 =	0.994
ニ	8.69 × 0.10 =	0.869
ホ	(9.89+9.99) × 0.10 × 0.50 =	0.994
ヘ	0.10 × 0.10 × 0.5 =	0.005
ト	6.00 × 0.10 =	0.60
チ	12.20 × 0.10 =	1.22
リ	6.00 × 0.10 =	0.60
建築面積 増加部分		5.897
床面積		222.81 m ²
計		228.707

床面積		222.81 m ²
1	2.00 × 6.00 =	12.00
2	6.00 × 12.00 =	72.00
3	6.00 × 6.00 =	36.00
4	6.00 × 6.00 × 0.5 =	18.00
5	9.99 × 8.49 =	84.815
合計		222.815



床面積算定 1/200

水平投影面積面積		296.57 m ²
I	0.50 × 7.00 =	3.5000
II	0.90 × 0.50 =	0.4500
III	(6.644+7.10) × 1.10 × 0.5 =	7.5592
IV	(9.534+9.99) × 1.10 × 0.5 =	10.7382
V	10.69 × 1.10 =	11.7590
VI	(9.534+9.99) × 1.10 × 0.5 =	10.7382
VII	(5.544+6.00) × 1.10 × 0.5 =	6.3492
VIII	14.20 × 1.10 =	15.6200
IX	1.10 × 6.00 =	6.6000
X	0.90 × 0.50 =	0.4500
水平投影面積 増加部分		73.7638
床面積		222.81 m ²
計		296.5738



室別床面積算定 1/200

室別面積表

休憩室		102.81 m ²
A	9.99 × 8.49 =	84.815
B	6.00 × 6.00 × 0.5 =	18.00
		102.815

展示室		36.00 m ²
C	6.00 × 6.00 =	36.00

売店		12.00 m ²
G	4.00 × 3.00 =	12.00

厨房		12.00 m ²
H	4.00 × 3.00 =	12.00

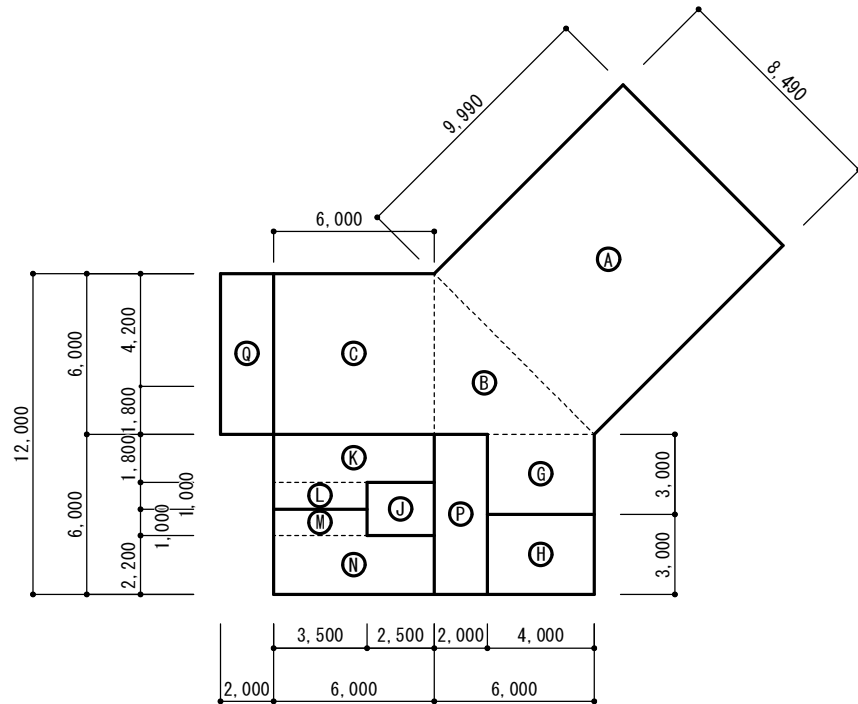
多目的便所		5.00 m ²
J	2.50 × 2.00 =	5.00

女子便所		14.30 m ²
K	6.00 × 1.80 =	10.80
L	3.50 × 1.00 =	3.50
		14.30

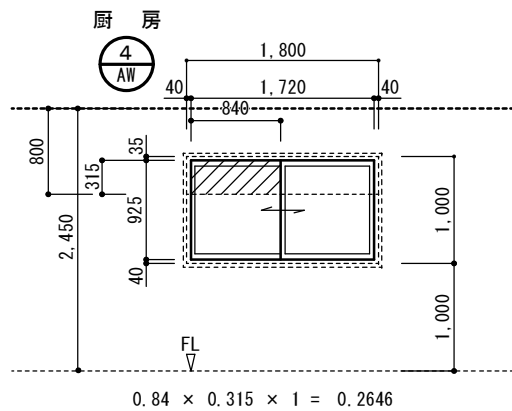
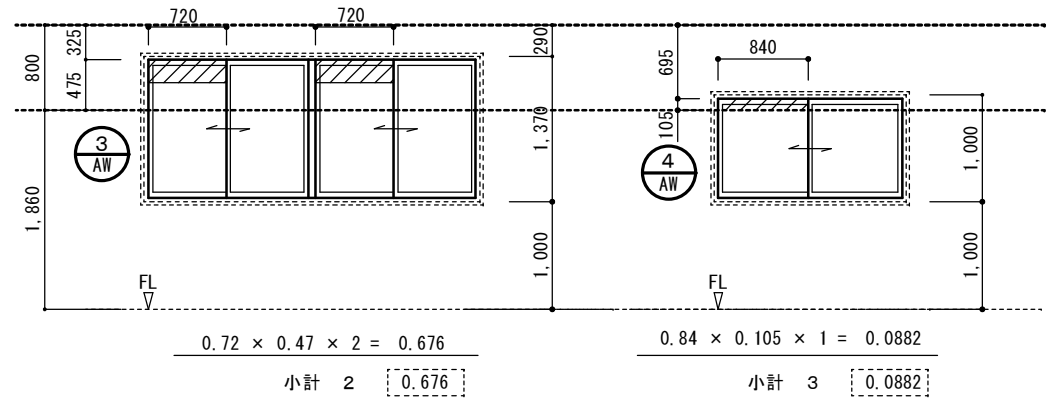
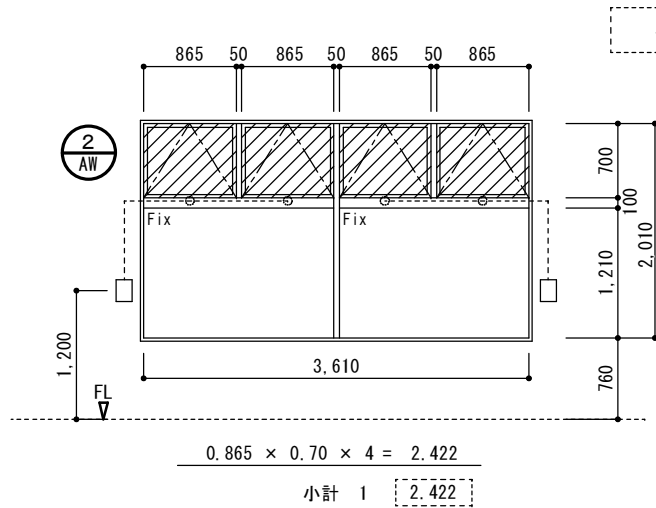
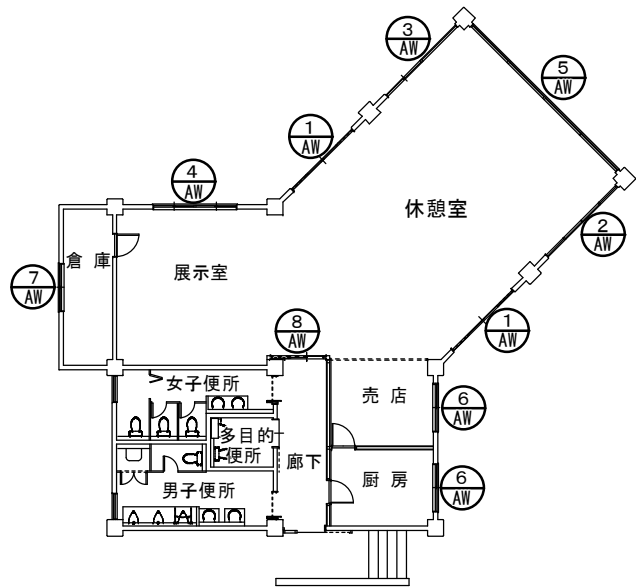
男子便所		16.70 m ²
M	3.50 × 1.00 =	3.50
N	6.00 × 2.20 =	13.20
		16.70

廊下		12.00 m ²
P	2.00 × 6.00 =	12.00

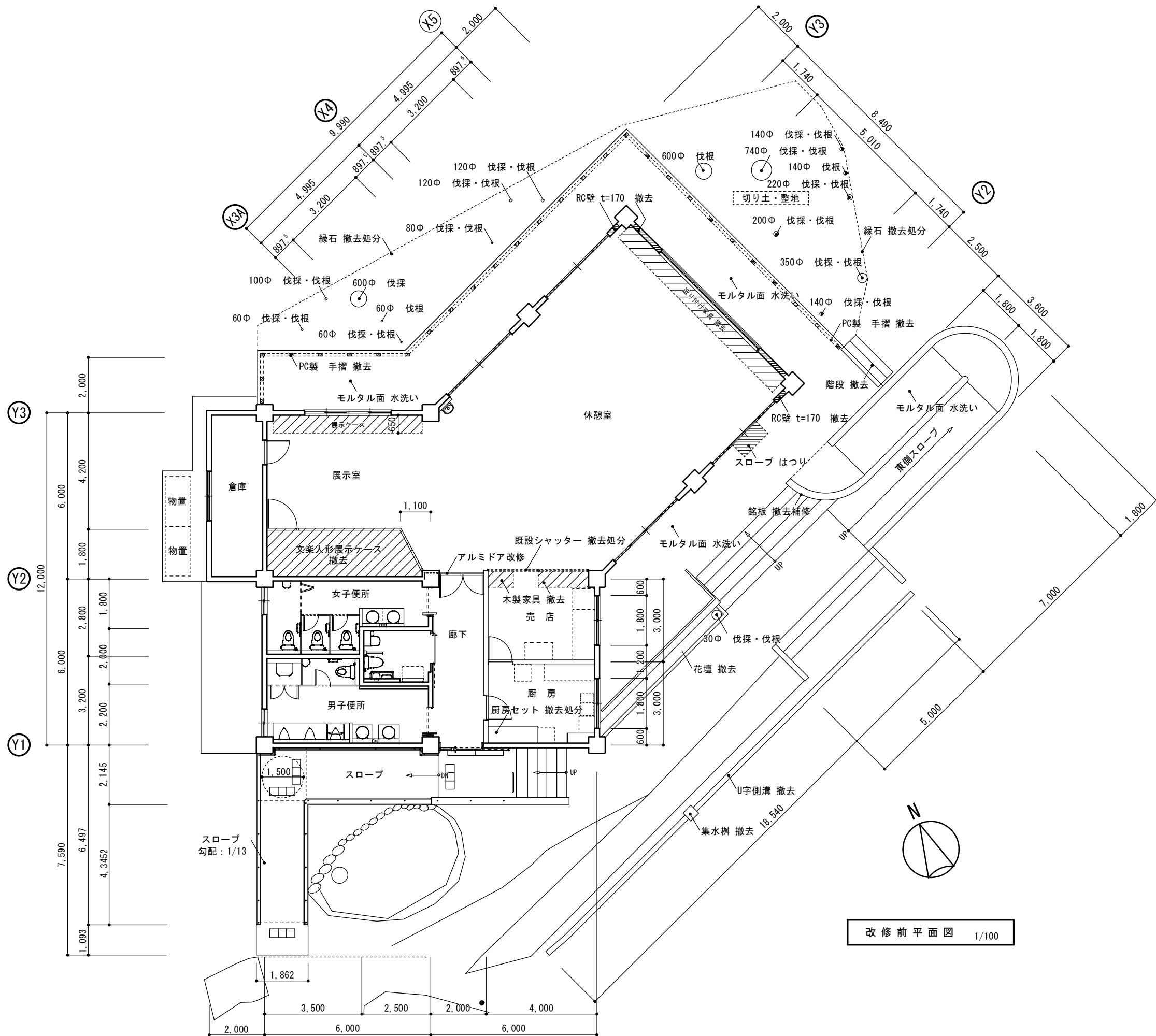
倉庫		12.00 m ²
Q	2.00 × 6.00 =	12.00

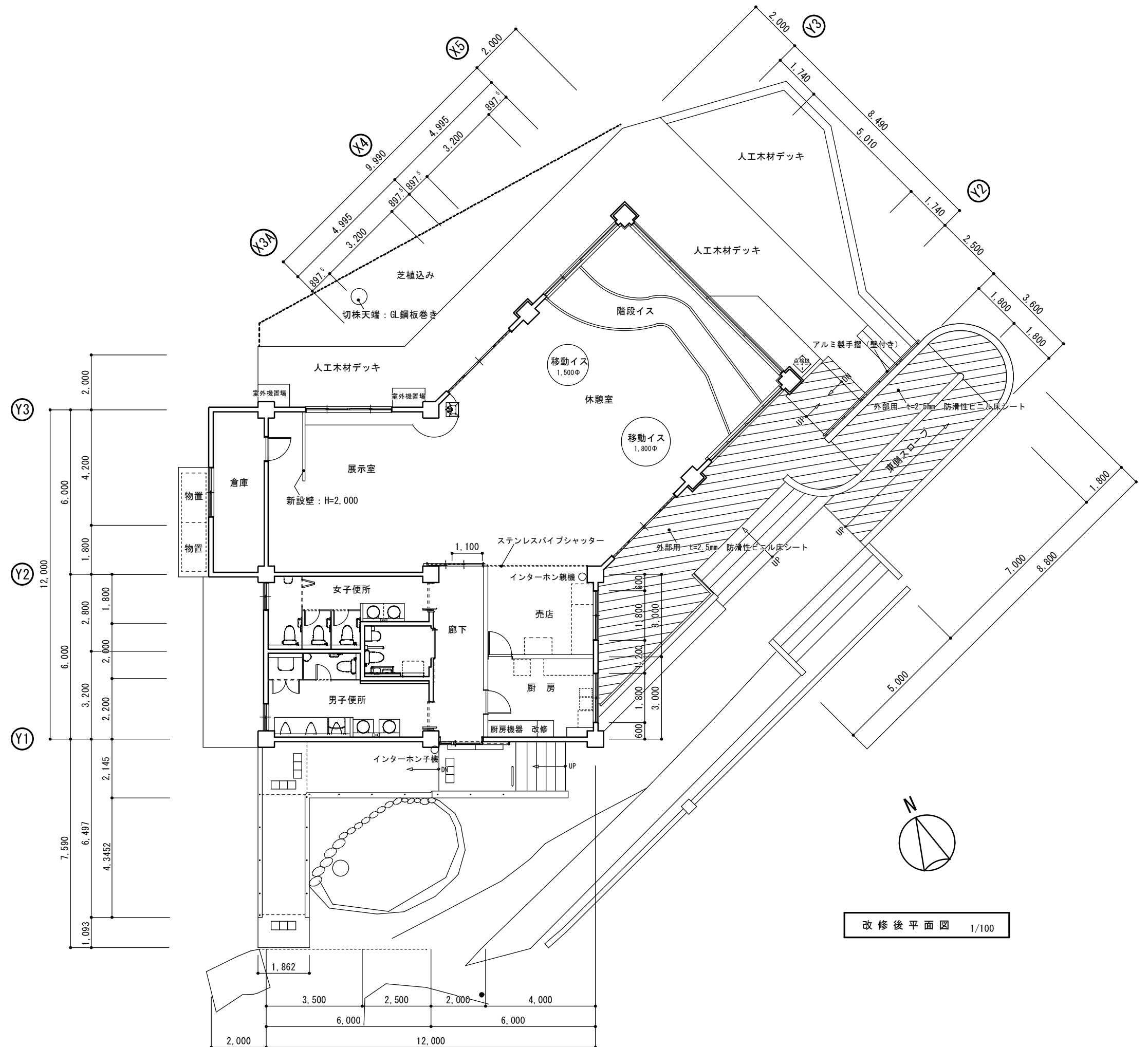


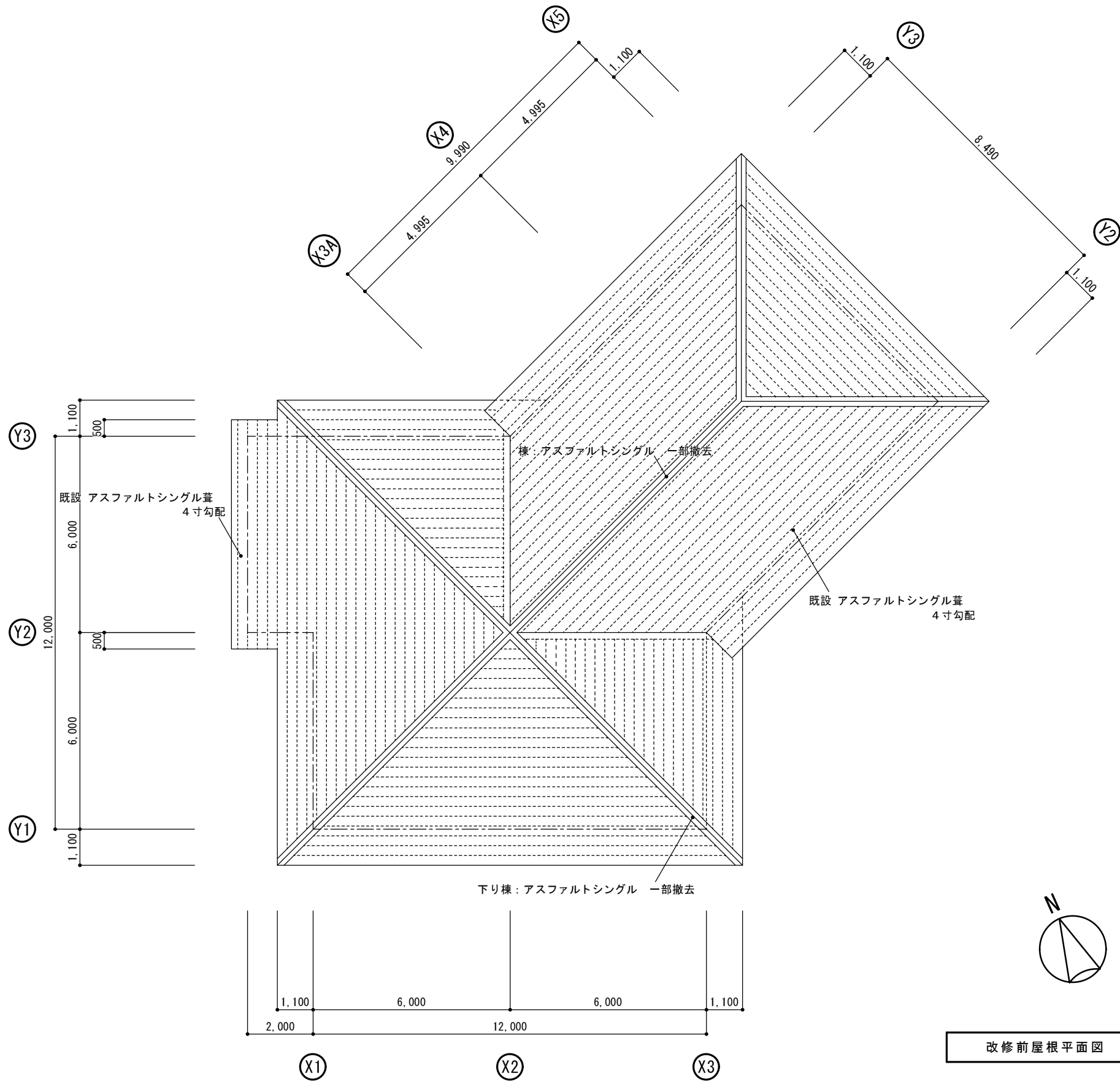
消防法による無窓階の検討				
必要開口面積		$222.81/30 = 7.427 \text{ m}^2$		
有効開口面積		12.34 m^2		
AW-1	$1.50 \times 1.93 \times 2 =$	5.79		
AW-3	$0.85 \times 1.90 \times 1 =$	1.61		
AW-4	$0.70 \times 1.25 \times 2 =$	1.75		
AW-6	$0.80 \times 0.90 \times 2 =$	1.44		
引戸	$0.90 \times 1.95 \times 1 =$	1.75		

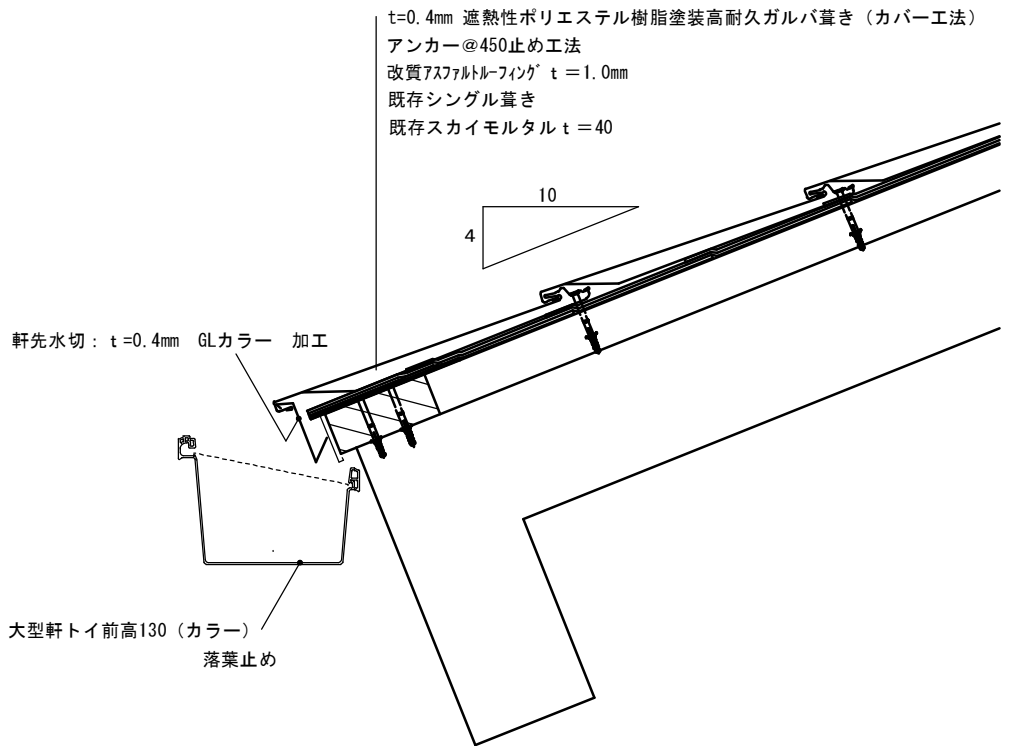
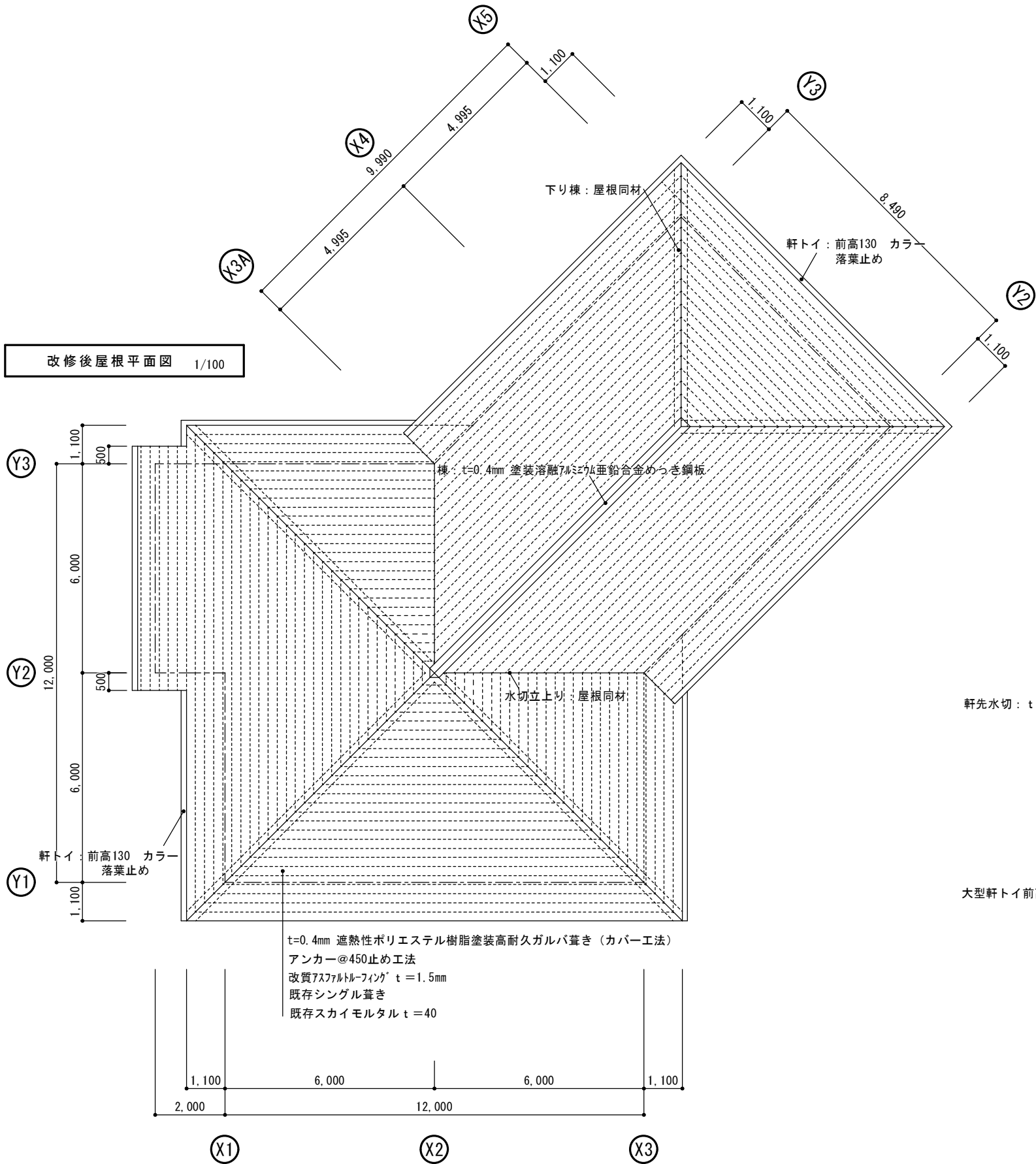


室名	床面積 S (㎡)	天井高 (h)	室容積 (m³)	平均天井高算定 (H)	必要排煙面積 S × 1/50 (㎡)	有効排煙面積 (㎡)	判定
休憩室	102.81	2.70	277.58	$401.18 \div 150.81 = 2.66$	3.02	3.20	OK
展示室	36.00	2.60	93.60				
売店	12.00	2.50	30.00				
小計	150.81		401.18				
厨房	12.00	2.45			0.24	0.26	OK









※ 屋根材・参考品番： アイジールーフ、スーパーガルテクト

訂正

工事名称

令和2年度 安乗岬園地休憩舎改修工事

設計図

設計

片山

建築設計 間 34

マ サン ヨン

片山 正司

図面名

改修後屋根平面図

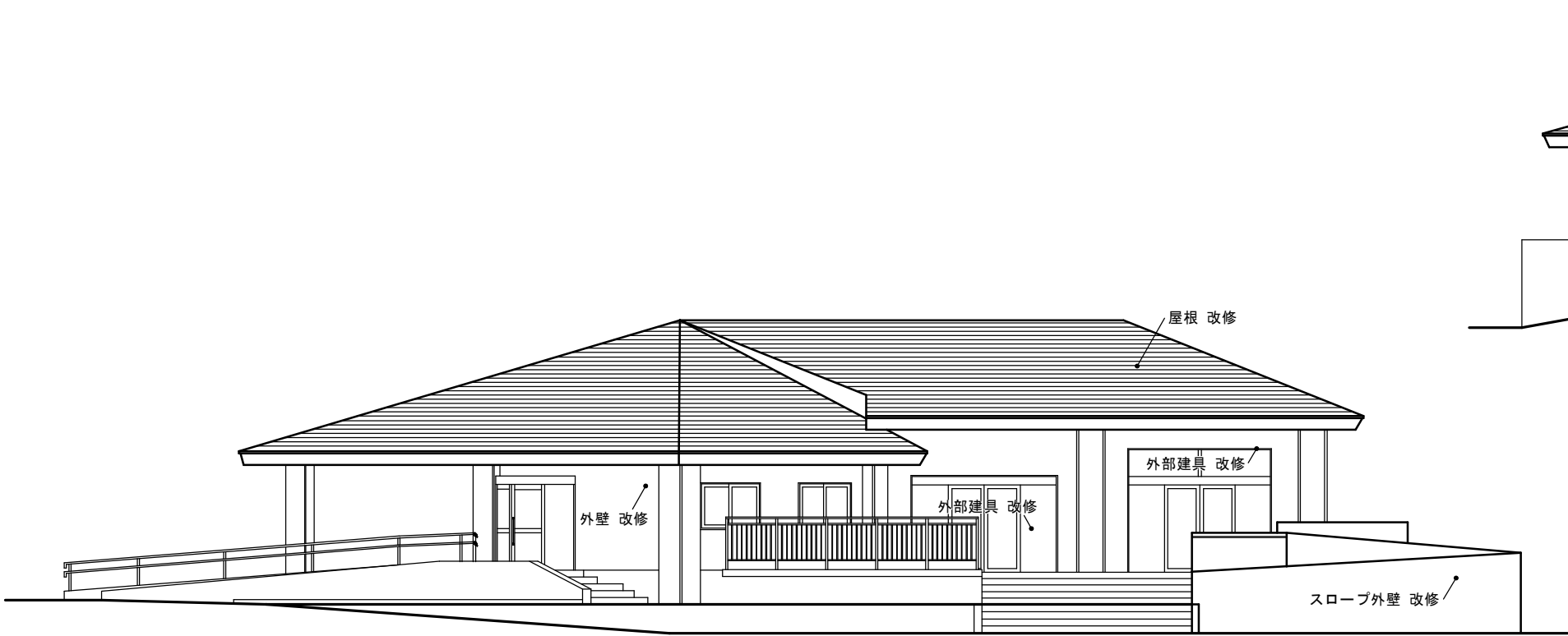
縮尺

A3 : A2×71%

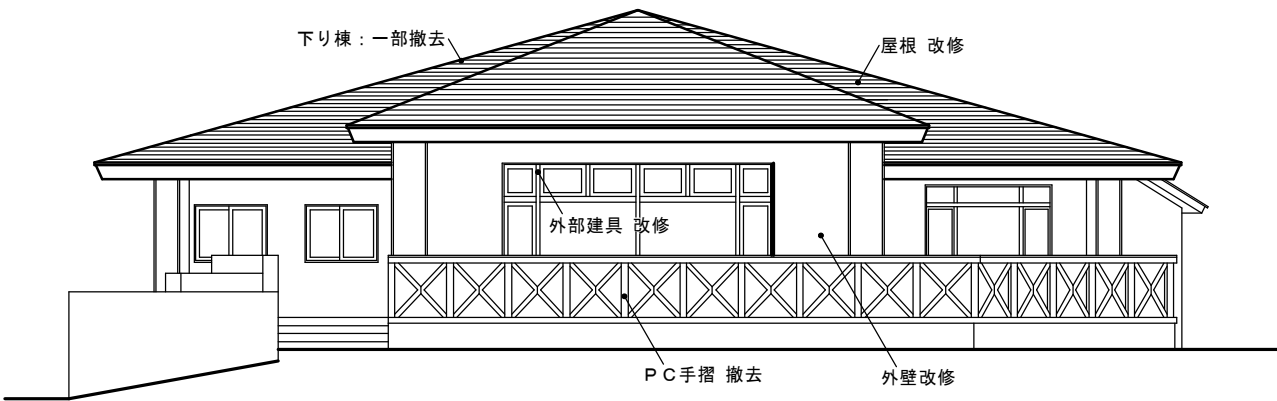
S=1/100

図面番号

A-08

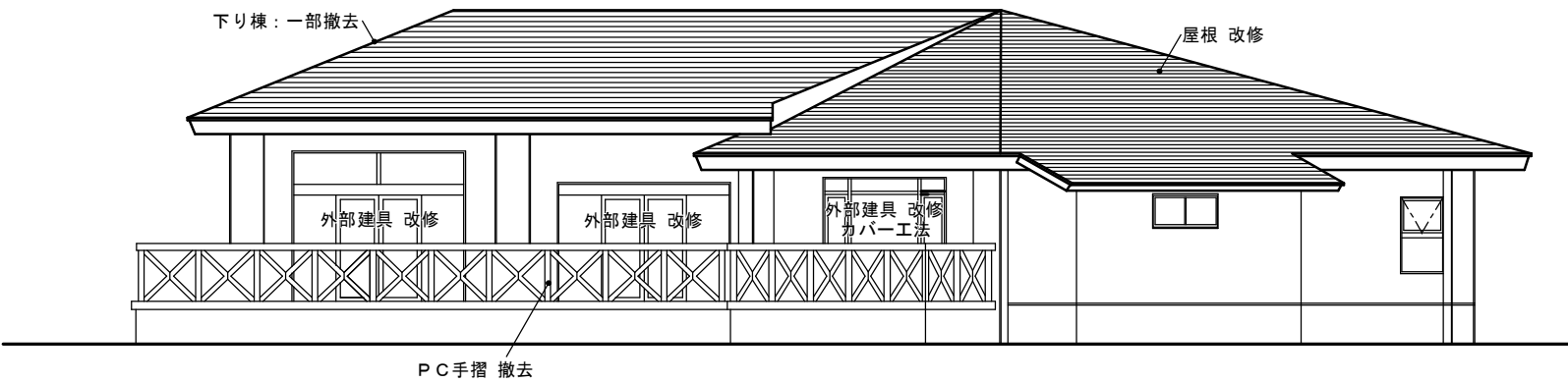


南 面 図 1/100



東 面 図 1/100

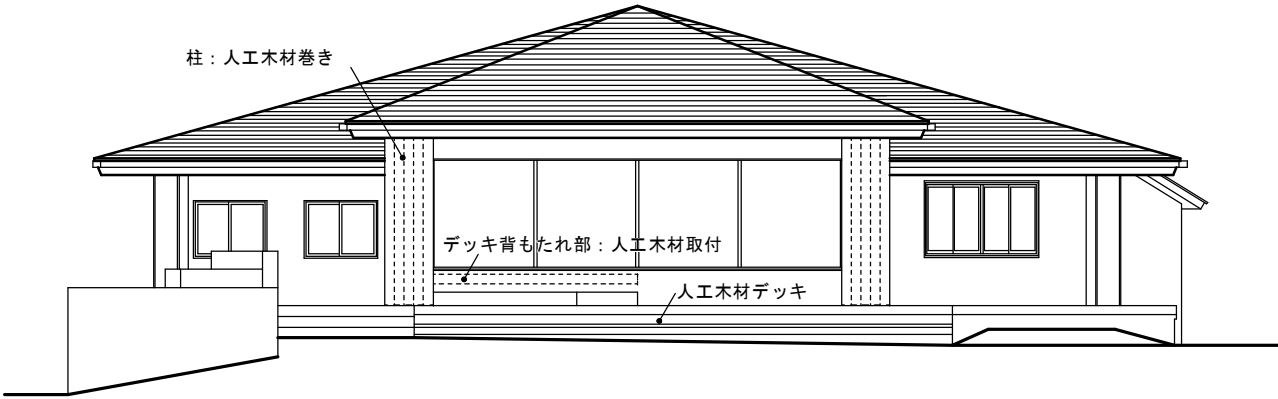
外壁：施工数量調査	目視・打診・マーキング・計測・図面記入
軒天：施工数量調査	目視・打診・マーキング・計測・図面記入
東側スロープ壁：施工数量調査	目視・打診・マーキング・計測・図面記入



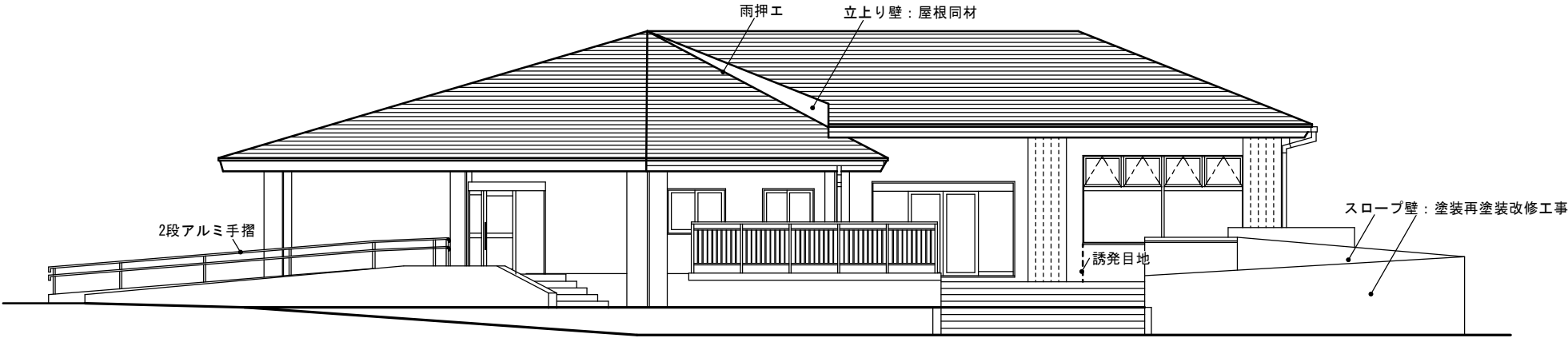
北 面 図 1/100

改修後 外部仕上表

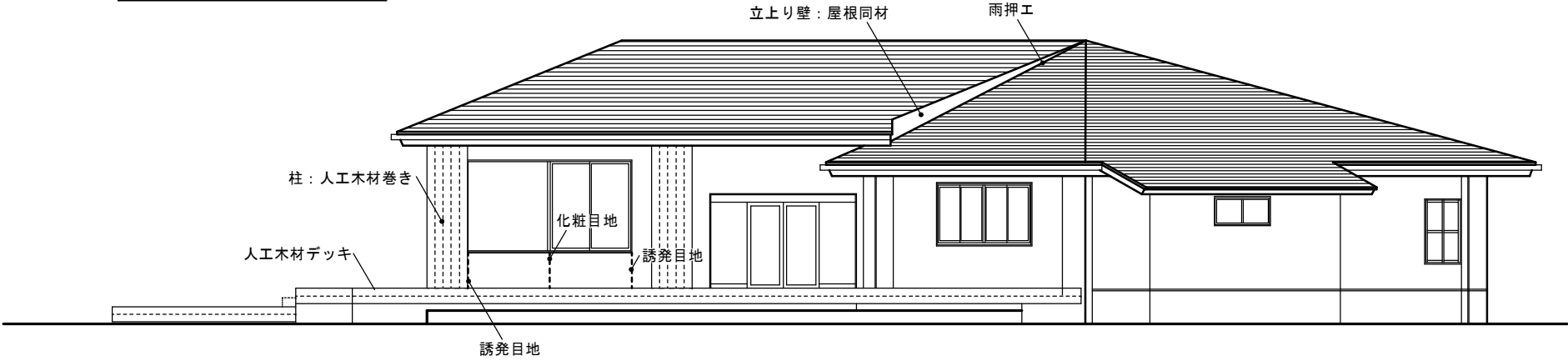
屋 根	t=0.4mm 遮熱性ポリエステル樹脂塗装高耐久ガルバ葺き（カバー工法）
	アンカー@450止め工法
	既設シングル葺欠損部左官補修
下 葺 材	t=1.0mm ゴムアスファルトルーフィング張り
軒 納 め	t=0.4mm 屋根同材 ガルバリウム鋼板素地
下り軒納め	t=0.4mm 屋根同材 ガルバリウム鋼板素地
外 壁 ・ 柱 既設スロープ壁	仕上塗材：可とう形改修塗材RE ゆず肌状・ローラー塗り・シリコン系・薄付け仕上 下地調整塗材 E
一 部 柱 型	人工木材巻き
軒 天	水性反応硬化形軒天塗料



東 面 図 1/100



南 面 図 1/100



北 面 図 1/100

外壁改修工事

外壁・軒裏：水洗い工法・高圧ポンプ　～10Mpa
外壁：仕上塗材：可とう形改修塗材 R E
ゆず肌状・ローラー塗り・シリコン系・薄付け仕上
下地調整塗材 E

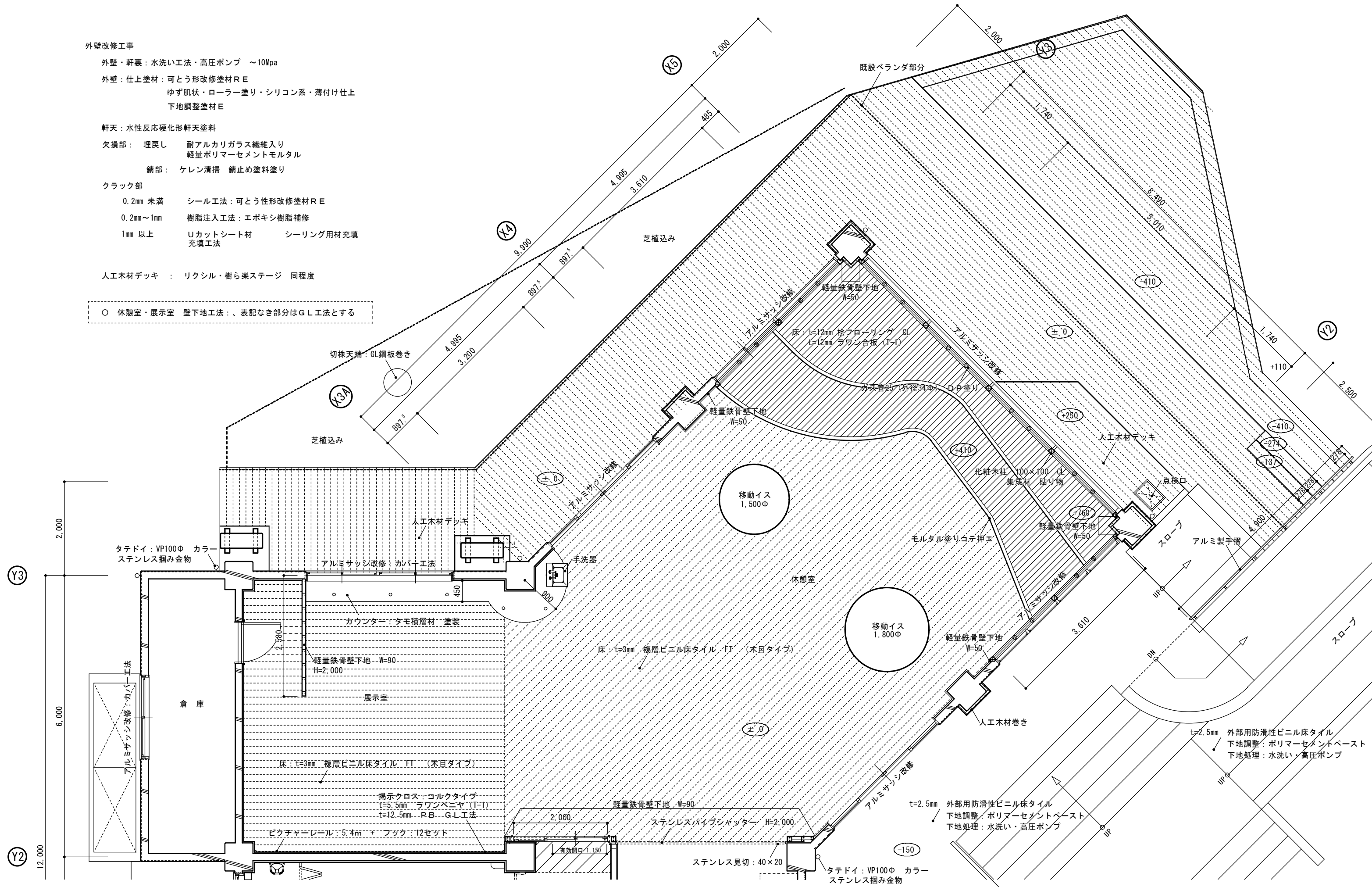
軒天：水性反応硬化形軒天塗料
欠損部：埋戻し　耐アルカリガラス繊維入り
軽量ポリマーセメントモルタル

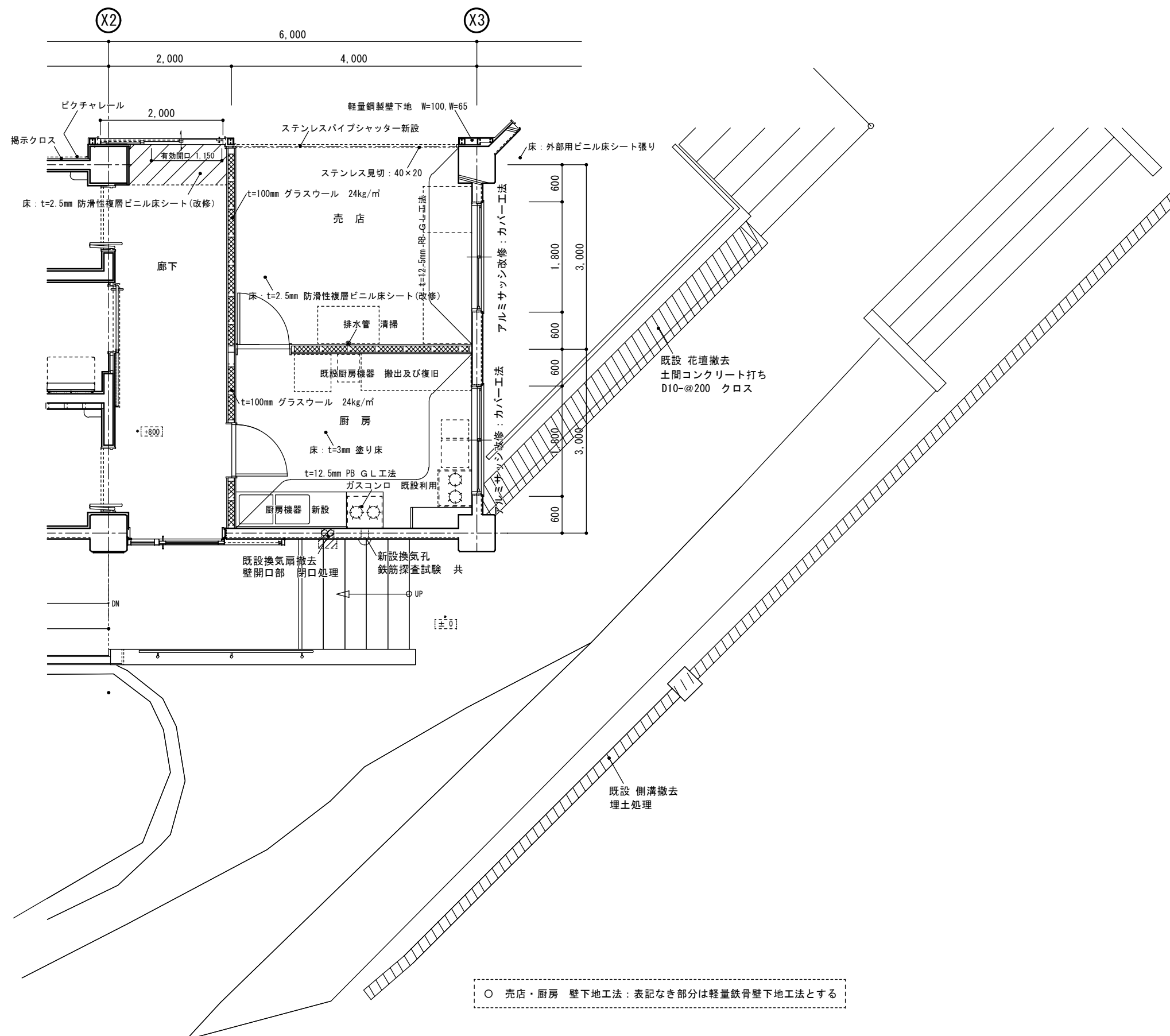
錆部：ケレン清掃　錆止め塗料塗り

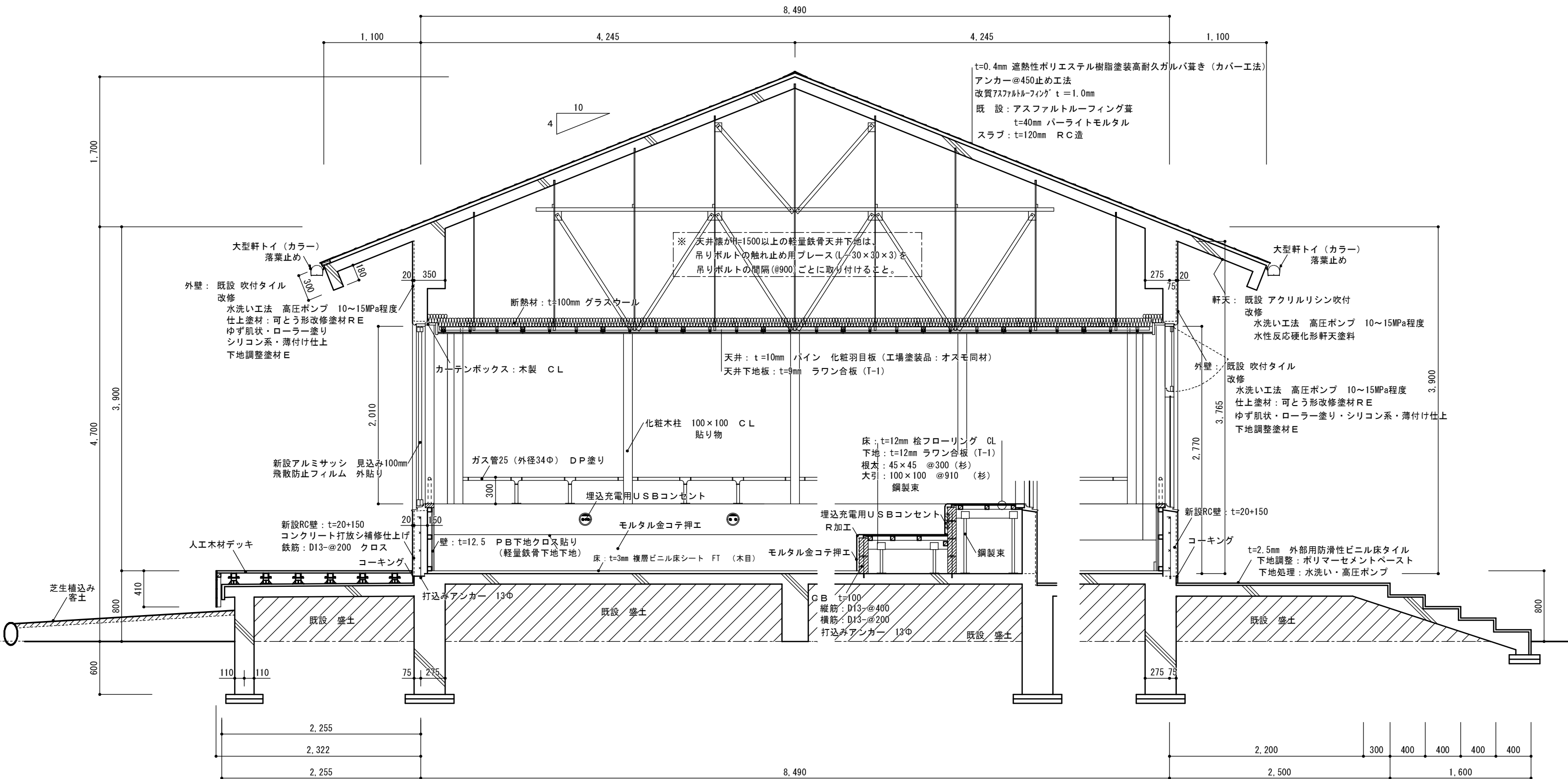
クラック部
0.2mm 未満　シーリング工法：可とう性改修塗材 R E
0.2mm～1mm　樹脂注入工法：エポキシ樹脂補修
1mm 以上　Uカットシート材　シーリング用材充填
充填工法

人工木材デッキ：リクシル・樹ら楽ステージ　同程度

○ 休憩室・展示室　壁下地工法：、表記なき部分は G L 工法とする

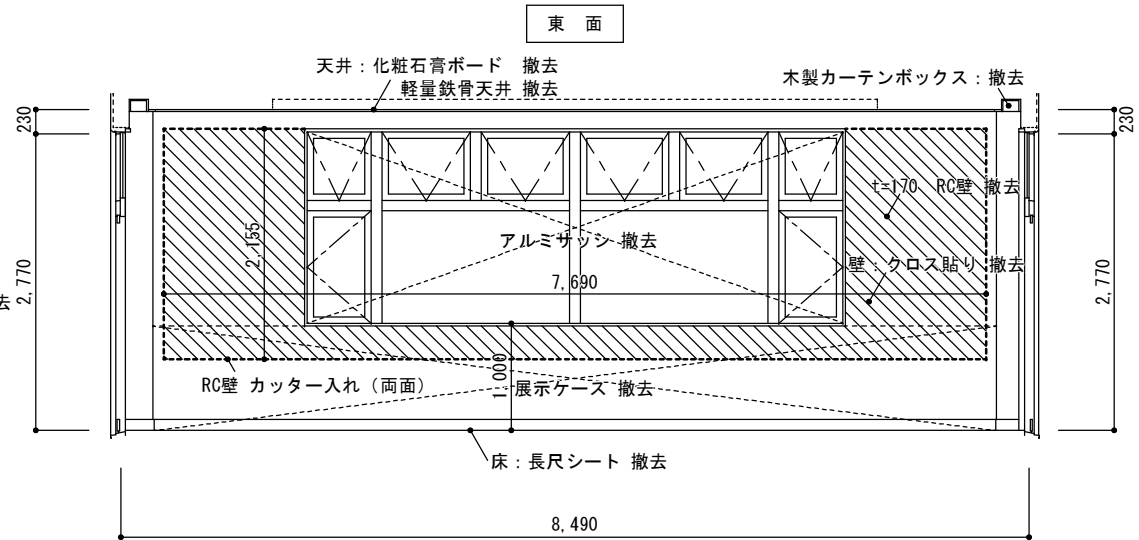
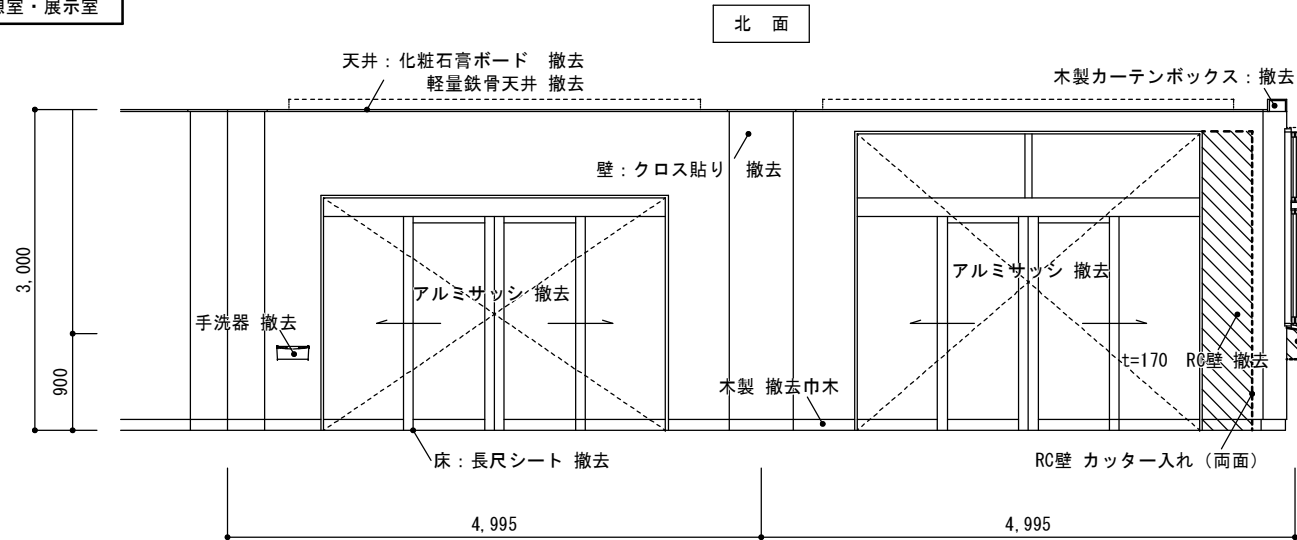




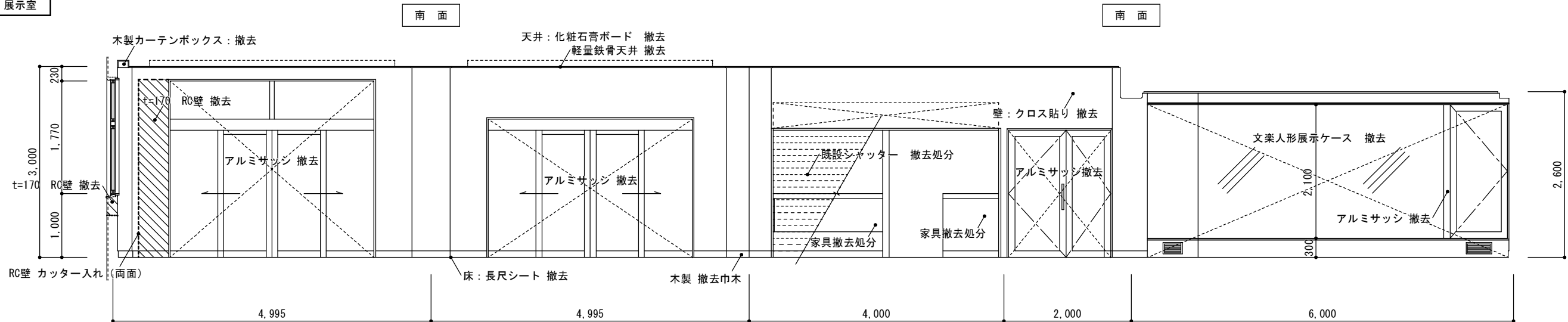


改修前
休憩室・展示室

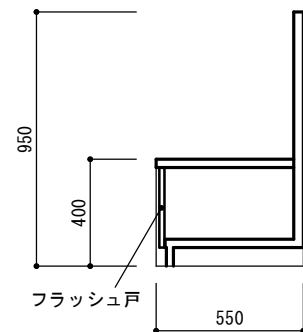
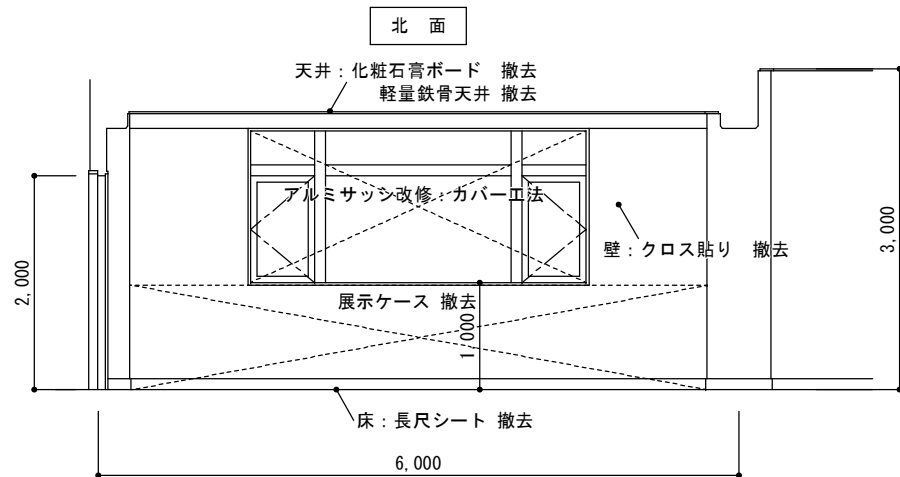
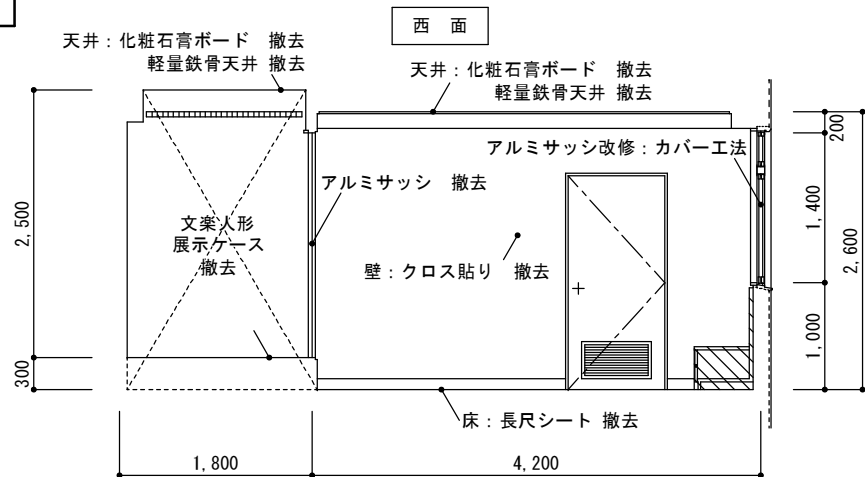
※ RC壁撤去範囲は、新設サッシ納まりにより決定する



改修前
休憩室・展示室

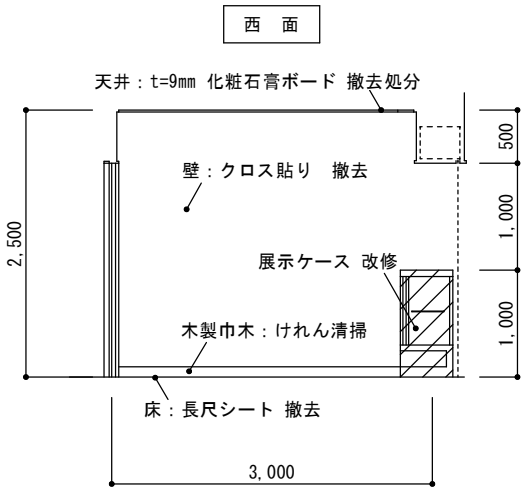
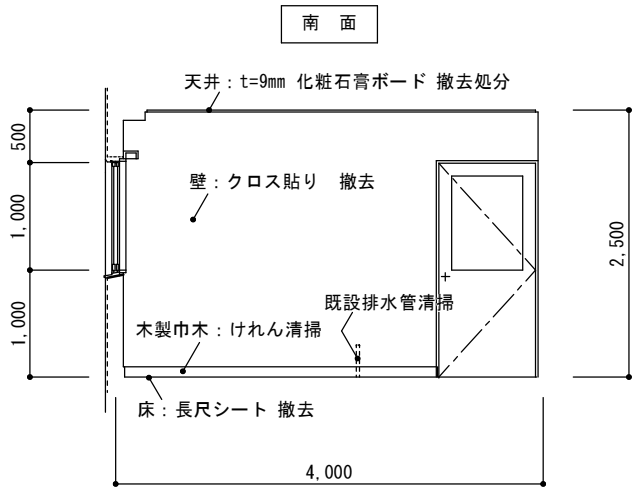
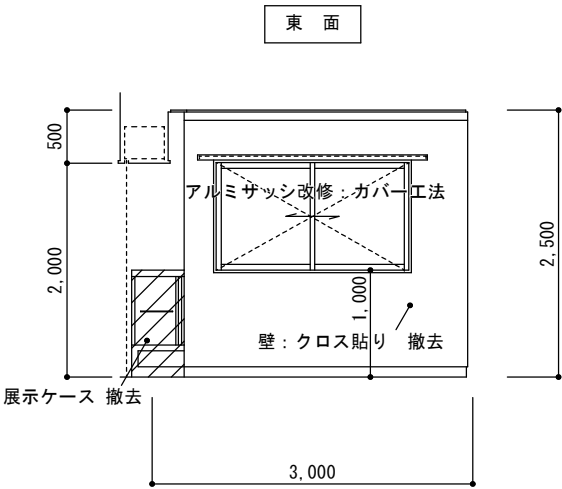
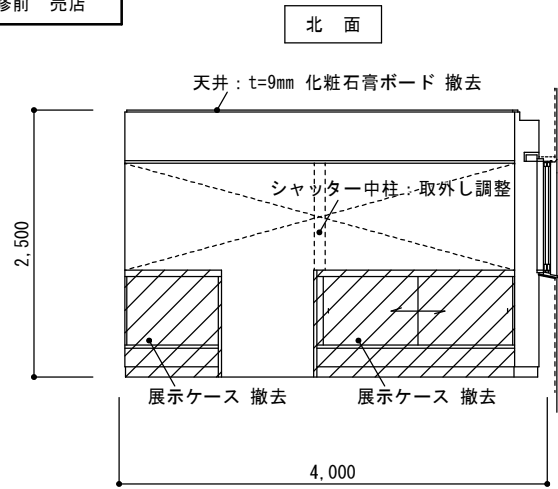


改修前
休憩室・展示室

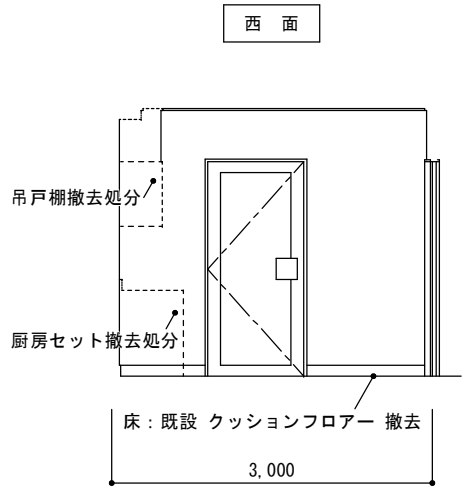
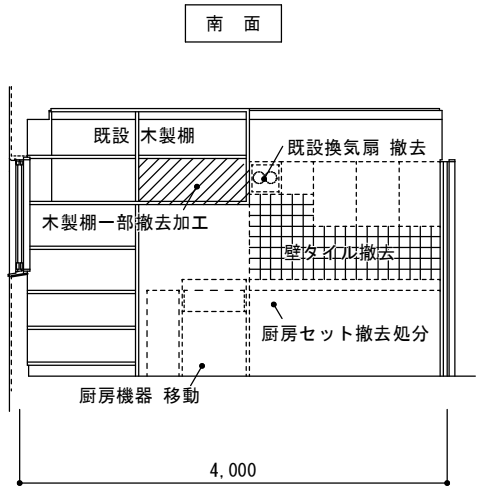
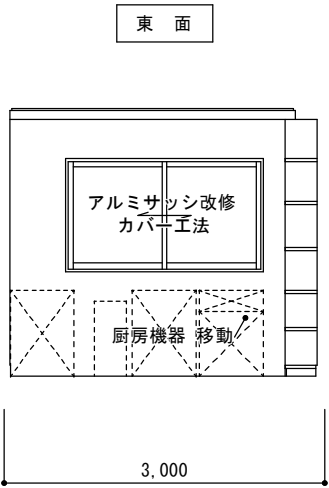
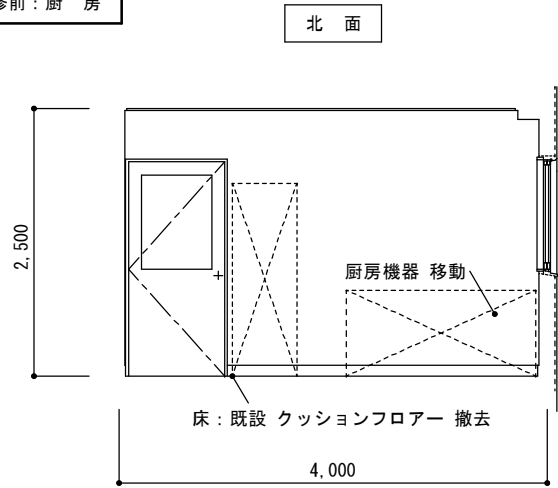


撤去展示ケース 詳細図 1/20

改修前 売店

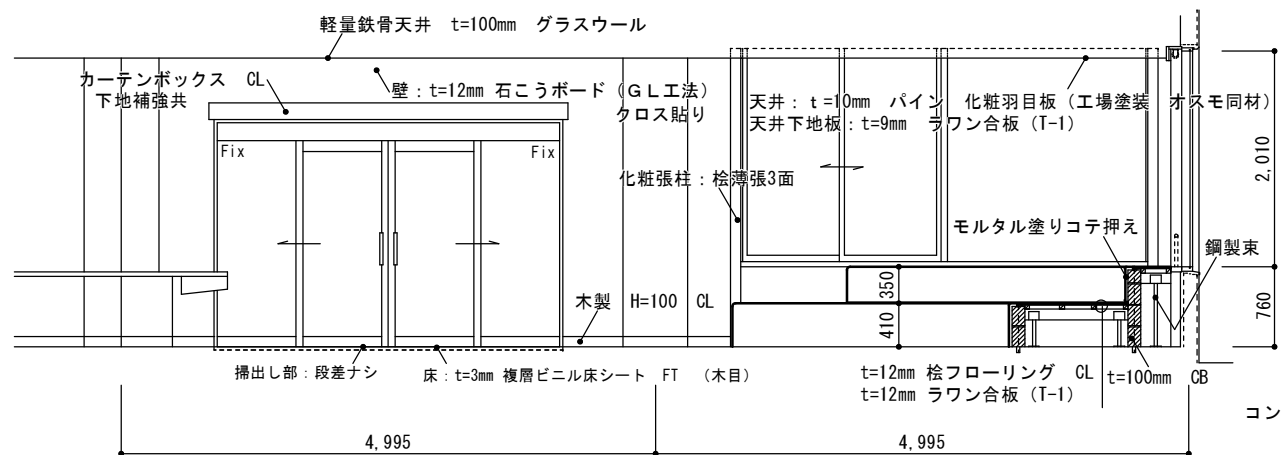


改修前: 厨房

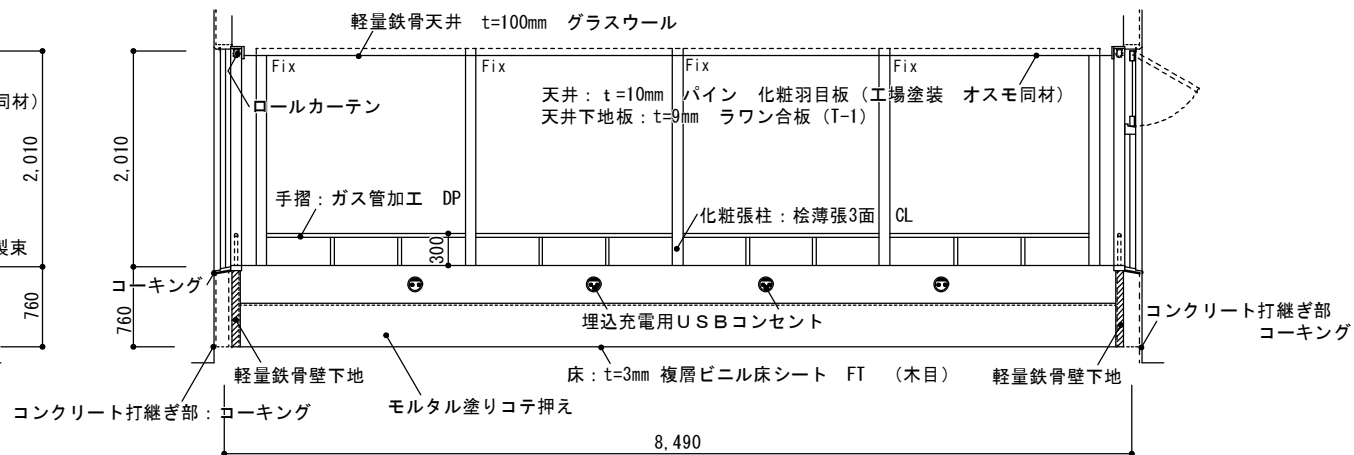


改修後
休憩室・展示室

北 面

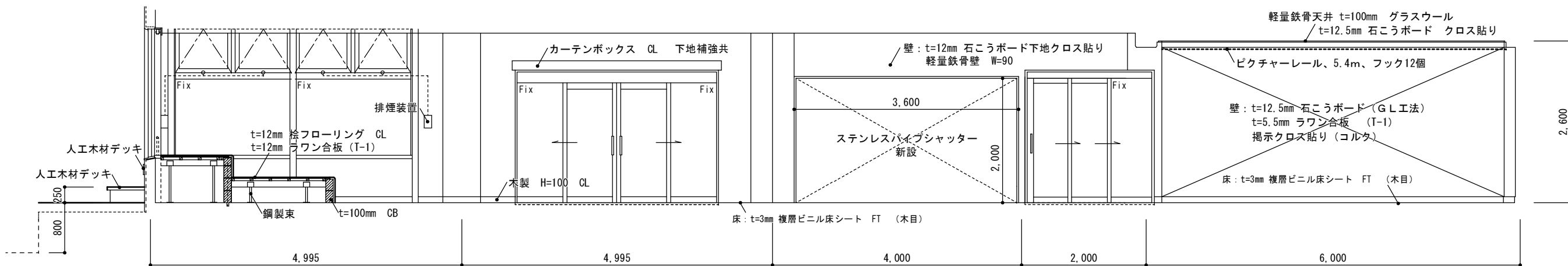


東 面



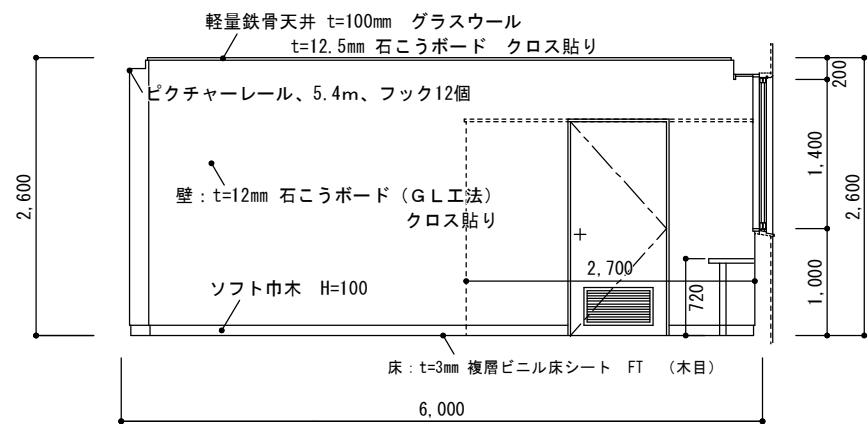
改修後
休憩室・展示室

南 面

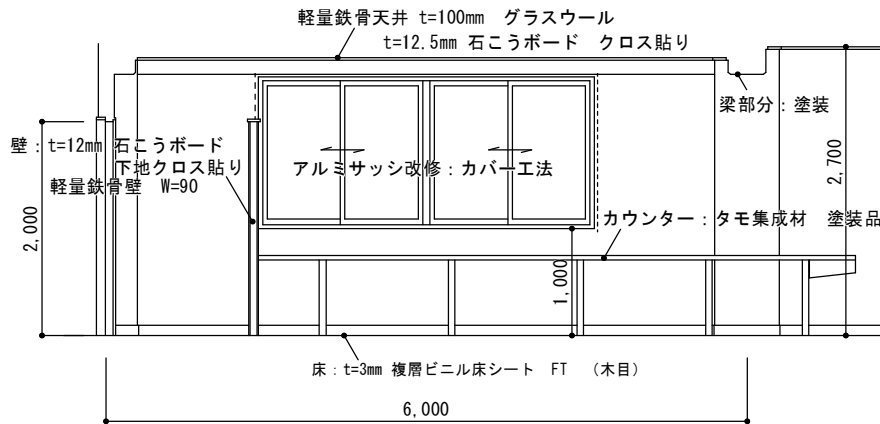


改修後
休憩室・展示室

西 面



北 面



訂正

工事名称

令和2年度 安乗岬園地休憩舎改修工事

設計図

設計

片 山

建築設計 間 34

片 山 正 司

図面名

改修後展開図 1

縮 尺

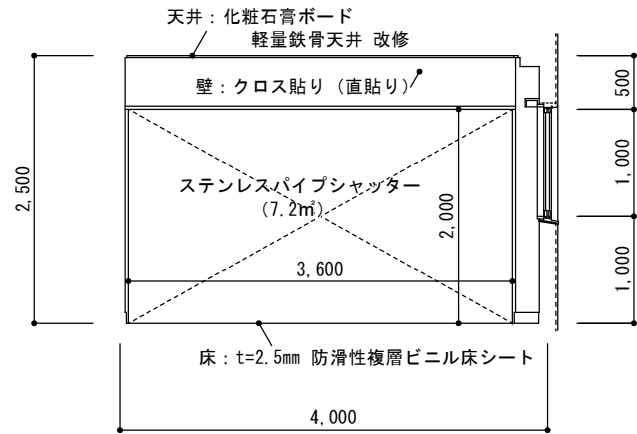
A3 : A2×71%
S=1/50 S=1/5

図面番号

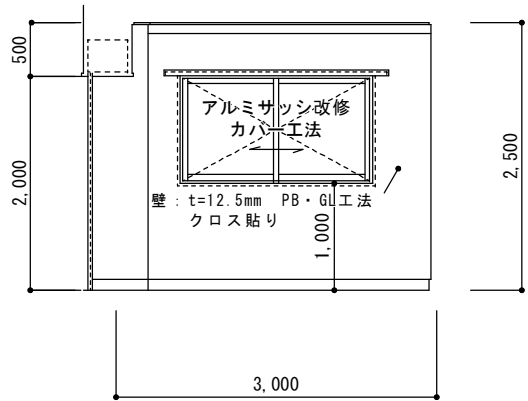
A-16

改修後 売店

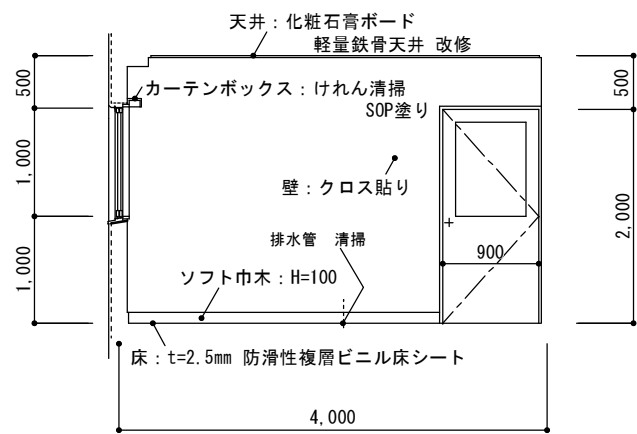
北 面



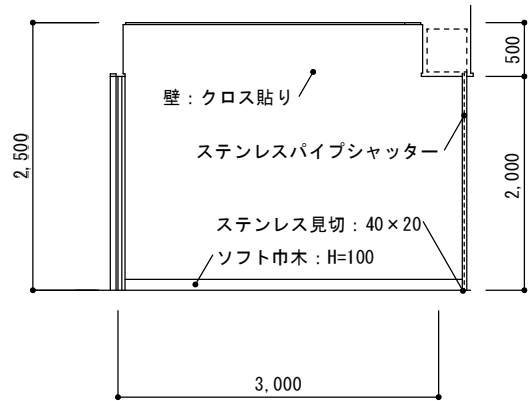
東 面



南 面

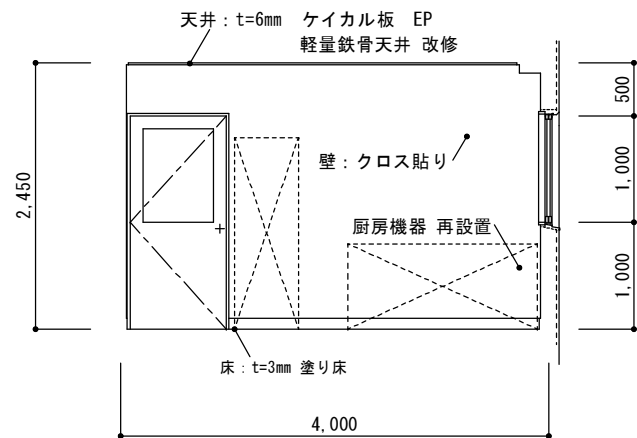


西 面

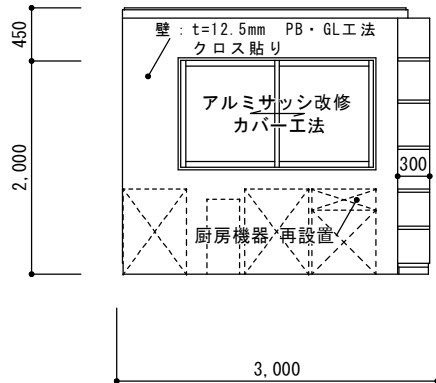


改修後：厨 房

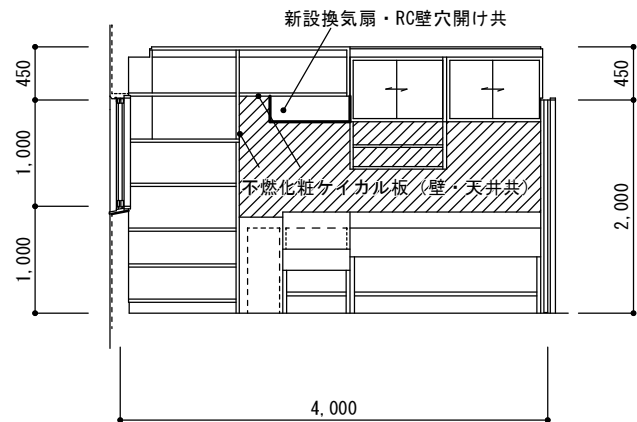
北 面



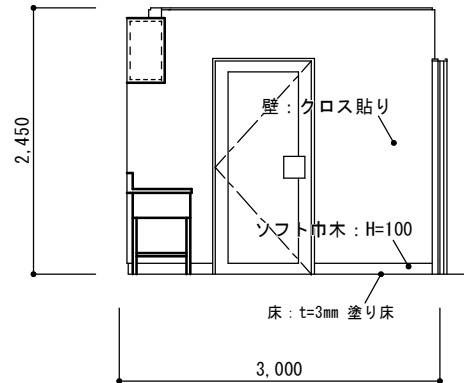
東 面



南 面



西 面

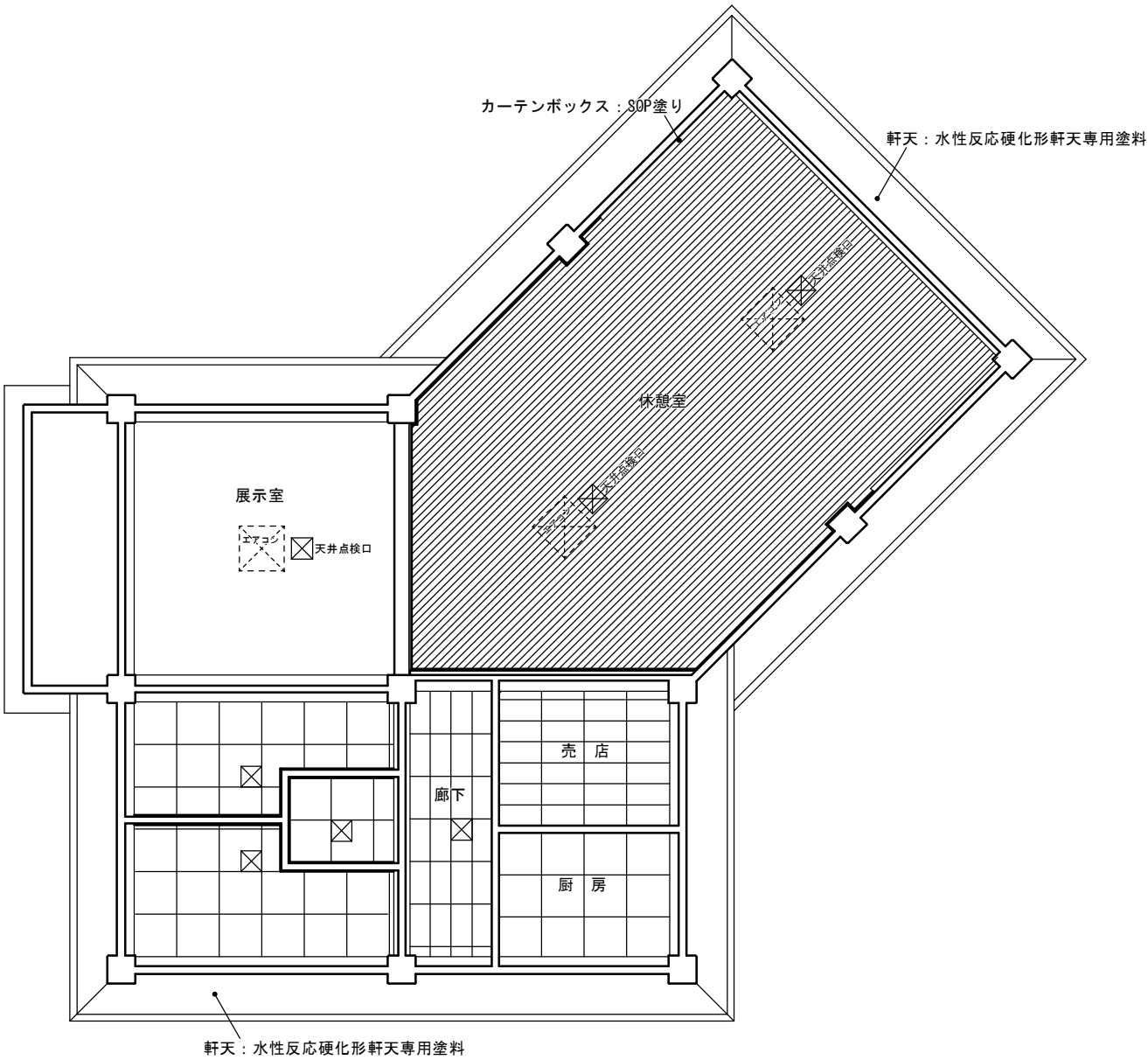


※ 厨房の天井を、有効排煙面積計算により 2,500 から 2,450に変更する

厨房機器 一覧			
業務用一槽水切付ステンレスシンク	1,800×600×800・150	1台	SUS430
バックガード付コンロ台	600×600×950	1台	SUS430
ステンレス吊り戸棚	900×350×600	2台	SUS430
パイプ棚2段	900×250×450	1台	
シロッコファン	600×600×200	1台	BFRF-621SI (参考品番)
ベンドキャップ	150Φ	1台	VC-15H (参考品番)
スパイラルダクト	150Φ	1式	
ふさぎ板	150Φ用	1台	FA-45 (参考品番)

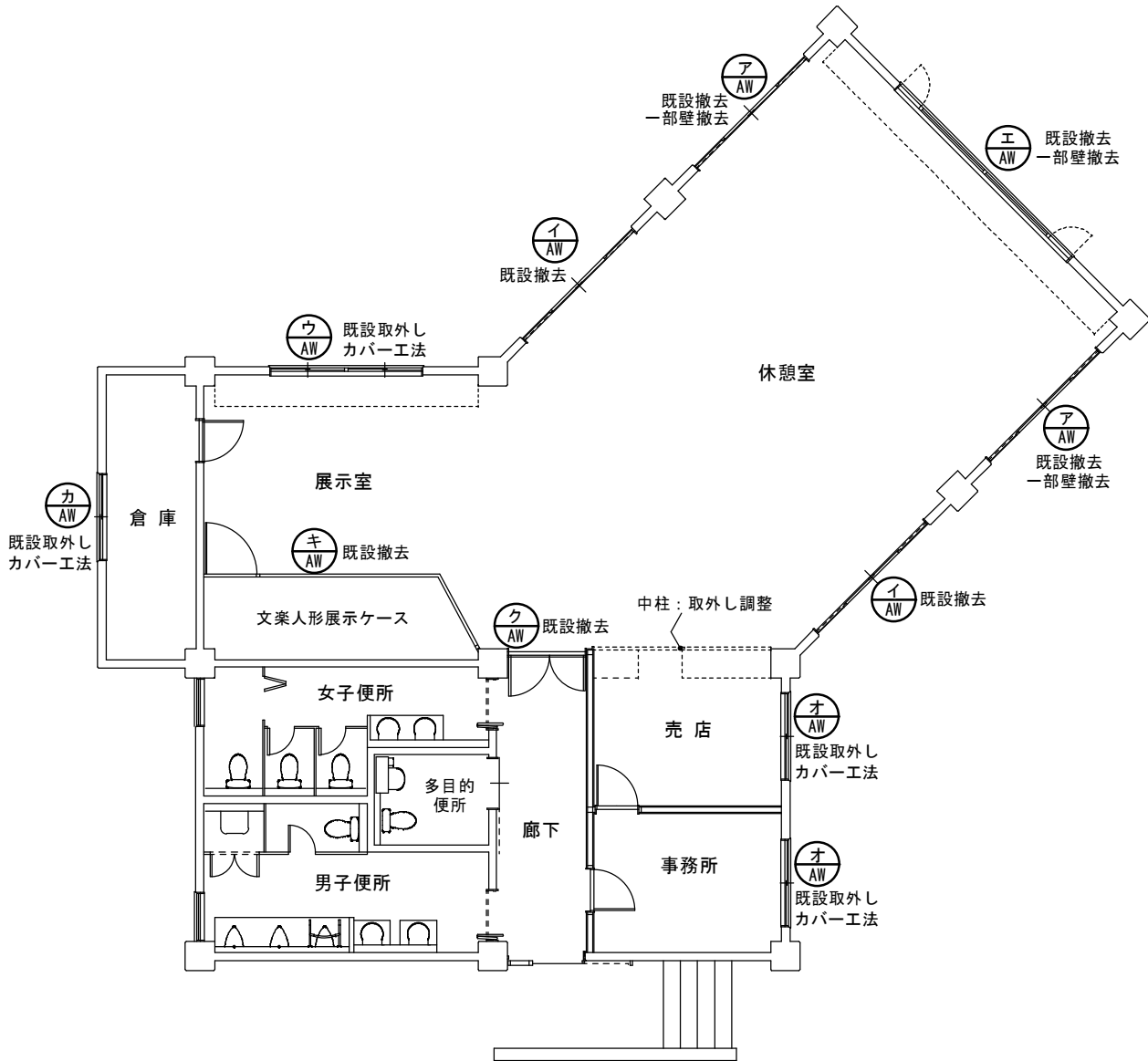
軒天塗り仕上げ改修	既存塗膜除去	水洗い工法	粉化物、付着物等をデッキブラシ等を用いて水洗いし、除去・清掃する	
	ひび割れ部	Uカットシール材 充填工法	ひび割れ部をU型溝に加工し、構内に可とう性エポキシ樹脂を充填する	
	欠損部	充填工法	欠損部を防錆処理後、 耐アルカリガラス繊維入り 軽量ポリマーセメントモルタル	
	塗 装	水性反応硬化形軒天専用塗料：改修仕様ゆず肌仕上げ		
	カーテンボックス	けれん：木部・不透明塗料塗り・RB種	下地調整（既存塗膜除去共）	仕上：SOP塗り
	<input checked="" type="checkbox"/>	アルミ製天井点検口	450角	4ヶ所（休憩室、展示室、廊下）

室 名	仕 上	
休 憩 室	t=10mm バイン化粧羽目板 工場塗装（オスモ同罪） t=9mm ラワン合板（下地板）	木製回縁 CL
展 示 室	t=9.5mm PB下地 クロス貼り	塩ビ回縁
売 店	t=9.5mm 不燃化粧せっこうボード	塩ビ回縁
厨 房	t=6mm ケイカル板 目すかし EP	塩ビ回縁



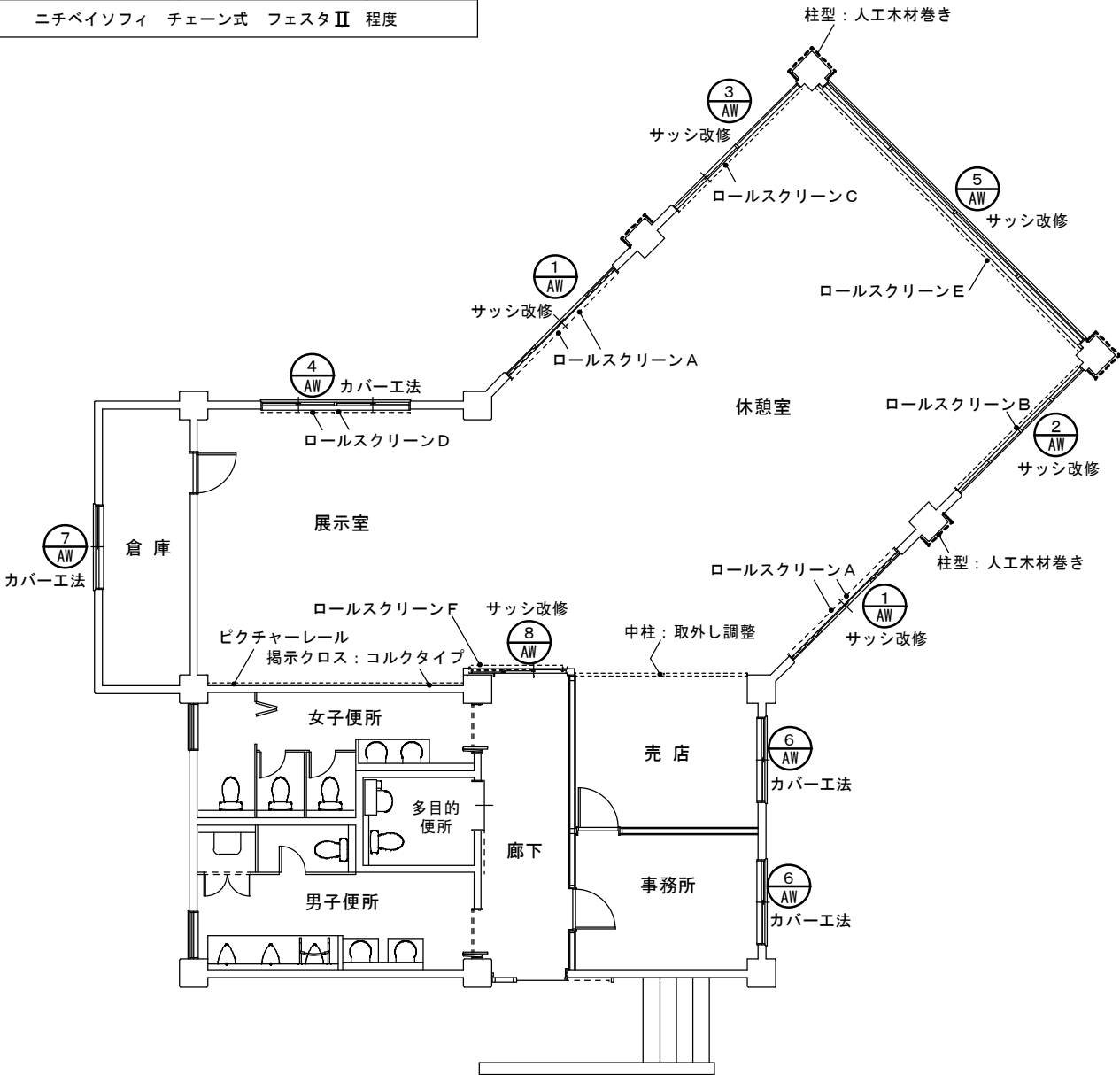
天井伏図 1/100

改修建具：飛散防止フィルム 外貼り サンゲツ：GF1105 程度
ピクチャーレール：タキヤコレダーレール（同等品）： 5.4m Nハンガーセット・CAフック： 12セット
カウンター：タモ積層カウンター、ステンレス60φパイプ脚 5本



改修前 建具指示図 1/100

符 号	仕 様	数 量
ロールスクリーンA	W1600×H2150	4
ロールスクリーンB	W1800×H2000	2
ロールスクリーンC	W1800×H2000	2
ロールスクリーンD	W1500×H1400	2
ロールスクリーンE	W1840×H2000	2
ロールスクリーンF	W2000×H2150	1
ニチベイスフィ チェーン式 フェスタⅡ 程度		

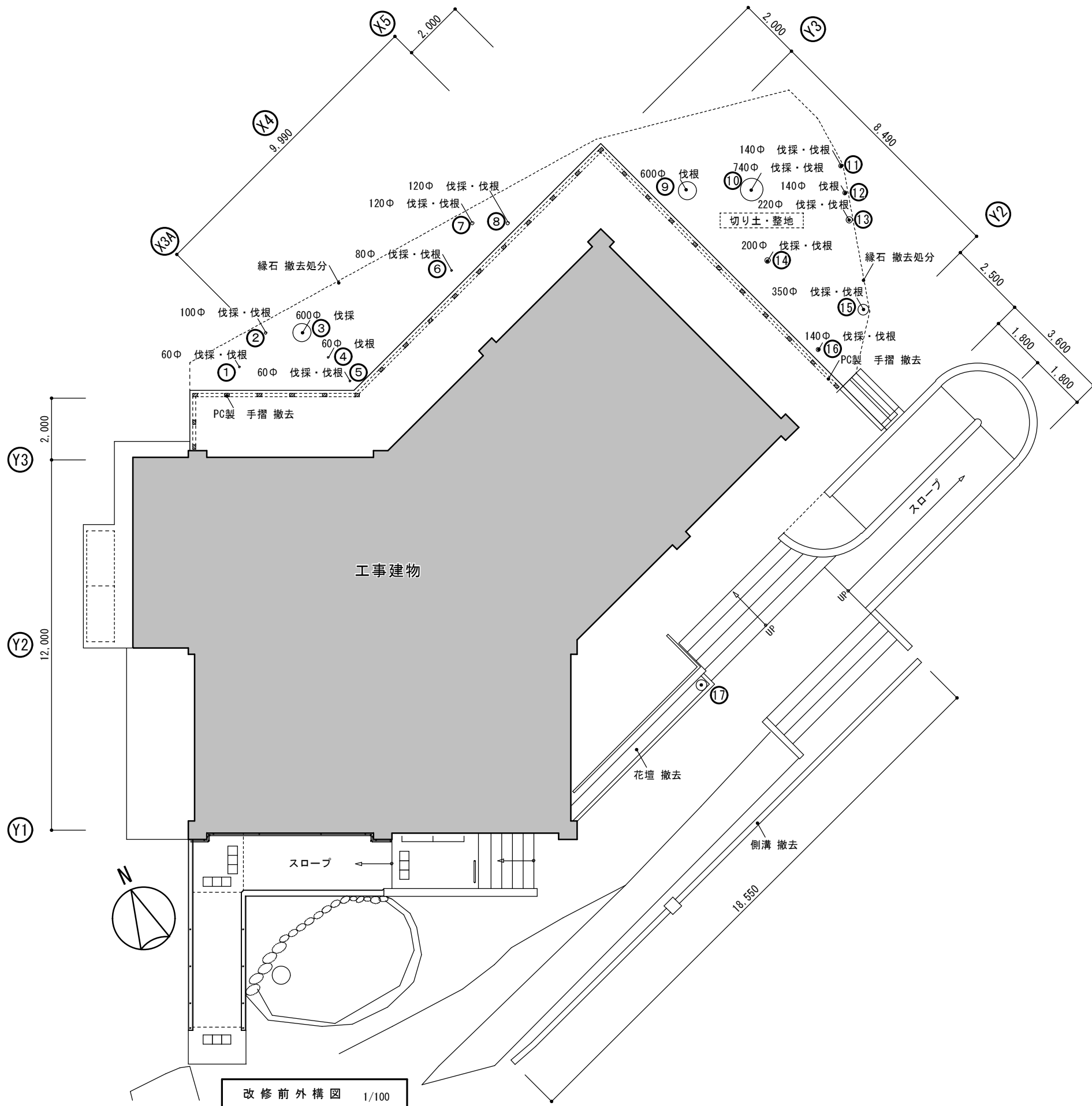


改修後 建具指示図 1/100

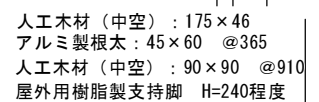
記 号	1 AW	2	2 AW	1	3 AW	1	4 AW	1
姿 図								
場 所	アルミサッシ改修、 休憩室 (ビル用サッシ)		アルミサッシ改修、 休憩室 (ビル用サッシ)		アルミサッシ改修、 休憩室 (ビル用サッシ)		アルミサッシ改装・カバー工法、 展示室 (ビル用サッシ)	
名 称・見 込	カラーアルミサッシ、 100mm 半自動ドア		カラーアルミサッシ、 100mm 突き出し窓4連、Fix窓		カラーアルミサッシ、 100mm 引違い窓、Fix窓		カラーアルミサッシ、70mm	
仕 上・ガラス	強化硝子： 6mm 網戸：合成樹脂 外貼り飛散防止フィルム		ペア硝子 T6+A6+FL6 網戸：合成樹脂 外貼り飛散防止フィルム		ペア硝子 T6+A6+FL6 網戸：合成樹脂 外貼り飛散防止フィルム		強化硝子： 4mm 網戸：合成樹脂 外貼り飛散防止フィルム	
金 物 等	シリンダー錠、引手、戸車、アルミ製額縁		アルミアングル、オペレーター装置一式、アルミ水切		大型クレセント、戸車、アルミアングル、アルミ水切		クレセント、戸車、アルミ製額縁	
記 号	5 AW	1	6 AW	2	7 AW	1		
姿 図								
場 所	アルミサッシ改修、 休憩室 (ビル用サッシ)		アルミサッシ改装・カバー工法 売店・厨房 (ビル用サッシ)		アルミサッシ改装・カバー工法 (ビル用サッシ)			
名 称・見 込	カラーアルミサッシ、 100mm 4連Fix窓		カラーアルミサッシ、 70mm		カラーアルミサッシ、 70mm 倉庫			
仕 上・ガラス	ペア硝子 T6+A6+FL6 外貼り飛散防止フィルム		強化硝子： 4mm 網戸：合成樹脂		強化硝子： 4mm 網戸：合成樹脂			
金 物 等	アルミアングル、アルミ水切		アルミ製額縁		アルミ製額縁			
記 号	8 AW	1						
姿 図								
場 所	アルミサッシ改修、 休憩室 (建物内サッシ) (ビル用サッシ)							
名 称・見 込	カラーアルミサッシ、 100mm							
仕 上・ガラス	強化硝子： 6mm 飛散防止フィルム							
金 物 等	戸車、アルミ製額縁、ステンレス下枠、ステンレス引手、シリンダー錠							
			※ 新設サッシ寸法は、R0壁はつり状況等により決定する					
訂正	工事名称			設計	マ サン ヨン			図面名
	令和 2 年度 安乗岬園地休憩舎改修工事			設計図	建 築 設 計 間 34			建具表 1 (改修後)
				片 山	片 山 正 司			縮 尺 A3 : A2×71%
								S=1/50
								図面番号 A-20

記 号 ・ 数 量	<div><div><div>ア</div><div>AW</div></div>撤去工事</div>		2	<div><div><div>イ</div><div>AW</div></div>撤去工事</div>		2	<div><div><div>ウ</div><div>AW</div></div>カバー工法</div>		1	<div><div><div>エ</div><div>AW</div></div>撤去工事</div>		1
姿 図												
場 所 ・ 数 量	休憩室				休憩室				休憩室			
名 称 ・ 見 込	カラーサッシ（アルミ） 70mm				カラーサッシ（アルミ） 70mm				カラーサッシ（アルミ） 70mm			
仕 上 ・ ガラス	6.8mm 線入硝子				6.8mm 線入硝子				6.8mm 線入硝子			
金 物 等	シリンダー錠、 引手				シリンダー錠、 引手				ハンドル錠、 取手			

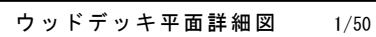
記 号 ・ 数 量	<div><div><div>オ</div><div>AW</div></div>カバー工法</div>	2	<div><div><div>カ</div><div>AW</div></div>カバー工法</div>	1	<div><div><div>キ</div><div>AD</div></div>撤去工事</div>		1	<div><div><div>ク</div><div>AD</div></div>撤去工事</div>	1			
姿 図												
場 所 ・ 数 量	売店、事務室		倉庫						休憩室			
名 称 ・ 見 込	カラーサッシ（アルミ） 70mm		カラーサッシ（アルミ） 70mm						カラーサッシ（アルミ）			
仕 上 ・ ガラス	6.8mm 線入硝子		6.8mm 線入硝子						5mm 磨硝子 70mm			
金 物 等	附属金物一式		附属金物一式						フロアヒンジ、シリンダー錠			



番号	工事内容	幹周 (cm)	樹高 (m)	樹種
①	60φ 伐採・伐根	19	2.50	常緑樹
②	100φ 伐採・伐根	31	3.00	常緑樹
③	600φ 伐採	188	10.00	松
④	60φ 伐根	19	—	
⑤	60φ 伐採・伐根	19	3.00	常緑樹
⑥	80φ 伐採・伐根	25	3.50	桜
⑦	120φ 伐採・伐根	38	1.20	常緑樹
⑧	120φ 伐根	38	—	
⑨	600φ 伐根	188	—	
⑩	740φ 伐採・伐根	232	3.00	ソテツ
⑪	140φ 伐採・伐根	44	5.80	松
⑫	140φ 伐根	44	—	
⑬	220φ 伐採・伐根	69	6.80	松
⑭	200φ 伐採・伐根	63	5.00	松
⑮	350φ 伐採・伐根	110	7.50	松
⑯	140φ 伐採・伐根	44	2.50	松
⑰	30φ 伐採・伐根	9	1.80	常緑樹
	アジサイ 撤去			
	下草刈り及び集草、処分			
	PC製 手摺撤去 H=1,100			
	花壇 撤去			
	U字側溝 撤去			
	縁石 撤去			



※ 階段の踏幅等は、使用部材により調整する



仕様書

工事名称令和2年度安乗岬園地休憩舎改修工事設計図

I. 工事概要

1. 工事場所志摩市阿児町安乗地内

2. 建物概要

建物名称	構造及び階数		建:延面積	消法令の適用	備考
休憩所	RC造 平家		222 m ²	別表第一(16)項イ	

建:建築基準法延面積 (m²)

3. 工事種目(O印の付いたものが対象工事)

工事種目	建物別及び屋外	工 事 種 別			
		室			屋外・その他
<input checked="" type="radio"/> 電灯設備		改設一式			
<input checked="" type="radio"/> 動力設備		改設一式			
・電熱設備					
・雷保護設備					
・受変電設備					
・電力貯蔵設備					
・発電設備					
・構内情報通信網設備					
・構内交換設備					
・情報表示設備					
・映像・音響設備					
・拡声設備					
<input checked="" type="radio"/> 誘導支援設備		改設一式			
・テレビ共同受信設備					
・監視カメラ設備					
・駐車場管制設備					
・防犯・入室管理設備					
・自動火災報知設備					
・中央監視制御設備					
・構内配電線路					
・構内通信線路					
・テレビ電波障害防除設備					
・					

4. 指定部分無有対象部分

II. 工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の下記仕様書等のうち、

☐ 印が付いたものによる。

☒ 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成31年版)

☒ 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成31年版)

☒ 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(平成31年版)

(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。

なお、機械設備工事の特記仕様は(/ ~ /)図、建築工事の特記仕様は(/ ~ /)図による。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号にO印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項のうち選択する事項は、O印の付いたものを適用する。

(3) 東海地震にかかると地震防災対策強化地域における工事にあつては「大規模地震対策特別措置法」による注意情報が発せられた場合、受注者は人身の保護及び安全な避難に必要な補強、落下防止等の保全措置を講ずるとともに、工事中断の措置をとること。又この事実が発生した場合は、契約書第26条(臨機の措置)によって処理されたものとする。

●一般事項

1環境への配慮

2材料・機材の品質等

3足場その他

4施工図等

5完成図等

6電源周波数

7耐震措置

●一般事項

7

8他工事との工事区分

9発生材の処理等について

10特定建設資材の再資源化等

11建設発生土の処分

●一般事項

1国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律に基づく特定調達物品等に関する判断基準は、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成25年2月)閣議決定」による。

2建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。

①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。

②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

③接着剤は、可塑性(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。

④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

3設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。

①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料

②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料

④建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

1本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

2別表-1に示す設備機材等の製造業者等は次の①から⑥すべて事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承認を受ける。

①品質及び性能に関する試験データを整備していること。

②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。

③安定的な供給が可能であること。

④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。

⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。

別契約の関係受注者(下請け工事の場合は元請け)が設置したものは無償で利用できる。

・本工事で設置する。

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)第1編第1章2.2.2より足場の種別は以下による。

・内部足場(・A種・B種・C種・D種・種)

・外部足場(・A種・B種・C種・D種・種)

工事が完成(指定部分に係わる完成を除く)したときは、本工事で作成する施工図等のうち、下記の原因及び複写図(1部)を監督職員に提出する。ただし、製作図等で原因として提出ができないものは、原因に代わるものとしてよい。

なお、施工図等の著作権に係わる該当建物に限る使用権は、発注者に移譲する。

機器製作図一式、制御システム図一式

試験成績書一式、機器・配管固定の施工図一式

完成図(オリジナルファイルも提出)にPDF形式を加える(PDFは1ファイルとまとめる)PDFより縮刷製本を作成。保全に関する資料を含め、部数等は監督職員の指示による。

60Hz・50Hz

設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針2005年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)による。

1設計用水平地震力

機器の重量[kgf]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。

なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	0.6
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	1.0
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	2.0	1.0	1.0	0.6

訂正

工事名称令和2年度安乗岬園地休憩舎改修工事設計図

設計片山

建築設計間34

片山正司

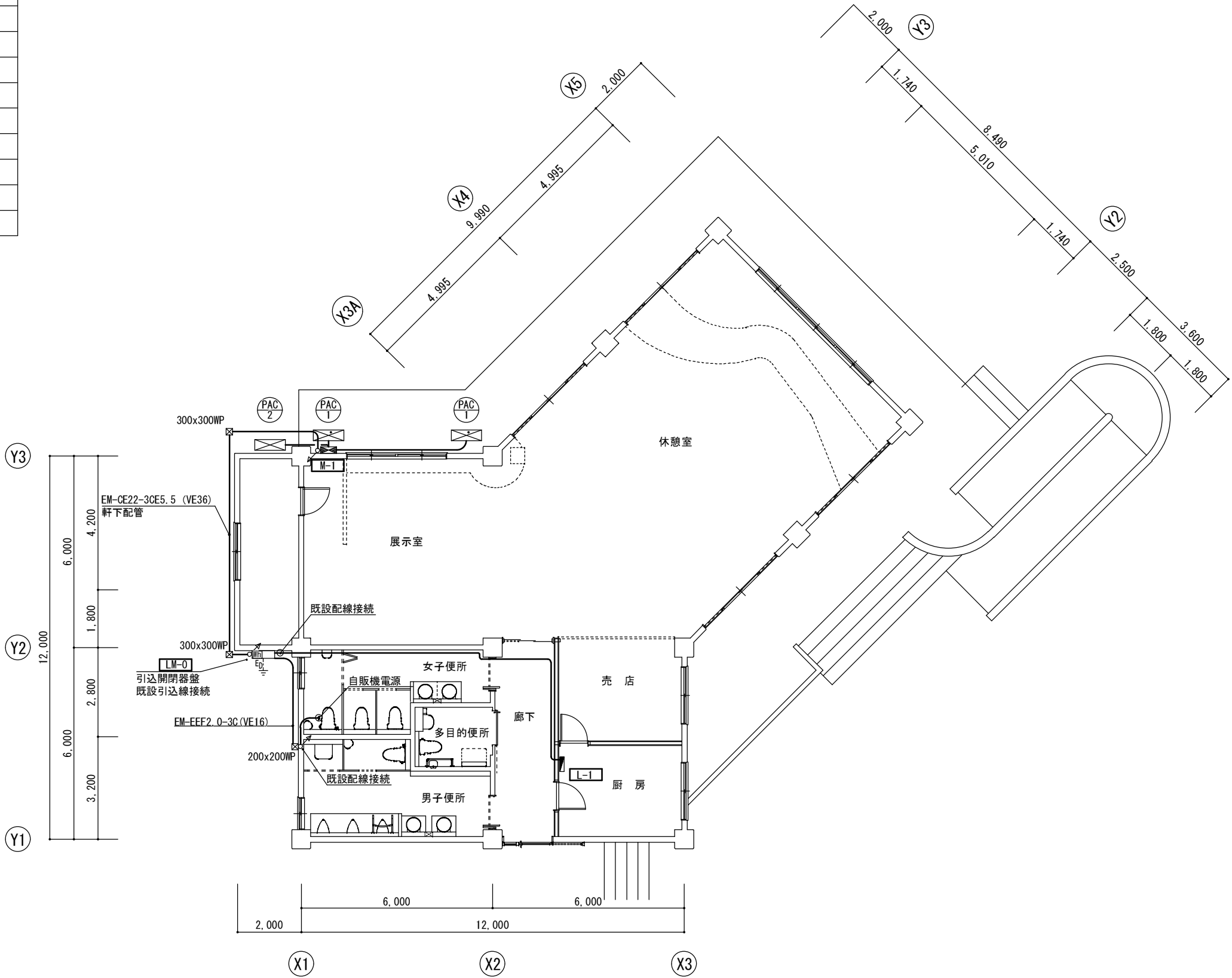
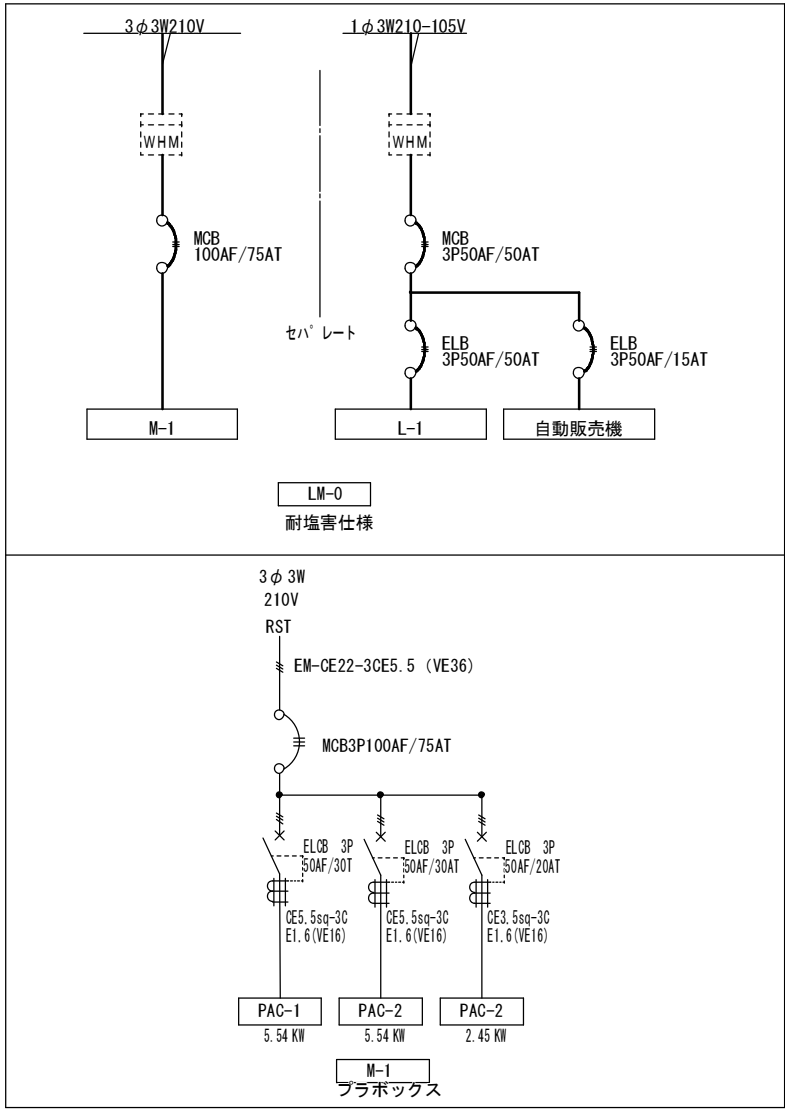
図面名電気設備特記仕様書 NO.1

縮尺A3:A2×71%

図面番号E-01

章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項
	12	室内空気中の 化学物質の濃度測定	室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレンの濃度を測定し、監督職員に報告する。 なお、測定はパッシブ型採取機器により行う。 測定時期 ・ 工事着手前										

記 号	名 称	備 考
	引込開閉器盤	単線結線図参照
	電灯盤	単線結線図参照
	動力盤	単線結線図参照
	配管・配線 立上り、立下り	
	接地工事	
	引込口	
	電力計	
	ブルボックス（樹脂製）	

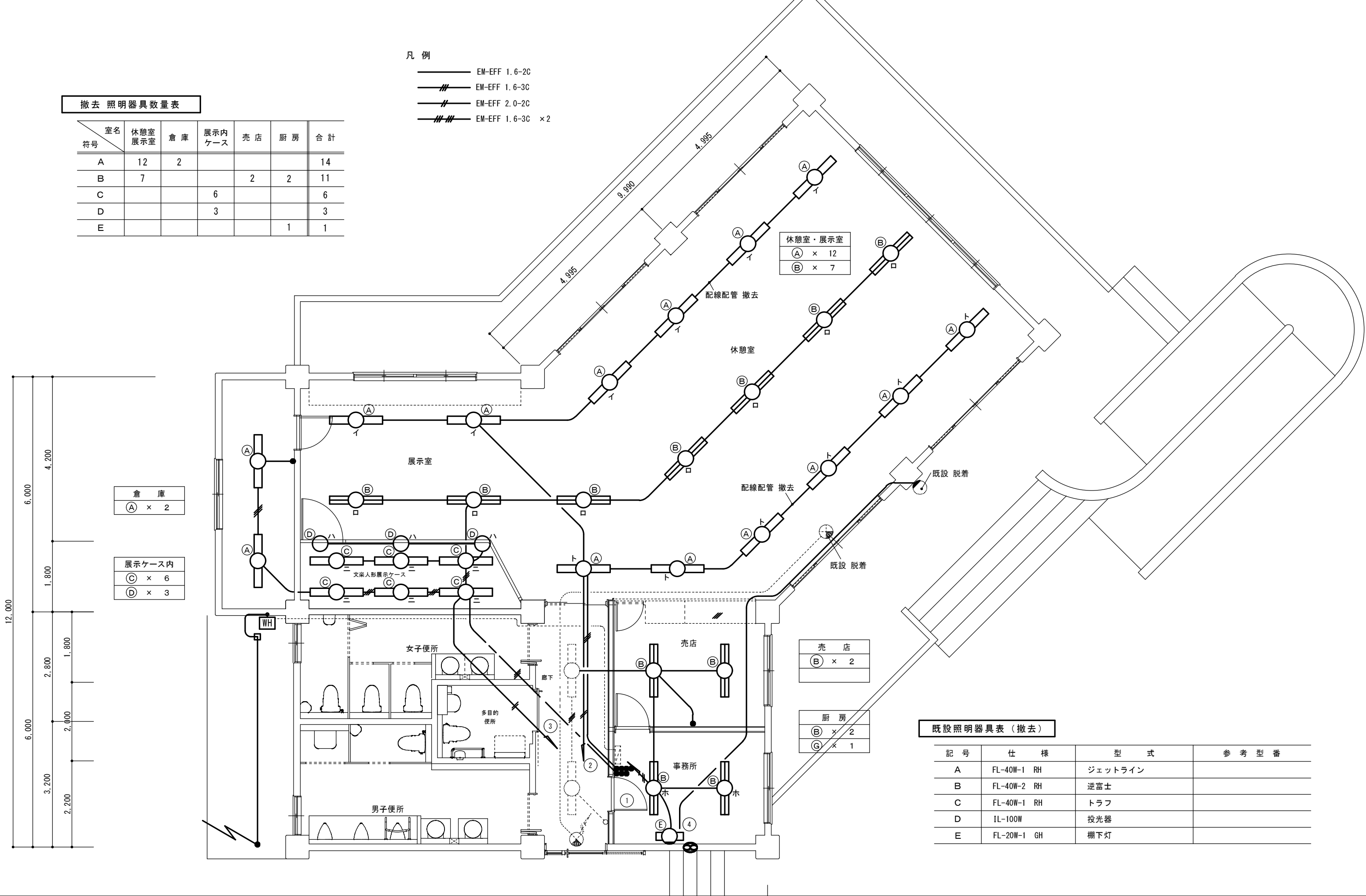


撤去 照明器具数量表

室名 符号	休憩室 展示室	倉 庫	展示内 ケース	売 店	厨 房	合 計
A	12	2				14
B	7			2	2	11
C			6			6
D			3			3
E					1	1

凡 例

- EM-EFF 1.6-2C
- EM-EFF 1.6-3C
- EM-EFF 2.0-2C
- EM-EFF 1.6-3C × 2



休憩室・展示室
(A) × 12
(B) × 7

倉 庫
(A) × 2

展示ケース内
(C) × 6
(D) × 3

売 店
(B) × 2

厨 房
(B) × 2
(G) × 1

既設照明器具表（撤去）

記 号	仕 様	型 式	参 考 型 番
A	FL-40W-1 RH	ジェットライン	
B	FL-40W-2 RH	逆富士	
C	FL-40W-1 RH	トラフ	
D	IL-100W	投光器	
E	FL-20W-1 GH	棚下灯	

訂正

工事名称

令和 2 年度 安乗岬園地休憩舎改修工事

設計図

設計

片 山

建築設計 間 34

マ サ ン ヨ ン

片 山 正 司

図面名

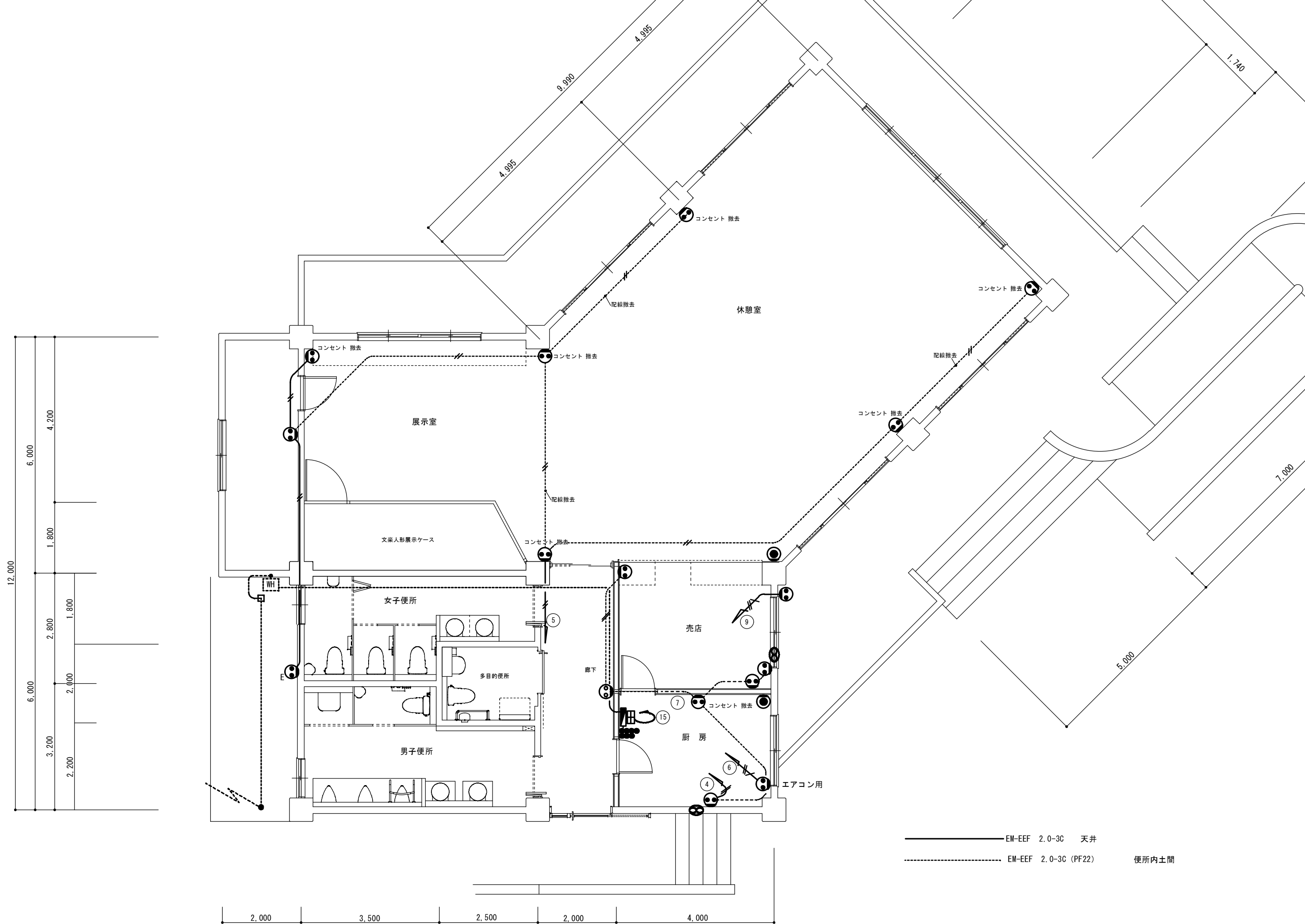
改修前電気設備図 1

縮 尺 A3 : A2 × 71%

S=1/60

図面番号

E-04



訂正

工事名称

令和2年度 安乗岬園地休憩舎改修工事

設計図

設計

片山

建築設計 間 34

マサンヨン

片山 正司

図面名

改修前電気設備図2

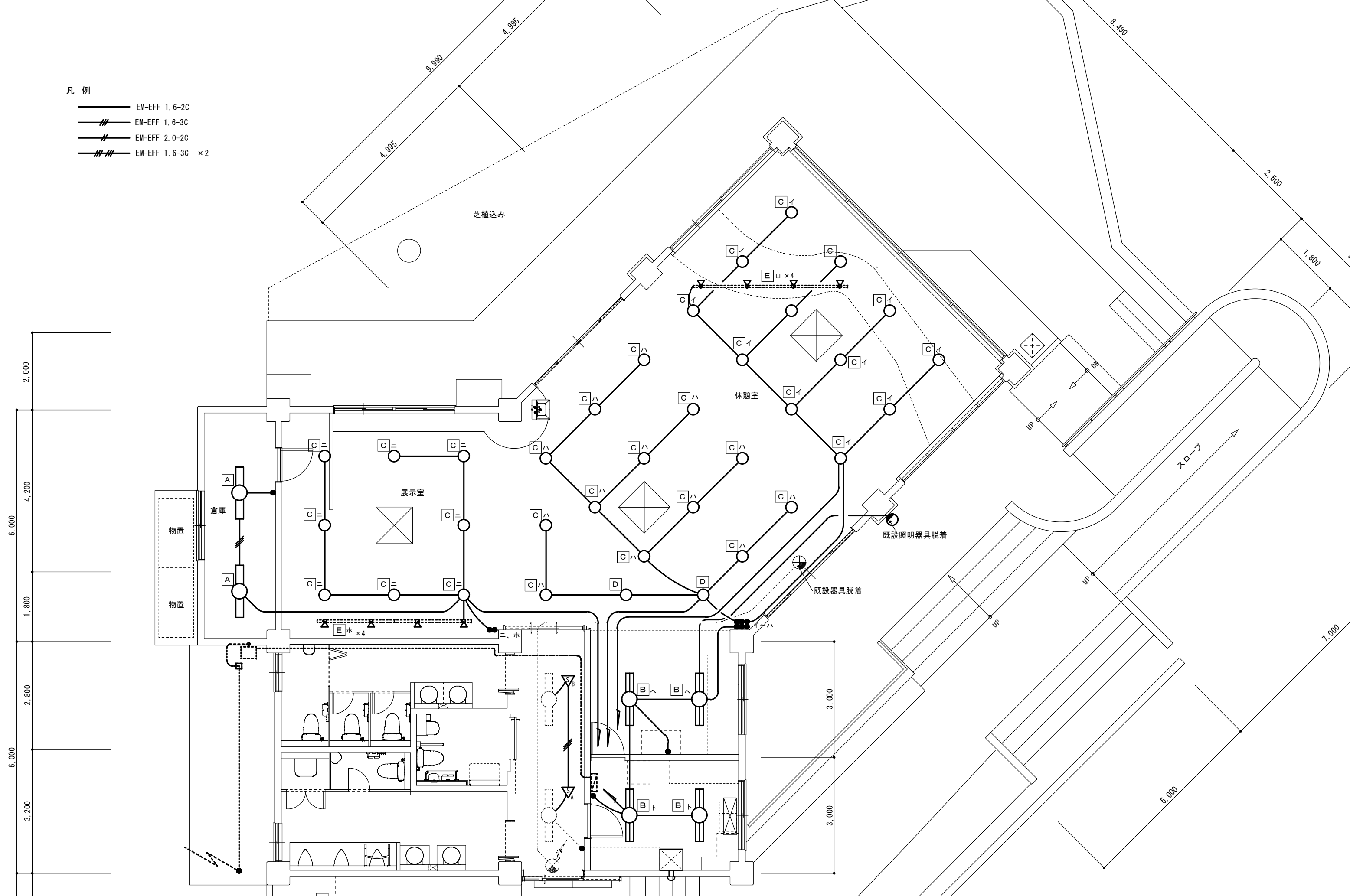
縮尺

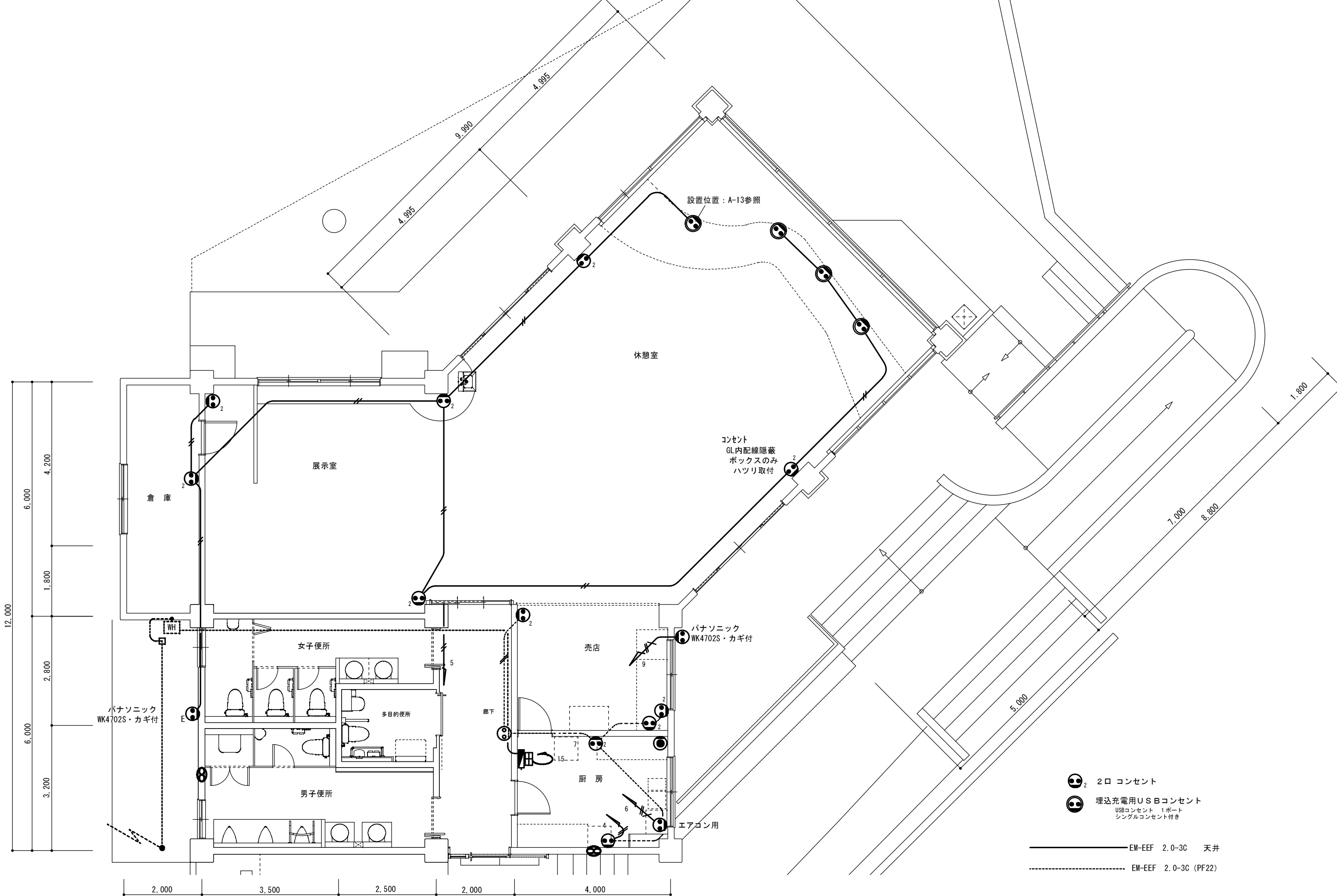
A3 : A2 × 71%

図面番号

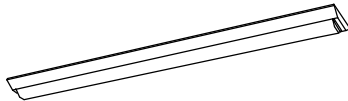
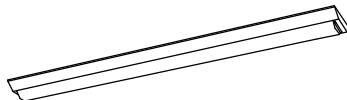
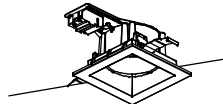
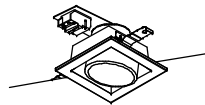
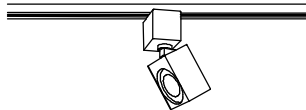


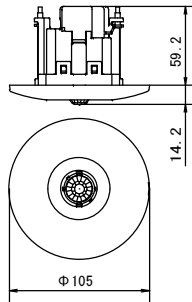
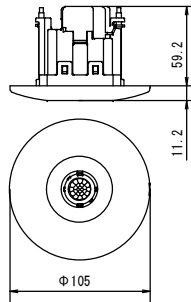
E-05

- 凡 例
- EM-EFF 1.6-2C
 - EM-EFF 1.6-3C
 - EM-EFF 2.0-2C
 - EM-EFF 1.6-3C × 2





- 2口コンセント
- 埋込充電用USBコンセント
USBコンセント 1ポート
シングルコンセント付き
- EM-EEF 2.0-3C 天井
- EM-EEF 2.0-3C (PF22)

A	i Dシリーズ直付型 4 0 形 Dスタイル W150	B	i Dシリーズ直付型 4 0 形 Dスタイル W150	C	LEDダウンライト 100形電球 1 灯器具相当	D	LEDユニバーサルダウンライト 100形電球 1 灯器具相当	E	LEDスポットライト 100形電球 1 灯器具相当
	公共施設用照明器具：LSS9-4-23LE9		公共施設用照明器具：LSS9-4-65LE9						
<div>(参考品番) パナソニック 直付X L X 4 2 0 A E N T L E 9</div> <div></div> <div>一般タイプ、2500lmタイプ 消費電力16.3W、定格出力型、電圧100～242V 本体：鋼板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</div>		<div>(参考品番) パナソニック 直付X L X 4 6 0 A E N T L E 9</div> <div></div> <div>一般タイプ、6900lmタイプ 消費電力43.1W、定格出力型、電圧100～242V 本体：鋼板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</div>		<div>(参考品番) パナソニック LEDダウンライトX L G B 7 8 5 2 5 C B 1</div> <div></div> <div>昼白色（5000K）、Ra83 器具光束710lm、消費電力8.4W、電圧100V 拡散タイプ、高気密SB形 枠：アルミダイカスト（ホワイトつや消し） 位相制御式（2線式） 埋込穴φ100</div>		<div>(参考品番) パナソニック LEDダウンライトX L G B 7 8 5 8 0 C B 1</div> <div></div> <div>昼白色（5000K）、Ra83 器具光束700lm、消費電力8.4W、電圧100V 拡散タイプ、高気密SB形 枠：アルミダイカスト（ホワイトつや消し） 首振範囲30度、位相制御式（2線式） 埋込穴φ100</div>		<div>(参考品番) パナソニック LEDスポットライトX L G B 5 4 9 1 5 C B 1</div> <div></div> <div>昼白色（5000K）、Ra83 器具光束660lm、消費電力7.6W、電圧100V 拡散タイプ、100V配線ダクト用 可動範囲上下90度、回転方向360度 セード：アルミダイカスト（ブラック） 位相制御式（2線式）</div>	
100V用配線ダクトシステム 4.0m 2組み				<div></div> 天井取付 熱線センサ付自動スイッチ （親器・8Aタイプ・広角検知形）（検知後連続動作時間 約10秒～30分可変形）（明るさセンサ付）（AC100V）	<div></div> 天井取付 熱線センサ付自動スイッチ（子器）				
<div>1組内訳</div> <div><ul style="list-style-type: none">○ フィードインキャップ○ 100V用配線ダクト本体 2m×2○ ジョイナーS（ストレート）○ エンドキャップ</div>				<div></div> <div>定 格 8A 100V AC WTK24818 (参考品番)</div>		<div></div> <div>定 格 5mA 12V DC WTK2910K (参考品番)</div>			

機械設備特記仕様書(Ⅰ)

工事名称

令和2年度 安乗峠園地休憩舎改修工事

Ⅰ 工事概要

1. 工事場所

志摩市阿児町安乗 地内

2. 建物概要

建物名称	構造及び階数	建：延面積	消防法施行令の適用	耐震区分	備 考
休憩所	RC造 平家		別表第-1(6)項		

3. 工事項目

○印の付いたものが対象)

建物別及び 工事項目	工 事 種 別				
○空気調和設備	改設一式				屋 外
○換気設備	改設一式				
・排煙設備					
・自動制御設備					
○衛生器具設備	改設一式				
○給水設備	改設一式				
○排水設備	改設一式				
・給湯設備					
・消火設備					
・厨房設備					
・ガス設備					
・浄化槽設備					

4. 指定部分

・ 無 ・ 有

対象部分

5. 設備概要

(○印を付けたものは、本工事あるいは既設設備の概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

方式及び種別	設 備 概 要	
・ 空調方式	・ 空冷ヒートポンプ式エアコン	
・ 主要熱源機器	・	
・ 自動制御方式	・ 電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式 ・ 中央監視制御	
○ 給水方式	○ 水道直結方式 ・ 高置タンク方式 ・ 圧力タンク方式 (・ 上水 ・ 井水) ・ ポンプ直送方式 ・ 増圧給水直結方式	
○ 排水方式	建物内汚水、雑排水 (・ 分流式 ・ 合流式) ポンプ排水 ・ 汚物 ・ 雑排水 ・ 湧・雨水 ・ 清水) 建物外放流先 汚 水 (・ 下水管直放流 ②水路) 雑排水 (・ 下水管直放流 ②水路)	
・ 消火設備の種別	・ 屋内消火栓設備 ・ スプリンクラー設備 ・ 泡消火設備 ・ 連絡放水設備 ・ 連絡送水管 ・ 不活性ガス消火設備 (・)	
・ ガスの種類	・ 都市ガス (種別 ・ 発熱量 MJ/m ³ (NO ₂ 供給事業者名)) ・ 液化石油ガス	

他工事との取合い区分表

項 目		機械設備	建築	電気設備
間	鉄骨部材のはり貫通部	穴開け(補強を含む)		
	鉄骨鉄筋コンクリート部材のはり貫通部	補強		
	スリープ			
	RC部材のはりの貫通部	補強		
口	RC部材の床・壁の貫通部	補強		
	スリープ			
	型わく(補強の有るもの)		○	○
	型わく(上記以外)			
部	床デッキプレートの貫通部	補強		
	切り込み			
	開口部の穴埋め補修			○
	天井・経鉄間仕切りの開口	ボードの切込み及び補強共		○
基礎等	屋上設置の設備機器の基礎			
	大形設備機器の基礎			
	防水層に影響する基礎			
	上記以外の機器の基礎			
外部取付ガラル	ダクトチャンパーの接続用フランジを含む			
電 気 配 管 配 線	換気扇の取付枠		○	
	床下水槽のマンホールふた			
	湯沸室等流し台	排水トラップ共		
	湯沸室等の排気フード	ステンレス製天蓋	○	○
防 油 堤	床、天井点検口			
	建物内、油サービススタンの防油堤			
	機器付属の制御盤以降の二次側配管配線(接地共)			○
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線			○
改 修 工 事	自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線			
	自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線			
	機器と付属操作スイッチとの渡り配管配線(接地共)			
	煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパーに至る配管配線			
改 修 工 事	小使器用排水装置の制御盤以降の二次側の配管配線			○
	コンクリート壁、床など	はつり 荒補修 仕上げ補修 撤去 撤去 復旧	○ ○ ○ ○ ○ ○	○
	天井、壁などのボード類			

Ⅱ 工事仕様

1. 共通仕様

1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の標準仕様書等によるものとし、○印の付いたものを適用する。

○ 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成28年版)(以下「標準仕様書」という。)

○ 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成28年版)(以下「改修標準仕様書」という。)

○ 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(平成28年版)(以下「標準図」という。)

2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。

なお、電気設備工事の特記仕様書は(/) 図、建築工事の特記仕様書は(/) 図による。

2. 特記仕様

1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものを適用する。

3) 東海地震に係る地震防災対策強化地域内における工事においては「大規模地震対策特別措置法」による注意情報が発せられた場合、受注者は人身の保護及び安全な進捗に必要な補強、落下防止等の保全措置を講ずるとともに、工事中断などの措置をとること。又この事実が発生した場合は、契約書第26条(臨機の措置)によって処理するものとする。

2. 特定建設資材の再資源化等

本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」第9条による分別解体等実施義務の対象建設工事となることが想定されるため、同法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずる。ただし、工事契約後に明らかになったやむを得ない事情により、工事契約時に予定した条件により難い場合は、監督職員と協議協議する。

また、分別解体・再資源化等の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等をした施設の名称及び所在地、再資源化等に変じた費用を書面にて監督職員に報告する。

(1) 分別解体の方法

工 程	作業内容	分別解体の方法
・ 新築	建築設備工事	
・ 増築	・ 有	・ 手作業
・ 修繕	・ 無	・ 手作業・機械作業併用
・ 模様替		

(2) 特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設

特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をする施設名称	所 在 地
・ コンクリート		
・ コンクリート及び鉄から成る建設資材		
・ 木材		
・ アスファルト・コンクリート		

3. 建設発生土の処理

届出に係る事項の説明時に上記と異なる施設(同様の再資源化等を行う施設に限る。)

受注者が提示した場合は、当該施設に届出することができ。ただし、当該施設への変更については設計変更の対象としない。

・ 構内敷きならし ・ 構外搬出(片道運搬距離 約 km)

・ 構外搬出の搬出先は監督職員との協議による。

・ 本工事は、建設発生土情報交換システム(以下「システム」という。)の登録対象工事であり、受注者は、工事の実施に当たっては土質、土質、土工等に変更が有った場合、速やかに当該システムのデータ更新を行うものとする。尚、これにより難い場合には、監督職員と協議しなければならない。

① 環境への配慮

国等による環境物品等の調達推進等に関する法律(以下「グリーン購入法」という。)

に基づく特定調達品目に関する判断の基礎は、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成25年2月閣議決定)」による。ただし、東日本大震災の影響により、特定調達品目等の使用が困難な場合には、監督職員と協議するものとする。

グリーン購入法(平成12年法律第100号)に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項(「資材の梱包及び容量は、可能な限り簡易である、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。」)に留意すること。

本工事の建築物内部に使用する機材等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1)から4)を満たすものとする。

1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放放量」の区分に応じた材料を使用する。

2) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

3) 接着剤は、可塑剤(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難燃発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。

4) 1)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセアルデヒド及びスチレンを発生しないが、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。

また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放放量」は、次のとおりとする。

規制対象外

①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料

②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料第三種

③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料

④建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

○ 改修特記仕様書(建築)による

② 室内空気中の化学物質の濃度測定

本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの又は同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承認を受ける。別表-1に指定する機材等が記載された製造業者等は次の1)から6)すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承認を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。

(1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。

(2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。

(3)安定的な供給が可能であること。

(4)法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。

(5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

(6)販売、保守等の営業体制が整えられていること。なお、システムとして機能するものにおいては、システムの構築能力があり、現場での施工体制が整えられていること。

○ 配管(配管工事) ・ 建築板金(ダクト製作及び取付け) ○ 絶熱断熱工(保温工事) ・ 冷凍空調和機器施工(チリングユニット、パッケージ形空気調和機の取付け及び整備)

○ 別契約の関係受注者(下請け工事の場合は先払い)が定置したものは無償で使用できる。本工事で設置する。

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり専用据置方式により行う。

改修標準仕様書第1編2.2.1より足場の取付方法に関する基準)を行う。

・ 内部足場(脚立・足場板等による)

・ 外部足場(・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 種)

③ 技能士の活用

○ 根切り土中の良質土(コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類) ・ 山砂の類

● 一般共通事項

① 発生土の処理等

・ 引渡しを要するもの (・ 金属類 (・))

・ 特別管理産業廃棄物 (・)

・ 再生資源化を図るもの (・ 塩ビライニング鋼管 (・ 配管 ・ ダクト))

○ 引渡しを要するもの以外は構外適切搬出処理とする。

ただし(特別管理産業廃棄物 再生資源化を図るもの)の搬出処理費は別途とする。

本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」第9条による分別解体等実施義務の対象建設工事となることが想定されるため、同法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずる。ただし、工事契約後に明らかになったやむを得ない事情により、工事契約時に予定した条件により難い場合は、監督職員と協議協議する。

また、分別解体・再資源化等の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等をした施設の名称及び所在地、再資源化等に変じた費用を書面にて監督職員に報告する。

(1) 分別解体の方法

工 程	作業内容	分別解体の方法
・ 新築	建築設備工事	
・ 増築	・ 有	・ 手作業
・ 修繕	・ 無	・ 手作業・機械作業併用
・ 模様替		

(2) 特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設

特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をする施設名称	所 在 地
・ コンクリート		
・ コンクリート及び鉄から成る建設資材		
・ 木材		
・ アスファルト・コンクリート		

② 環境への配慮

国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(以下「グリーン購入法」という。)

に基づく特定調達品目に関する判断の基礎は、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成25年2月閣議決定)」による。ただし、東日本大震災の影響により、特定調達品目等の使用が困難な場合には、監督職員と協議するものとする。

グリーン購入法(平成12年法律第100号)に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項(「資材の梱包及び容量は、可能な限り簡易である、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。」)に留意すること。

本工事の建築物内部に使用する機材等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1)から4)を満たすものとする。

1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放放量」の区分に応じた材料を使用する。

2) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

3) 接着剤は、可塑剤(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難燃発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。

4) 1)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセアルデヒド及びスチレンを発生しないが、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。

また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放放量」は、次のとおりとする。

規制対象外

①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料

②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料第三種

③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料

④建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

○ 改修特記仕様書(建築)による

③ 室内空気中の化学物質の濃度測定

本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの又は同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承認を受ける。別表-1に指定する機材等が記載された製造業者等は次の1)から6)すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承認を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。

(1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。

(2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。

(3)安定的な供給が可能であること。

(4)法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。

(5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

(6)販売、保守等の営業体制が整えられていること。なお、システムとして機能するものにおいては、システムの構築能力があり、現場での施工体制が整えられていること。

○ 配管(配管工事) ・ 建築板金(ダクト製作及び取付け) ○ 絶熱断熱工(保温工事) ・ 冷凍空調和機器施工(チリングユニット、パッケージ形空気調和機の取付け及び整備)

○ 別契約の関係受注者(下請け工事の場合は先払い)が定置したものは無償で使用できる。本工事で設置する。

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり専用据置方式により行う。

改修標準仕様書第1編2.2.1より足場の取付方法に関する基準)を行う。

・ 内部足場(脚立・足場板等による)

・ 外部足場(・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 種)

④ 技能士の活用

○ 根切り土中の良質土(コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類) ・ 山砂の類

● 一般共通事項

① 発生土の処理等

・ 引渡しを要するもの (・ 金属類 (・))

・ 特別管理産業廃棄物 (・)

・ 再生資源化を図るもの (・ 塩ビライニング鋼管 (・ 配管 ・ ダクト))

○ 引渡しを要するもの以外は構外適切搬出処理とする。

ただし(特別管理産業廃棄物 再生資源化を図るもの)の搬出処理費は別途とする。

本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」第9条による分別解体等実施義務の対象建設工事となることが想定されるため、同法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずる。ただし、工事契約後に明らかになったやむを得ない事情により、工事契約時に予定した条件により難い場合は、監督職員と協議協議する。

また、分別解体・再資源化等の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等をした施設の名称及び所在地、再資源化等に変じた費用を書面にて監督職員に報告する。

(1) 分別解体の方法

工 程	作業内容	分別解体の方法
・ 新築	建築設備工事	
・ 増築	・ 有	・ 手作業
・ 修繕	・ 無	・ 手作業・機械作業併用
・ 模様替		

(2) 特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設

特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をする施設名称	所 在 地
・ コンクリート		
・ コンクリート及び鉄から成る建設資材		
・ 木材		
・ アスファルト・コンクリート		

② 環境への配慮

国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(以下「グリーン購入法」という。)

に基づく特定調達品目に関する判断の基礎は、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成25年2月閣議決定)」による。ただし、東日本大震災の影響により、特定調達品目等の使用が困難な場合には、監督職員と協議するものとする。

グリーン購入法(平成12年法律第100号)に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項(「資材の梱包及び容量は、可能な限り簡易である、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。」)に留意すること。

本工事の建築物内部に使用する機材等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1)から4)を満たすものとする。

1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放放量」の区分に応じた材料を使用する。

2) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

3) 接着剤は、可塑剤(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難燃発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。

4) 1)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセアルデヒド及びスチレンを発生しないが、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。

また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放放量」は、次のとおりとする。

規制対象外

①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料

②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料第三種

③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料

④建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

○ 改修特記仕様書(建築)による

③ 室内空気中の化学物質の濃度測定

本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの又は同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承認を受ける。別表-1に指定する機材等が記載された製造業者等は次の1)から6)すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承認を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。

(1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。

(2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。

(3)安定的な供給が可能であること。

(4)法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。

(5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

(6)販売、保守等の営業体制が整えられていること。なお、システムとして機能するものにおいては、システムの構築能力があり、現場での施工体制が整えられていること。

○ 配管(配管工事) ・ 建築板金(ダクト製作及び取付け) ○ 絶熱断熱工(保温工事) ・ 冷凍空調和機器施工(チリングユニット、パッケージ形空気調和機の取付け及び整備)

○ 別契約の関係受注者(下請け工事の場合は先払い)が定置したものは無償で使用できる。本工事で設置する。

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり専用据置方式により行う。

改修標準仕様書第1編2.2.1より足場の取付方法に関する基準)を行う。

・ 内部足場(脚立・足場板等による)

・ 外部足場(・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 種)

④ 技能士の活用

○ 根切り土中の良質土(コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類) ・ 山砂の類

● 一般共通事項

① 発生土の処理等

・ 引渡しを要するもの (・ 金属類 (・))

・ 特別管理産業廃棄物 (・)

・ 再生資源化を図るもの (・ 塩ビライニング鋼管 (・ 配管 ・ ダクト))

○ 引渡しを要するもの以外は構外適切搬出処理とする。

ただし(特別管理産業廃棄物 再生資源化を図るもの)の搬出処理費は別途とする。

本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」第9条による分別解体等実施義務の対象建設工事となることが想定されるため、同法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずる。ただし、工事契約後に明らかになったやむを得ない事情により、工事契約時に予定した条件により難い場合は、監督職員と協議協議する。

また、分別解体・再資源化等の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等をした施設の名称及び所在地、再資源化等に変じた費用を書面にて監督職員に報告する。

(1) 分別解体の方法

工 程	作業内容	分別解体の方法
・ 新築	建築設備工事	
・ 増築	・ 有	・ 手作業
・ 修繕	・ 無	・ 手作業・機械作業併用
・ 模様替		

(2) 特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設

特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をする施設名称	所 在 地
・ コンクリート		
・ コンクリート及び鉄から成る建設資材		
・ 木材		
・ アスファルト・コンクリート		

② 環境への配慮

国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(以下「グリーン購入法」という。)

に基づく特定調達品目に関する判断の基礎は、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成25年2月閣議決定)」による。ただし、東日本大震災の影響により、特定調達品目等の使用が困難な場合には、監督職員と協議するものとする。

グリーン購入法(平成12年法律第100号)に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項(「資材の梱包及び容量は、可能な限り簡易である、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。」)に留意すること。

本工事の建築物内部に使用する機材等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1)から4)を満たすものとする。

1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放放量」の区分に応じた材料を使用する。

2) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

3) 接着剤は、可塑剤(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難燃発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。

4) 1)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセアルデヒド及びスチレンを発生しないが、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。

また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放放量」は、次のとおりとする。

規制対象外

①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料

②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料第三種

③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料

④建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

○ 改修特記仕様書(建築)による

③ 室内空気中の化学物質の濃度測定

本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの又は同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承認を受ける。別表-1に指定する機材等が記載された製造業者等は次の1)から6)すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承認を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。

(1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。

(2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。

(3)安定的な供給が可能であること。

(4)法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。

(5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

(6)販売、保守等の営業体制が整えられていること。なお、システムとして機能するものにおいては、システムの構築能力があり、現場での施工体制が整えられていること。

○ 配管(配管工事) ・ 建築板金(ダクト製作及び取付け) ○ 絶熱断熱工(保温工事) ・ 冷凍空調和機器施工(チリングユニット、パッケージ形空気調和機の取付け及び整備)

○ 別契約の関係受注者(下請け工事の場合は先払い)が定置したものは無償で使用できる。本工事で設置する。

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり専用据置方式により行う。

改修標準仕様書第1編2.2.1より足場の取付方法に関する基準)を行う。

・ 内部足場(脚立・足場板等による)

・ 外部足場(・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 種)

④ 技能士の活用

○ 根切り土中の良質土(コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類) ・ 山砂の類

● 一般共通事項

① 発生土の処理等

・ 引渡しを要するもの (・ 金属類 (・))

・ 特別管理産業廃棄物 (・)

・ 再生資源化を図るもの (・ 塩ビライニング鋼管 (・ 配管 ・ ダクト))

○ 引渡しを要するもの以外は構外適切搬出処理とする。

ただし(特別管理産業廃棄物 再生資源化を図るもの)の搬出処理費は別途とする。

本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」第9条による分別解体等実施義務の対象建設工事となることが想定されるため、同法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずる。ただし、工事契約後に明らかになったやむを得ない事情により、工事契約時に予定した条件により難い場合は、監督職員と協議協議する。

また、分別解体・再資源化等の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等をした施設の名称及び所在地、再資源化等に変じた費用を書面にて監督職員に報告する。

(1) 分別解体の方法

工 程	作業内容	分別解体の方法
・ 新築	建築設備工事	
・ 増築	・ 有	・ 手作業
・ 修繕	・ 無	・ 手作業・機械作業併用
・ 模様替		

(2) 特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設

特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をする施設名称	所 在 地
・ コンクリート		
・ コンクリート及び鉄から成る建設資材		
・ 木材		
・ アスファルト・コンクリート		

② 環境への配慮

国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(以下「グリーン購入法」という。)

に基づく特定調達品目に関する判断の基礎は、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成25年2月閣議決定)」による。ただし、東日本大震災の影響により、特定調達品目等の使用が困難な場合には、監督職員と協議するものとする。

グリーン購入法(平成12年法律第100号)に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項(「資材の梱包及び容量は、可能な限り簡易である、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。」)に留意すること。

本工事の建築物内部に使用する機材等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1)から4)を満たすものとする。

1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放放量」の区分に応じた材料を使用する。

2) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

3) 接着剤は、可塑剤(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難燃発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。

4) 1)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセアルデヒド及びスチレンを発生しないが、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。

また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放放量」は、次のとおりとする。

規制対象外

①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料

②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料第三種

③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料

④建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

○ 改修特記仕様書(建築)による

③ 室内空気中の化学物質の濃度測定

本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの又は同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承認を受ける。別表-1に指定する機材等が記載された製造業者等は次の1)から6)すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承認を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。

(1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。

(2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。

(3)安定的な供給が可能であること。

(4)法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。

(5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

(6)販売、保守等の営業体制が整えられていること。なお、システムとして機能するものにおいては、システムの構築能力があり、現場での施工体制が整えられていること。

○ 配管(配管工事) ・ 建築板金(ダクト製作及び取付け) ○ 絶熱断熱工(保温工事) ・ 冷凍空調和機器施工(チリングユニット、パッケージ形空気調和機の取付け及び整備)

○ 別契約の関係受注者(下請け工事の場合は先払い)が定置したものは無償で使用できる。本工事で設置する。

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別

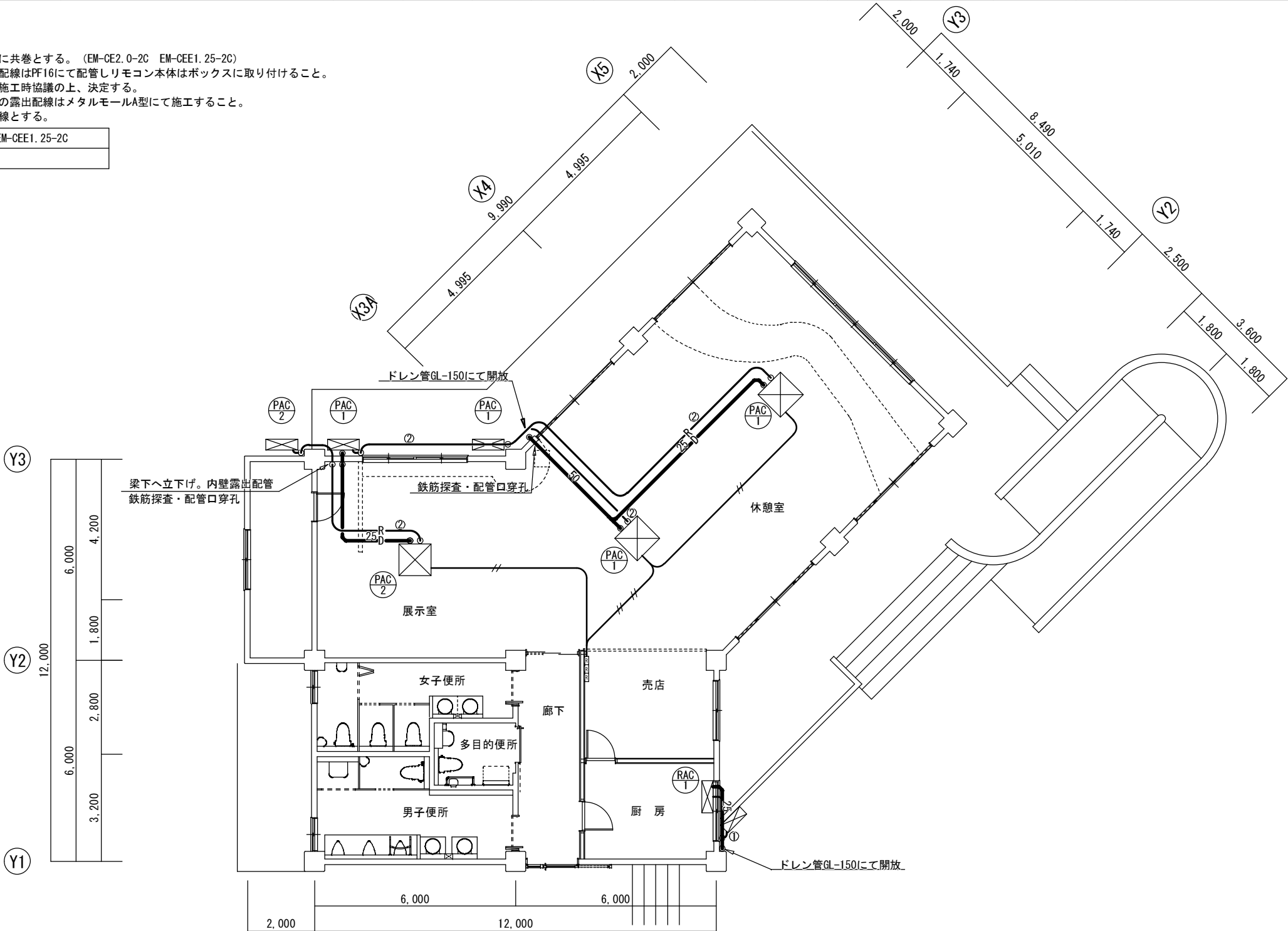
章	項 目	特 記 事 項	別表－1
●衛生器具設備	1.和風大便器耐火カバー ②洋 風 便 器 ③小 便 器 ④自動水栓の電源供給 ⑤紙 巻 器 6.水石けん入れ 7.水 栓 ⑥掃 除 流 し	和風大便器の防火区画貫通処理は標準図による。 洋風便器の洗浄弁の洗浄水量は8．５L/回以下とする。ただし、タンク式の洗浄水量は6．５L/回以下とする。 洗浄水量は4 L/回以下とし、使用状況により洗浄水量が制御できるものとする。 ・製造者標準仕様によるターゲットマークを設ける。 ① A C 1 0 0 V ・ 乾電池 ① 自己発電 ・ステンレス製とし ・ ワンタッチ（スベアー付）式 ・ ワンタッチ式 ・樹脂製とし ① 棚付二連式 ・手洗器一体型 ・ 手洗器分離型 ・カウンター取付け形 ・耐寒水栓（吊コマ） ・ 湯沸室流し用の水栓は泡沫式とする。 排水口は（ ・ 目皿 ① 鎖付き共栓）とする。	名 称 衛生器具ユニット マンホールふた・弁柵ふた
●給水設備	①配管材料 2.引き込み納付金 3.量 水 器 4.量水器柵 5.水 栓 柱 ⑥管の埋設深さ 7.凍結深度	(1)一般配管 ・ ステンレス鋼管（S U S 3 0 4） ・ ポリ粉体鋼管（ ・ P A又はP B ） ① 塩ビライニング鋼管 ① V A又はV B ・ ・ 鋼管 上記の選択で、ポリ粉体鋼管又は塩ビライニング鋼管を使用する場合、厨房、浴室等のシンダー内配管はP D又はV Dとする。 (2)地中埋設配管 ・ ステンレス鋼管（S U S 3 1 6）（ ・ 建物内 ・ 屋外部分） ・ ポリ粉体鋼管（P D） ① 塩ビライニング鋼管（V D） ・ ポリエチレン管（屋外埋設部分） (3)水道直結配管 引込みは水道事業者の指定による。量水器以降は、(1)及び(2)による。 ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事） ・ 不要 親メーター（ ・ 貸与品 ・ ） 子メーター（ ・ 買取り ・ ） 親メーターの形式（ ・ 直読 ・ バルス ） 子メーターの形式（ ・ 直読 ・ バルス ） ・ 水道事業者指定品（ ・ 貸与品 ・ 買取り） ・ 標準図M C形 ・ 合成樹脂製 ・ ステンレス製 ・ 人達石とぎ出し製 ・ 図示による ・ 埋設深さは原則として、一般敷地では管の上端より(① 300mm ・ mm)以上 構内道路は(① 600mm ・ mm)以上 屋外配管の凍結深度は mm	
●排水設備	①配管材料 ⑦洗面器等の排水管 3.放流納付金	①屋内 汚水管 ・ コーティング鋼管 ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ 耐火被覆ビニル管（V P） ① 硬質ポリ塩化ビニル管（ ① V P ・ V U ） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 耐火被覆ビニル管（V P） ① 硬質ポリ塩化ビニル管（ ① V P ・ V U ） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ コーティング鋼管 ・ 鉛管 ① ビニル管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（ ・ V P ・ V U ） ・ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管（R E P－V U） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（R S－V U） ・ コンクリート管（ ・ 外圧管1種のB形 ・ ） (2)屋外 樹 間 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（ ・ V P ・ V U ） ・ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管（R E P－V U） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（R S－V U） ・ コンクリート管（ ・ 外圧管1種のB形 ・ ） 屋内配管の範囲は屋外の第1 樹までとする。 リサイクルビニル管の適用範囲（R F－V P）：屋内の無圧の排水配管用 （R E P－V U）：無圧排水用途の硬質塩化ビニル管 （R S－V U）：埋設部で無圧の一般流体輸送配管用 (1)洗面器及び手洗器に直結する排水管は器具トラップより1 サイズアップとする。 (2)給湯室流し等の床上部分の配管は、ビニル管でもよい。 ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事） ・ 不要	
○給湯設備	1.配管材料 2.保 温 3.そ の 他	給湯管（膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む） ・ ステンレス鋼管（S U S 3 0 4） ・ 鋼管 ・ 耐熱性ライニング鋼管 ・ 被覆鋼管 ・ 保温付き被覆鋼管 ・ 架橋ポリエチレン管 ・ ポリブデン管 標準仕様書第2編3．1．5によるほか、下記による。 ・ 湯沸器の給排気筒（二重管）の隠ぺい箇所は保温を行う。 電気式給湯器等の膨張水排水を設ける。	
○消火設備	1.配管材料 2.屋内消火栓種別 3.屋内消火栓開閉弁 4.地中埋設配管の接合 5.保 温	(1)屋内消火栓 一般 ・ ステンレス鋼管（S U S 3 0 4） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） 地中 ・ ステンレス鋼管（S U S 3 1 6） ・ (2)連結送水管 一般 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）（S c h 4 0） 地中 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）（S c h 4 0）（外面被覆） (3)連結散水用 ・ ・ 易操作性1号消火栓 ・ 1号消火栓 ・ 2号消火栓 箱内に別途機器（発信機及び電鈴）取付用の板を設ける。 ・ 1 0 K ・ 外面被覆鋼管の呼び径1 0 0以下はねじ接合とする。 屋外露出部分 ・ 有（標準仕様書第2編3．1．5の給水管の項による。） ・ 無	
○厨房設備	1.機器の寸法 2.機器の機能等	概略寸法とする。 図示による。	
○ガス設備	1.配管材料 2.ガス充てん容器 3.ガ ス メ ー タ 4.ガス漏れ警報器 5.気密試験 6.そ の 他	都市ガス ガス供給事業者の供給規定による。 液化石油ガス 露出部及びコンクリート埋込み部 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） 地中埋設部 ・ ポリエチレン被覆鋼管 ・ 塩化ビニル被覆鋼管 ・ ナイロン被覆鋼管 ・ ガス用ポリエチレン管 ・ 借用 ・ 本工事 親メーター（ ・ 貸与品 ・ ） 子メーター（ ・ 買取り ・ ） 親メーターの形式（ ・ 直読 ・ バルス） 子メーターの形式（ ・ 直読 ・ バルス） ・ 設ける（外部出力端子 ・ 有 ・ 無） ・ 設けない（ ・ 別途工事 ） 保持時間は、2 4分以上とし記録計による測定表を提出する。 ガスボンベ転倒防止の鎖は（ ・ 本工事 ・ 別途工事 ）とする。 ガスボンベ置き場のコンクリート基礎は、（ ・ 別途工事 ・ 本工事 ）とする。	
○浄化設備	1.形 式 2.測 定 表	・ ユニット形 ・ 現場施工形 一定期間経過後、放流水質性能等を記入した測定表を提出する。	

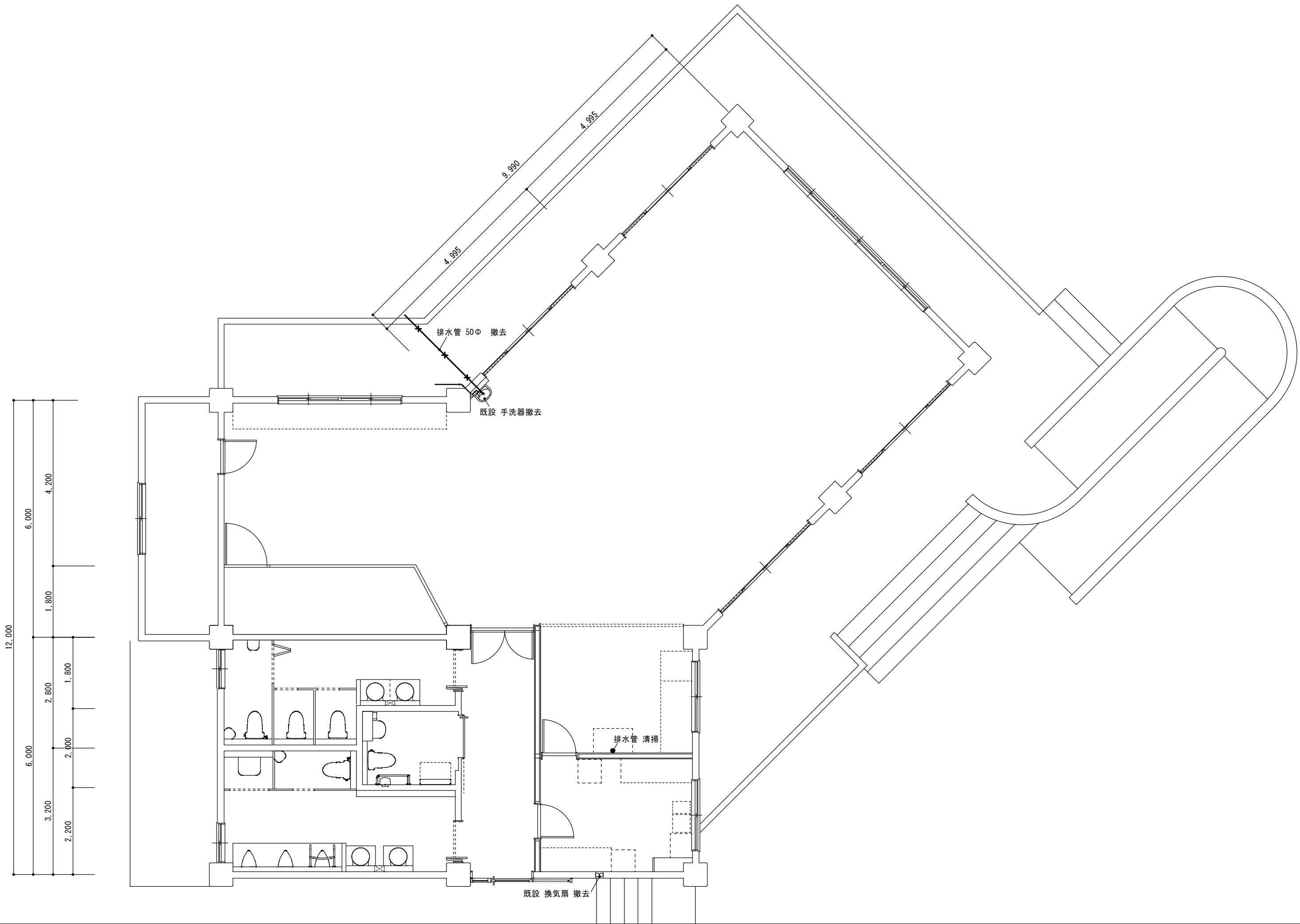
空 調 機 器 表		形式・仕様	冷房能力	暖房能力	電気容量								台数	参考品番	備考
記号	機器名称		k w	k w	相	電圧	送風機出力		圧縮機	消費電力					
					(φ)	(V)	(KW)		(KW)	冷房 (KW)	暖房 (KW)	低温暖房 (KW)			
							室内機	室外機							
PAC-1	空冷ヒートポンプエアコン	天井カセット4方向	14.0	16.0	3	200	0.094X1	0.20x1	3.55	4.08	4.17	5.54	2	RCI-GP16ORSH4	休憩室
		耐重塩害													
PAC-2	空冷ヒートポンプエアコン	天井カセット4方向	7.1	8.0	3	200	0.057	0.05	1.6	1.76	1.87	2.45	1	RCI-G08ORSH4	展示室
		耐重塩害													
RAC-1	ルームエアコン	壁掛型	5.6	6.7	単	200	-	-	1.5	1.6	1.5	3.6	1	RAS-ZJ56K2	厨 房
		耐重塩害 室外機風向版													

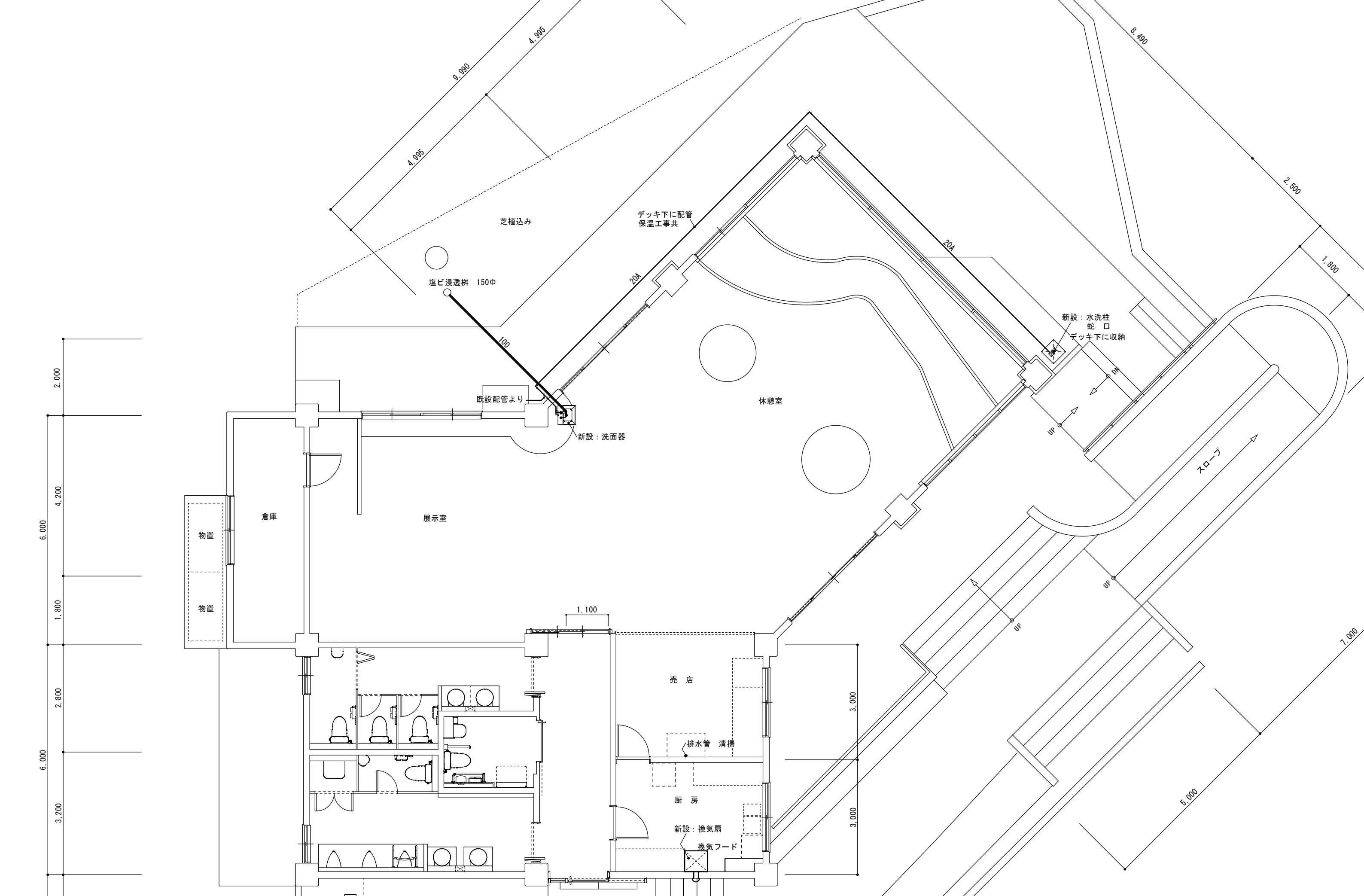
	液 管	ガ ス 管
①	6.35φ	9.52φ
②	9.52φ	15.88φ

- 注記
- * 内外機配線は冷媒管に共巻とする。(EM-CE2.0-2C EM-CEE1.25-2C)
 - * リモコン配線の壁内配線はPF16にて配管しリモコン本体はボックスに取り付けること。
細部位置については施工時協議の上、決定する。
 - * 天井よりリモコンへの露出配線はメタルモールA型にて施工すること。
 - * 天井内配線は露出配線とする。

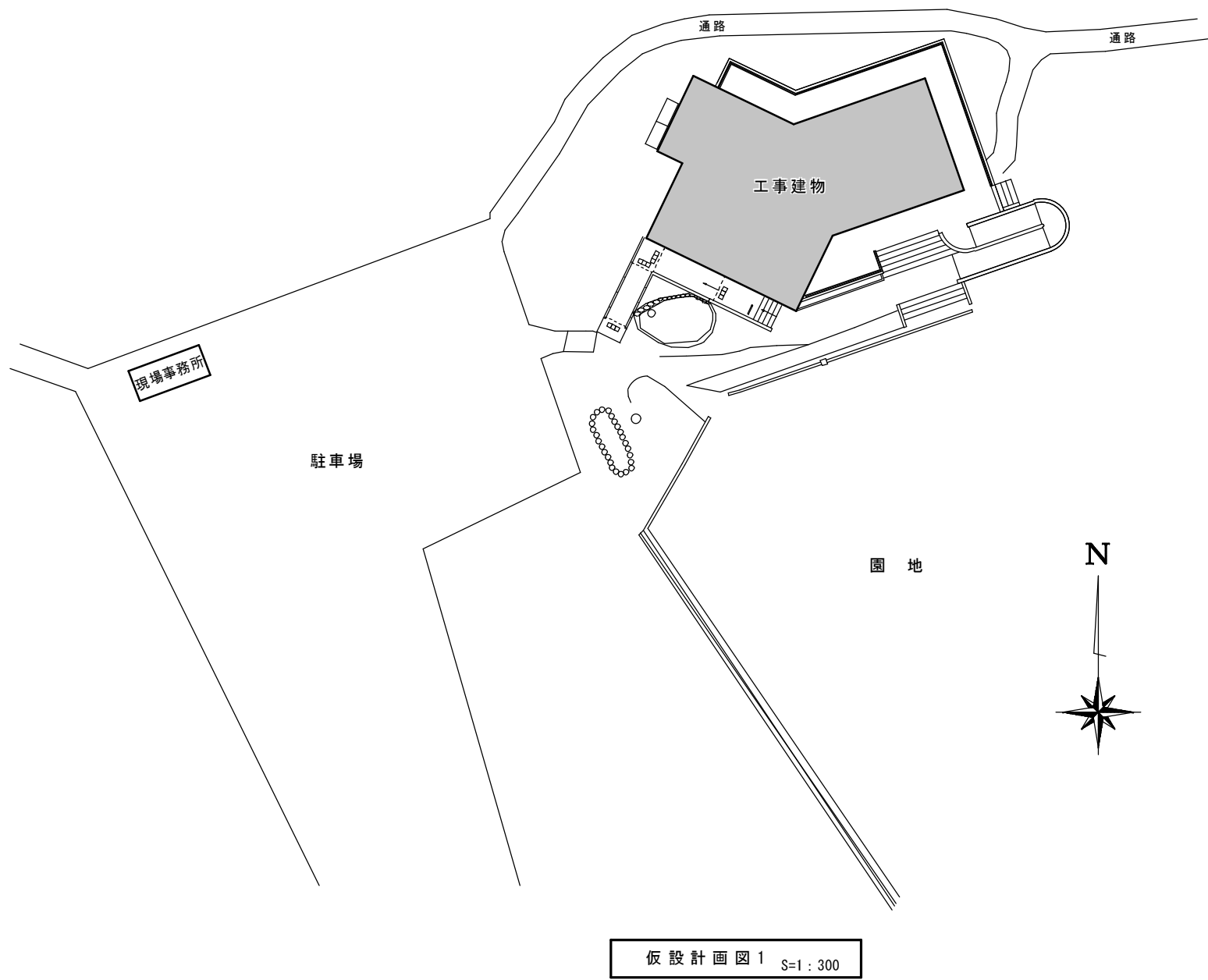
—//—	EM-CEE1.25-2C





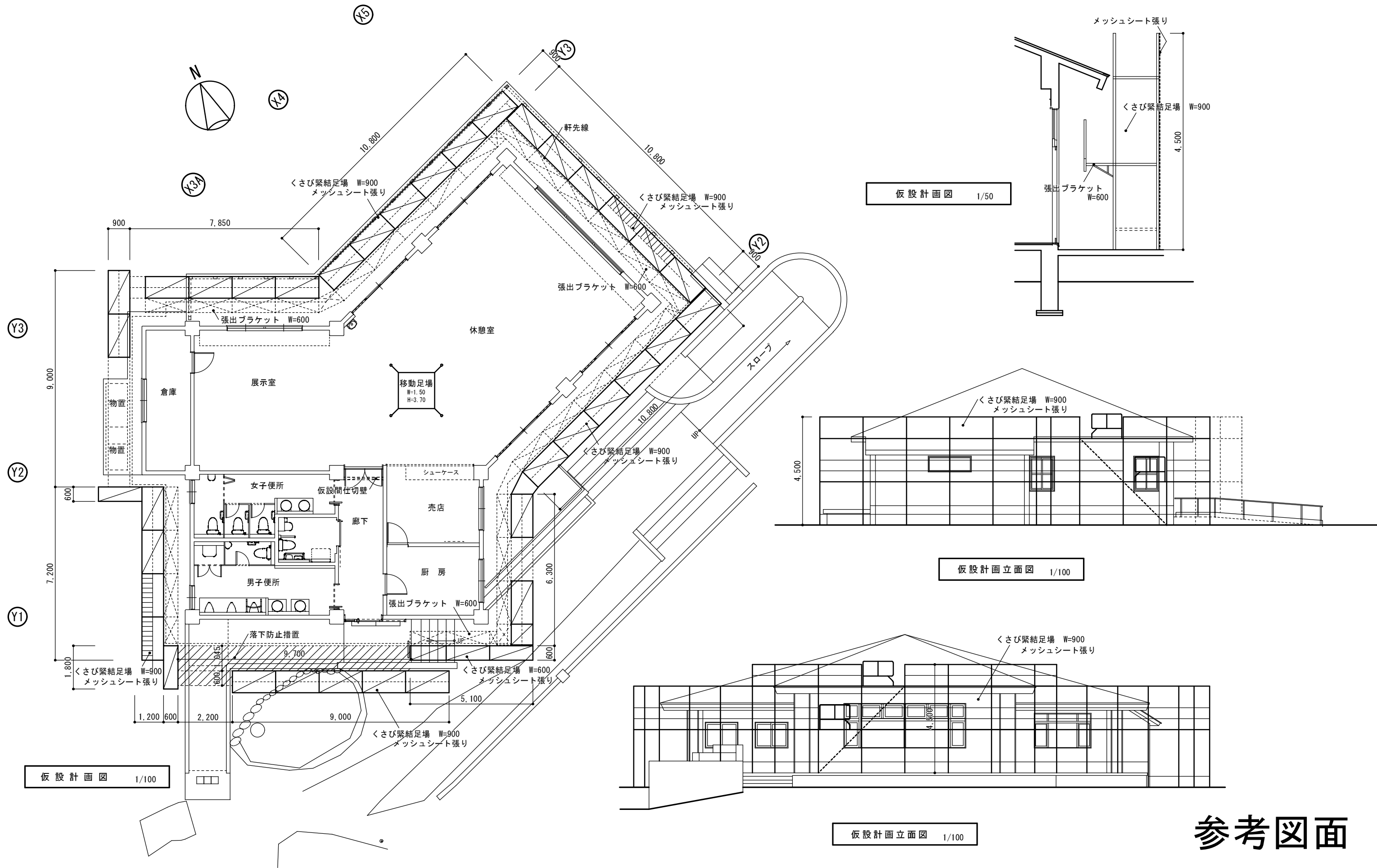


訂正	<div>工事名称</div> <div>平成29年度 安乗崎園地休憩舎改修工事</div> <div>設計図</div>	<div>設計</div> <div>片 山</div>	<div>建築設計 間34</div> <div>三重県知事登録 第1-2154号</div> <div>三重県志摩市阿児町神明1113-30 TEL 0599-43-0266 FAX 0599-43-2951</div>	<div>一級建築士 大臣登録 第195765号</div> <div>片 山 正 司</div>	<div>図面名</div> <div>改修後機械設備図</div>	<div>縮 尺</div> <div>A3 : A2×71%</div> <div>S=1/60</div>	<div>図面番号</div> <div>M-05</div>
----	---	------------------------------	---	---	------------------------------------	---	---------------------------------



参考図面

訂正	工事名称 令和2年度 安乗崎園地休憩舎改修工事	設計図 設計 片山	建築設計 間 34 マサンヨン 片山 正 司	図面名 仮設計画図 1	縮 尺 A3 : A2×71% S=1/300	図面番号 K-01
----	----------------------------	-----------------	------------------------------	----------------	-------------------------------	--------------



参考図面

訂正	工事名称	令和2年度 安乗崎園地休憩舎改修工事	設計図	設計	片山	建築設計 間34	マサンヨシ	片山正司	図面名	仮設計画図 2	縮尺	A3 : A2×71% S=1/100・1/50	図面番号	K-02
----	------	--------------------	-----	----	----	----------	-------	------	-----	---------	----	-----------------------------	------	------